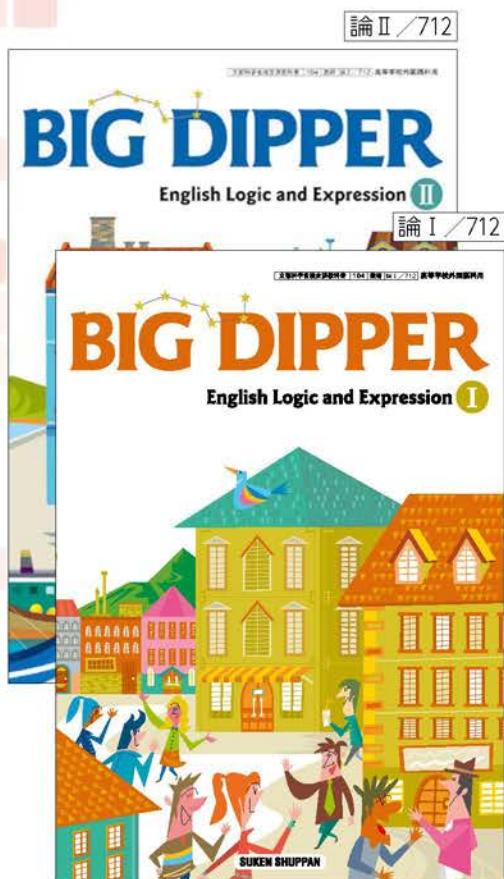


ダイジェスト版



「論理・表現」教科書：
英作文オンライン添削(有料)
に対応！

教科書

- 1 教科書の特徴
- ◆BIG DIPPER English Logic and Expression I
- 2 目次・本書の構成
- 6 Q Rコンテンツの紹介
- 8 PART 1 Lesson 1 はじめに① / Lesson 9
Express It Logically 2
- 16 PART 2 Lesson 10 / Discussion のヒントなど
Express It Logically 7
- 22 巻末 Useful Expressions / 教材配当表
- 24 参考書との連携
- ◆BIG DIPPER English Logic and Expression II
- 26 目次・本書の構成
- 30 PART 1 Lesson 4 / Express It Logically 3
- 34 PART 2 Lesson 1 / Express It Logically 7
- 38 PART 3 Lesson 2
- 40 巻末 Useful Expressions・Index / 教材配当表

教授資料・準拠周辺教材

- 42 TEACHER'S MANUAL I 指導手順案 / PART 1 Lesson 9
Express It Logically 2 / PART 2 Lesson 10
- 56 Teacher's Book I PART 1 Lesson 14
PART 2 Lesson 5
- 60 TEACHER'S MANUAL II PART 1 Lesson 4
PART 2 Lesson 1
- 68 Teacher's Book II PART 1 Lesson 12
PART 2 Lesson 5
- 72 付属 DVD-ROM データ
- 78 参考書 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語
- 84 ワークブック・レッスンブック

オンライン添削

- 85 英作文オンライン添削

デジタル教科書

- 86 「デジタル教科書」



教科書の詳細は
こちら！



オンライン添削の
詳細はこちら！

「論理・表現」の基礎〔文法・言語の働き〕を育成する、運用しやすい教科書!



BIG DIPPER English Logic and Expression I / II

論 I / 712 (B5判・128頁) 論 II / 712 (B5判・128頁)

詳細はこちら!



教科書の特色

POINT

1 学習しやすい 2パート / 見開き2ページ 構成

A. 2パート構成

PART 1: 論理的な英語表現の基礎〔文法〕 / PART 2: 場面別・機能別表現を習得する2パート構成となっています。PART 1はライティングに、PART 2はオーラル活動に重点を置いて運用することも可能です。

B. 見開き2ページ構成

見開き2ページの小ユニットで1レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT (簡明な解説・用例) → INTAKE (練習問題) → OUTPUT (自己表現活動) の流れをもった、豊富な演習を設けています。

POINT

2 「論理・表現」の基礎から発展まで、無理のない学習が可能

表現活動に必要な文法の基本から、構文・イディオムを用いた機能表現まで、ムダなくムリなく、大学入学共通テストに対応するための基礎力を養うことができます。また、パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションといった比較的高度な言語活動も、発展的レッスン Express It Logically, 「II」のPART 3において、ムリなく学習することができます。

POINT

3 さまざまな授業スタイルに配慮した教材ラインアップ

参考書『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、文法もしっかり定着。

・表現活動重視、文法学習重視のいずれのスタイルにも対応できるように、準拠教材等を取り揃えました。「I」の主要な例文は参考書『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』とも連携するようになっています。



Lesson 4～21の Think and Express! — Express yourself! が英作文オンライン添削(有料)に対応! 生徒の解答状況や添削内容は先生が確認可能です (⇒詳細は p.85 をご覧ください)

編集委員紹介 ①現職名 ②専門

南出 康世

- ①大阪女子大学名誉教授
- ②英語学 (語彙意味論, 辞書学)

Lawrence Schourup

- ①大阪府立大学名誉教授
- ②言語学 (文体論)

David Lehner

- ①武庫川女子大学非常勤講師
- ②言語学 (バイリンガリズム)

小栗 裕子

- ①元 関西外国語大学教授
- ②英語教育学, 第二言語習得論

西川 眞由美

- ①摂南大学特任教授
- ②英語学 (語用論, 辞書学)

三村 浩一

- ①元 帝塚山学院大学教授
- ②英語学 (文法論), 英語教育学

高田 哲朗

- ①京都外国語大学非常勤講師
- ②英語授業学

杉本 喜孝

- ①帝塚山学院大学准教授
- ②CALL教材の開発および指導方法と評価方法の研究

道中 博司

- ①帝塚山学院中学校高等学校教諭
- ②ライティングの効果的な指導方法と評価方法の研究

◆「I」編集協力

鈴木 健之

(静岡県立静岡西高等学校教諭)

藤塚 紀子

(元 大分県立三重総合高等学校指導教諭)

教材ラインアップ





CONTENTS

PART 1はライティングに、PART 2はオーラル活動に前半のレッスンは、語彙などの負担も比較的小さいので、時間をALTとのTeam Teachingに充当するなどの運

重点を置いて運用することが可能です。また、PART 2週2単位でPART 1,2を並行して進めていき、うち1用も考えられます。(スムーズな授業展開)

PART 1 Building a Basis for Logical Expression

PART 1で論理的な英語表現の基礎〔文法〕を習得 <Grammatical Syllabus>

L.1~3(はじめに)では、日英表現の基本的な差異を学びます

Lesson 1	はじめに① 「だれが」「～する」をはっきりと	
[文の主語]	◎日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表	
Lesson 2	はじめに② 動詞をうまく使おう	8
[動詞]	◎伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。	
Lesson 3	はじめに③ 名詞の数などに気をつけよう	10
[名詞・冠詞]	◎名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。	
	不規則に変化する動詞の活用表 / ルーブリック (評価基準表) を使ってみよう!	12

Lesson 4	My Friends	
[否定文・疑問文]	◎「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などを英	
Lesson 5	My Family	【家族】 16
[現在・過去・進行形]	◎「～する[している]」「～した[していた]」などを英語で表現できる。	
Lesson 6	Pastime	【休日の予定】 18
[未来表現]	◎未来に行うことについて、英語で表現できる。	
Lesson 7	My Town	【町】 20
[現在完了]	◎現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。	
Column	辞書を活用しよう!	辞書の有効な活用方法を習得 22

Lesson 8	Our Teachers	【先生】 24
[助動詞①]	◎能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。	

Lesson 9	Visiting a Museum	
[助動詞②]	◎必要・義務や、過去についての推量	

Lesson 10	Famous People	【有名人】 28
[文型]	◎「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。	

Lesson 11	Reading	【読書】 30
[受け身]	◎「～される[されない]」「～に満	

論理的な表現を強化する補充レッスン：文から文章へ、まとまったパラグラフを書くための段階的な練習

Express It Logically 1	短い文章を書いてみよう!	32
------------------------	--------------	----

Lesson 12	Studying Abroad	【留学】 36
[不定詞①]	◎「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。	

Lesson 13	Advice	【相談事】 38
[不定詞②]	◎「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。	

Lesson 14	Hobbies	【趣味】 40
[動名詞]	◎「～すること」などを英語で表現できる。	

Express It Logically 2	文のつながりを示す語句を使おう①	44
Lesson 16	In a Zoo	48
[比較①]	◎2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。	
Lesson 17	Our Team	【部活動】 50
[比較②]	◎「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。	

パラグラフの展開に応じた「つなぎ語」の習得

Lesson 18	Neighbors	【隣人】 52
[関係詞①]	◎「～する人/物」「…が～する人/物」などを英語で表現できる。	

Lesson 19	Speeches	【スピーチ】 54
[関係詞②]	◎「…が～すること」「…が～する場所[時]」などを英語で表現できる。	

Express It Logically 3	文のつながりを示す語句を使おう②	56
Lesson 20	My Wish	【願い事】 60
[仮定法]	◎事実と異なる状況[願望など]を英語で表現できる。	

推敲による文・文章の完成を意識させる内容

Lesson 21	A Birthday Gift	【贈り物】 62
[接続詞]	◎名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。	

Express It Logically 4	書いた内容を読み返し、書き直そう	64
Words & Phrases	日常よく使う語句をまとめた語彙集。自己表現活動のヒントに	

PART 2 Communicative Functions for Logical Expression

Lesson 1	School Life	74
[助動詞]	◎英語で勧誘・提案を行うことができる。	

PART 2では言語の働き (function) を中心に習得 <Functional Syllabus>

※言語の働きとは…「提案する」「依頼する」など各々の発言の目的・機能。これを意識することで、より効果的なコミュニケーションを図ることが可能

Lesson 2	School Subjects	
[助動詞]	◎英語で依頼する、理由を聞く・述べ	

Lesson 3	Free Time	【余暇】 78
[助動詞]	◎英語で確認・訂正を行うことができる。	

各課で行うディスカッション・ディベートのヒント；emailなどのライティング練習

Lesson 4	Feeling Well?	80
[助動詞]	◎英語で心配を表す、助言を行うことができる。	

▶ Hints for Discussion and Debate ◀ / Let's write more! <Lessons 1-4>

Express It Logically 5	情報・考えをまとめてみよう!	84
------------------------	----------------	----

プレゼンテーションに関する留意点をまとめて学習

Lesson 5	Housework	86
[助動詞]	◎英語で義務・必要を述べることができる。	

Lesson 6	The Internet Is Fun	【インターネット】 88
[助動詞]	◎英語で期待・確信を述べることができる。	

Lesson 7	I've Lost Your Book	【謝罪】	90
	◎英語で謝罪する, 謝罪に応じることができる。		
Lesson 8	Planning a Trip	【旅行の計画】	92
	◎英語で計画・予定を述べることができる。		
	▶ Hints for Discussion and Debate ◀ / Let's write more! ◀ Lessons 5-8 ▶ 94		
	Express It Logically 6	発表の仕方や表現を工夫しよう!	96
Lesson 9	Experiences Abroad	プレゼンテーションの展開方法	98
	◎英語で感想を尋ねる・述べるができる。		
Lesson 10	Exchange Students	【留学生】	100
	◎英語で程度・結果を述べるができる。		
Lesson 11	I Want to Be a ...	【将来の夢】	102
	◎英語で願望・目的を述べるができる。		
Lesson 12	Cheer Up Your Friend	【励まし】	104
	◎英語で同情・共感する, 励ますことができる。		
	▶ Hints for Discussion and Debate ◀ / Let's write more! ◀ Lessons 9-12 ▶ 106		
	Express It Logically 7	情報・考えを整理して発表しよう!	108
Lesson 13	Farewell Party	情報の整理, 統計資料の活用の仕方学習	110
	◎英語で感謝・喜びの気持ちを述べるができる。		
Lesson 14	Saving Resources	【環境問題】	112
	◎英語で賛成・反対を述べるができる。		
Lesson 15	Social Problems	【社会問題】	114
	◎英語で意見を尋ねる・述べるができる。プレゼンテーションの聞き方を習得		
	▶ Hints for Discussion and Debate ◀ / Let's write more! ◀ Lessons 13-15 ▶ 116		
	Express It Logically 8	発表を聞いて, 自分の考えをまとめてみよう!	118
	Express It Logically 9	競技ディベートを行ってみよう!	120
		簡単な「競技ディベート」の紹介	122
	Useful Expressions	各レッスンの主要ポイントを書いて覚えるページ。文法・表現の総まとめに最適	



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレットPCやスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報*にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。

理解を深めるコンテンツやツール、
学習に資する参考情報にアクセス

[URL: <https://www.chart.co.jp/qr/22ee1/>]

*主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、発音練習ツール、
学習ポイント解説動画をご用意しています。

本書の構成

本書は大きく2つのパートによって構成されています。

Part 1 : 英語で論理的に正しく表現するための基礎を学習するパート

Part 2 : 言語の働き(機能)を意識してより効果的なコミュニケーションを図る力を育成するパート

Part 1 [本課] の構成

左ページ ▶ **基本例文**・**POINT** : 各課で学ぶべきポイントを含んだ基本的な例文と簡単な解説
〔B.E. = Basic Expression (基礎表現)〕

Let's Use It! : コミュニケーションの場面・状況を意識した表現活動

右ページ ▶ **Think and Express!** : 図絵の内容や自分のことを思考・判断し、表現する活動

Interact and Produce : ① 対話文・スピーチなどを聞き取り, ② モデルとなる文を完成させる, ③ グループワークやペアワークで、やり取り・発表を行う。

●各課の表現活動については、p.13 に掲載したループリック (評価基準表) を使ってお互いを評価して、自分の課題を理解したうえで表現力を向上させるようにしてみよう。

● **Lessons 1-3** 「はじめに」: 英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスン。例文・解説をよく読んで、**Express Yourself!** で実際の使用場面を意識して表現してみよう。

Part 2 [本課] の構成

左ページ ▶ **Listen and Answer** : 対話文などを用いたリスニング問題(聞いた内容を書き取る活動)

Expressions : 言語の働き(機能)*を意識した対話練習(*タイトル部分にEで表示)。ペアワークでやり取り・発表を行う。

右ページ ▶ **Dialog** : 各課で取り上げた話題に関する対話文で、左ページの **Expressions** で学んだ表現のほか、対話において有用な表現がたくさん含まれています。dictation(書き取り)やペアでの会話練習を行うことができます。

Retelling : 対話文の内容を要約する活動(第三者に伝えるように工夫してみよう)

Further Activities : 各課の話題や言語の働きに関連した発展的な言語活動

▶ **Discussion** ◀ / ▶ **Debate** ◀ : 各課の話題に関連した話し合いや討議を行う活動(身近な話題を用いて、友だちと意見を交換する、自分の主張を述べるなど行ってみよう)

● 3-4課おきに、▶ **Discussion** ◀ / ▶ **Debate** ◀ のヒントと、**Let's write more!** [30-50語程度のまとまった文章を書く練習]を掲載しています。

Express It Logically について

本課2-4レッスンごとに論理的に文を組み立てて文章を作る活動を行います。**Part 1**では文章(パラグラフ)の作成について、**Part 2**では発表(プレゼンテーション)について、留意点をまとめています。それぞれ一連の内容をもっていますので、これらをまとめて学習してもよいでしょう。

Words & Phrases について

Part 1と**Part 2**の間に、英語の身近なことばをジャンルごとにまとめた語句リストを載せています。各課の表現活動で活用してみよう。

充実のQRコードコンテンツ

教科書紙面に掲載しているQRコードから、以下のコンテンツにアクセスできます。



サンプルはこちら！

1 例文リスニング (音声再生)

PART I の主要例文, PART II の Expressions, Dialog などの音声再生が可能です。

●主な機能

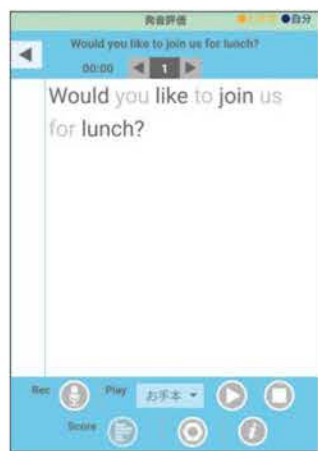


- 再生方式** : 通常再生/リピート再生/シャッフル再生 など
 - テキスト表示** : スクリプト表示の有無
 - 表示内容** : 全文表示/パラグラフ表示 など
 - 文字サイズ** : 大/中/小
- *再生内容により、選択できる項目は異なります。

- 3秒戻る**
 - 速度調整** : 0.5倍/0.75倍/0.9倍/1倍/1.1倍/1.5倍/2倍
 - 再生位置** : 再生位置の確認/手動での再生位置の調整
- *スマートフォンの横置き表示にも対応しています。

2 音読練習 (数研発音マスター)

PART I の主要例文, PART II の Expressions などについて、手本となる音声と、自分の音声の一致度を判定できます。



▲英文の音読画面



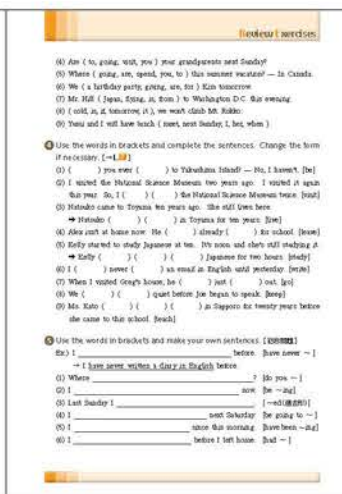
▲スコアの判定画面

3 復習問題

PART I・PART II の学習ポイントを復習する問題をご用意しています。



▲PART I 復習問題



▲PART II 復習問題

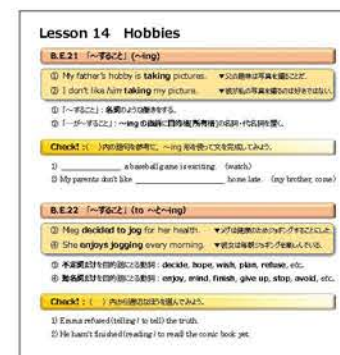
- II ではこのほか、PART I 文法ポイントの解説や、注意すべき品詞類 (接続詞・代名詞・形容詞など) の解説・練習問題をご用意しています。

4 巻末 Useful Expressions (文法解説動画・文法のまとめ)

巻末の Useful Expressions のQRコードからは、例文音声のほか、基礎的な文法解説の動画、PART I の文法事項を簡潔に振り返る「文法まとめシート」にアクセスできます (Iのみ)。



▲教科書p.122



- BIG DIPPER English Logic and Expression では、以上の「QRコードコンテンツ」により、音声学習・文法学習をより深めることが可能となっています！

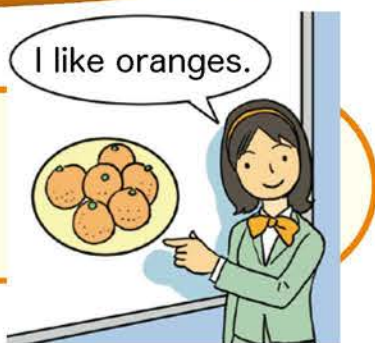


例文リスニング・発音判定・Pt.1 全主要
例文リスニング、復習問題・解答 pdf
※発音判定アプリ「数研発音マスター」
で、音読・発話練習もバッチリ！

「だれが」「～する」

PART 1 の L.1 ~ 3 は「はじめに」として、英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスンになっています

英語で自分の言いたいことを表現するときには、
まず「だれが」「～する」をはっきりと示すことが
大切です。



A 「かぎを落としましたよ」

You dropped the key.

POINT

日本語では、主語（「～は」、「～が」にあたる語）が省略されることがよくあるので、それを補って考えるようにしましょう。

- ① 昨日この本を買いました。 I bought this book yesterday.
- ② カーター先生に会いましたか。 Did you meet Ms. Carter?
- ③ この花を英語で何と言いますか。 What do you call this flower in English?
- ④ 当店では時計を売っています。 We sell clocks and watches here.

Express Yourself! A *上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) 〔駅で〕切符を落とした人に、それを拾って声をかけるとき
Excuse me, _____ . — Oh, thanks!
- (2) 新しいかばんを買って、それをとても気に入っていることを伝えるとき
_____ bag. _____ very much.
- (3) 昨日、〔あるテレビ番組〕を見たかを友だちに尋ねるとき ※〔具体的な番組名など〕を入れてみよう。
_____ yesterday?
It was _____ .
- (4) 目の前にいる鳥について、英語で何と言うか尋ねるとき
What _____ in English?
— A sparrow.

日本語で状況を与え、生徒の思考力を活性化させる練習問題。使用する場面や伝えようとする内容と関連づけて、基礎表現〔文法〕を実際に活用させることを重視。図絵を用いた問題も採用



- (5) 〔学校祭で〕中庭でハンバーガーを売っているから来てね、と伝えるとき
_____ in the courtyard now.
Please come!

Can-do!

- 表現 日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できる。
- 話題 日常行うことや、天候などについて英語で表現できる。

B

「今日は宿題がありません」 I don't have homework today.

POINT

日本語の「～が」、「～は」がいつも英語の主語になるとはかぎりません。英語で表現するときには、どの語を主語にするかを考えて英文を作りましょう。

- ⑤ オレンジが好きです。 I like oranges.
- ⑥ 水泳が得意です。 I'm good at swimming.
- ⑦ 秋は月が美しい。 The moon is beautiful in the fall.
- ⑧ 土曜日は休みです。 We are off on Saturdays.

Express Yourself! B *上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) 今日はクラブ活動 (club activity) がないことを伝えるとき
_____ today. I'm free after school.
- (2) 昨日は熱があつて学校を欠席したことを伝えるとき
_____ a fever _____, so _____ from school.
- (3) 〔公園で〕ここは春は桜 (cherry blossom) が美しい、と伝えるとき
_____ here in _____.

C

「今日はとても暑い」 It's very hot today.

POINT

天候・時間・距離・明暗などを表す場合、it を主語にします。

- ⑨ 昨日は雪がひどかった。 It snowed hard yesterday.
- ⑩ 何時ですか。—4時です。 What time is it? —It's four.
- ⑪ 京都から東京までどれくらいですか。 How far is it from Kyoto to Tokyo?
—500キロくらいですね。 —It's about 500 km.
- ⑫ 部屋の中は暗かった。 It was dark in the room.

Express Yourself! C *上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) 右の絵の状況を伝えるとき
_____ o'clock now.
_____ but _____ today.
- (2) 今いる場所から駅までどのくらい距離があるかを尋ねるとき
_____ from here to _____ ?



Visiting a Museum

例文リスニング・発音判定・Pt.1 全文リスニング、復習問題・解答 pdf

INPUT: 基本例文・POINT
学習すべき文法事項を含んだ基本的な例文と簡単な解説。基本例文には緩やかなストーリー性をもたせています [B.E. = Basic Expression]

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならぬ」

- 1 You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。
- 2 You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

POINT

「～するとよい、～すべきである」は **should** を、「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが、**should** よりも意味が強くなります。

▶ 「～しなければならない」は **<have to>** を用いて表すこともできます。

We **had to** visit him *yesterday*. [過去を表す場合は **x must**]

▶ **must not [mustn't]** は「～してはいけない」[禁止]、**<do not [don't] have to>** は「～しなくてもよい」[不必要]の表現

INTAKE: Let's Use It!
ポイントとなる文法事項に対しての基本問題 (3 問程度)。日本語や英語で状況を与え、生徒の思考力を活性化させる。使用する場面や伝えようとする内容と関連づけて、文法を実際に活用させることを重視

Let's Use It! ⑪ *上で学んだ表現を使ってみよう

- (1) ある映画を見るように ① 勧めるとき ② 強く勧めるとき
The movie is great. ① You _____ . ② You _____ .
- (2) 生徒が職員室への入室を禁止されているとき
Students _____ the staff room this week.

B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

- 3 Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。
- 4 He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
- 5 We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

POINT

過去のことについて、「～だった[した]にちがいない/かもしれない」と推量する場合は **<must[may] have + 過去分詞>** で表します。また、**<should + have + 過去分詞>** は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station. [～したはずがない]

Let's Use It! ⑫ *上で学んだ表現を使ってみよう

- (1) Saya looked ill last week. She _____ a cold. [～したかもしれない]
- (2) The drama was exciting. You _____ it. [～すべきだったのに]
- (3) Jim didn't answer the phone. He _____ sleeping. [～していたにちがいない]

Can-do! 表現 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。
 話題 催し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。

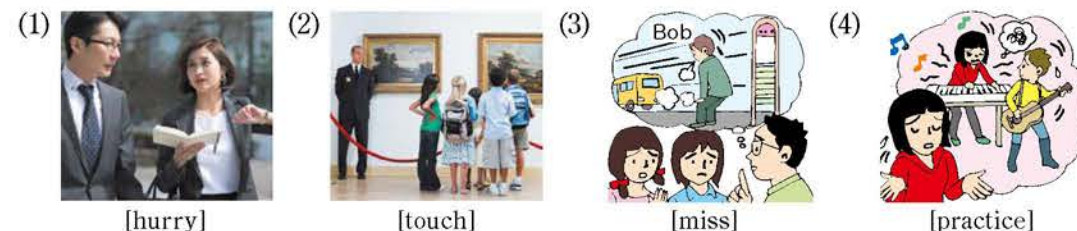
Think and Express!

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

A Look at the pictures and complete the sentences. Use the words below.

[(1)(2) → B.E. 11, (3)(4) → B.E. 12]

* (1)(2) should, must, have to, (3)(4) <may[must, should]+have+過去分詞> を使ってみよう。



- (1) We _____ . The meeting will begin soon.
- (2) You _____ the museum exhibits.
- (3) Bob hasn't arrived yet. _____
- (4) _____

OUTPUT: Think and Express!
[A] 絵や写真 [状況] を見て適切な表現を考えさせる問題。文字情報を介さず「思考して表現する」演習になっています
[B] 簡単な自己表現活動。各課のポイントを用いて、学習者が自分のことを表現する活動です

B Express yourself! ▶ Tell what happened at the museum.

Ex.) John said he wanted to read the magazine. She had walked about five kilometers, so she **must have been** very tired. I had a very bad score on the exam. I **should have studied** harder.

各レッスンの Express yourself! は [英作文オンライン添削] に対応! (⇒詳細は p.85)

Interact and Produce

1 Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.

2 Work in pairs. Refer to 1 and reproduce the dialog.

Lily: _____ to Ueno Zoo?

Takumi: No, _____ there.

L: It's great. You _____

T: _____

L: I love the pandas. You _____

T: Pandas? I've always _____

OUTPUT: Interact and Produce
Spoken Interaction (話す [やりとり]) と Spoken Production (話す [発表]) を組み合わせた活動。
[1] ポイントとなる文法事項を用いたリスニング活動
→ [2] 対話文等の完成
→ [3] [2] を参考にした発表と意見交換

3 Work in groups.

a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in 2 and present it to students C and D.

b C and D will ask questions or make comments about the dialog.

(Then switch roles.)

→ Words & Phrases p.69 [場所・施設]

文のつながりを示す語句を使おう①

1 時間の順序に従って書いてみよう

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

ある一日の出来事を、時間の経過に従って書いてみましょう。「午前中」「午後」など時間そのものを表す表現だけでなく、次のような文のつながりを示す語句(つなぎ表現)を使って、順序よく伝えましょう。

next(次に), then(それから), after that(その後), later(後で)

Ex.) I had a good day last Sunday. I got up at eight and had breakfast. Then I studied English and math all morning. I ate lunch at twelve. In the afternoon my friend Hiroko came over. We talked a lot about school and our club activities. After that, we went to the park near my house and played badminton. We got home at five.

例をヒントにして、この前の日曜日にしたことを書いてみよう。

用例にならない、つなぎことばなどを効果的に使って、文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

→ 読み直し

2 理由をいくつか挙げながら書いてみよう

相手に自分の意見を述べるときは、なぜそう思うのかという理由を示すと説得力があります。いくつかの理由を、順番に示しながら書いてみましょう。

- 「私は、～だと思います。」 ← 最初に自分の意見を書く。
- 「それには、三つ理由があります。」 ← 理由がいくつあるか示す。
- 第一に(まず)、～だから。 ← 以下、順番に理由を書く。
- 第二に、～だから。 ● 第三に(最後に)、～だから。

Ex.) Having friends is important to us. There are three reasons for this. First, friends share their knowledge with us. This broadens our point of view. Second, we can enjoy our free time with our friends. Third, our friends help us when we are in trouble. Of course we can live without friends, but if we have friends, our lives will be more pleasant.

注 share 分かち合う broaden 広げる a point of view ものの見方 in trouble 困った

次の文に続けて、いくつか理由を挙げて文章を書いてみよう。

I think that English is important in our lives. There are reasons for this. First, Second, Third, ...

→ 読み直し

3 例を挙げながら書いてみよう

相手に何かを説明する場合には、具体的な例を挙げながら説明するほうがずっとわかりやすくなります。そういうときには、次のようなつなぎ表現が便利です。

for example (例えば), for instance (例えば), such as (～のような), like (～のような)

Ex.) Different people like different foods. For example, my father likes Chinese food, such as ramen and gyoza. My mother likes Japanese food. She is a good cook and has a lot of recipes. My sister likes Italian food, like pasta and pizza. I like hamburgers and sandwiches because they are delicious and we can eat them very quickly.

注 a recipe レシピ, 調理法 delicious とてもおいしい quickly すばやく

例をヒントにして、家族の好きな食べ物について書いてみよう。

→ 読み直し

Let's write more!

学習事項の定着を図る補充練習

1. 自分のこれまでの経歴について、簡単にまとめてみよう。 [→ 1]

Hint 生まれた年、学校に入学した年などを時間順にまとめ、それに沿って、所々に簡単なエピソード(好きだったことやクラブ活動など)を交えて書いてみよう。

2. ある人が自分たちのリーダー(キャプテン・部長・委員長など)として適任であることを表す文章を、理由をいくつか挙げながら書いてみよう。 [→ 2]

3. 自分の周りの人たちの趣味や好みに関して、例を挙げながら説明する文章を書いてみよう。 [→ 3]

Further Activities 2

図絵を描写する問題など, Express It Logically の学習事項を活用する activity が充実. 「資格・検定試験」の問題に通じる内容となっています

- 1 Write a short passage of 40 words or more about your experience of a trip or an excursion. Use words showing time order (next, then, after that, later, etc.). [→ 1]

.....

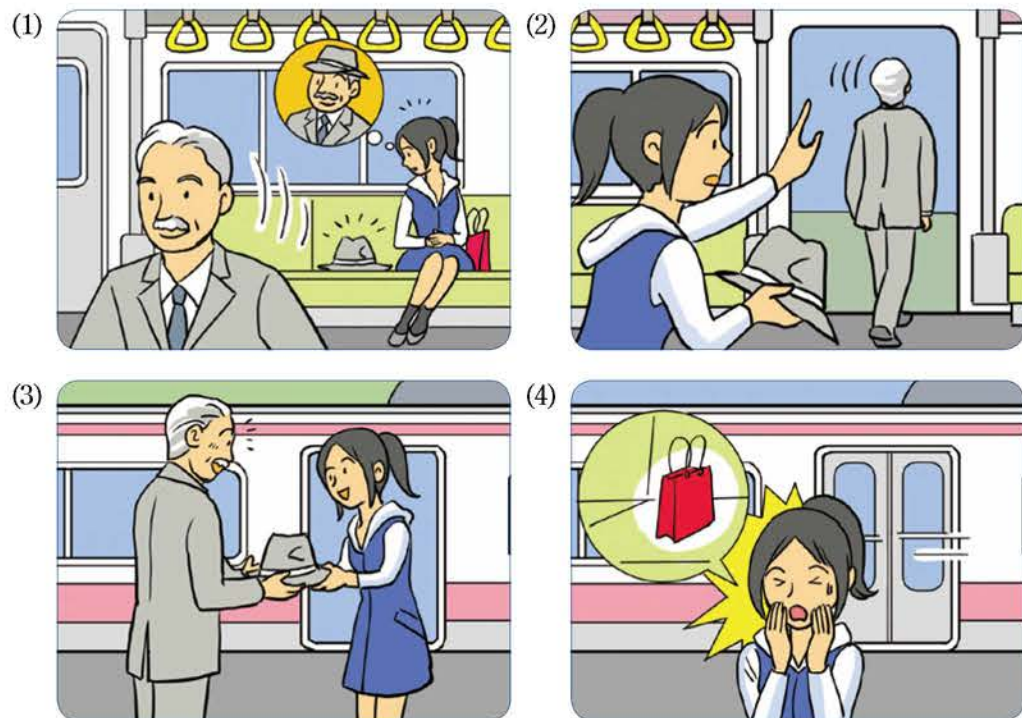
.....

.....

.....

→ 読み直し

- 2 Tell your partner the story shown in the following pictures. Use words showing time order. [→ 1]



Yesterday afternoon, I was on a train.

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

- 3 Answer the questions. Give two or three reasons, using words like "first," "second," "third," or "also." Your answer should be 40 or more words in length. [→ 2]

Question (a): Do you think learning foreign languages is important?

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

Question (b): Do you think smartphones help with your studies?

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

- 4 Using the following structure, explain a saying you know. [→ 3]

*saying 「ことわざ」

There is a saying, " [] . " This means [] .
For instance, [] . [] .

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

Hint For instance, [] . の後に, As another example, として, 異なる例を補足してもよい. 最後の部分は, 自分の意見などを結論として述べてみよう.

英語表現上のコミュニケーション機能（言語の動き）を学習。豊富な対話用例を「支援」として提示しています

Expressions リスニング・発音判定, Dialog リスニング, Pt.2 全主要例文リスニング, 復習問題・解答 pdf

F 程度・結果を述べる

Listen and Answer

WARM-UP : Listen and Answer
学習内容の導入となるリスニング問題。共通テストにも通じる、図表・写真を選択させる問題もあります

Listen to the speech by an exchange student from questions ①-③.

① What does the speaker's nickname mean?



② Who is visiting Japan now?

— _____.

③ What did the speaker do at Kinkakuji Temple?

— She _____.

INPUT ~ INTAKE : Expressions
ポイントとなる機能表現をペアワークで習得。それを活用してオリジナルの対話文を作る練習



Expressions



Work in pairs. Practice the following dialogs.

- | | |
|--|---|
| <p>① A: You <u>seem busy</u> today.
B: Yeah, I'm <u>so busy that</u> I didn't have time for lunch.
A: You <u>should eat something, or you'll damage your health.</u></p> <p>② A: <u>Kim was kind enough to lend me an umbrella.</u>
B: She always tries to be helpful.
A: <u>Yes, she is really a good person.</u></p> <p>③ A: <u>This curry is too hot to eat.</u>
B: I thought you liked <u>spicy food.</u>
A: Well, it depends. This is <u>too hot!</u></p> | <p>A: 今日は忙しそうだね。
B: うん、とても忙しくて、<u>昼食をとる時間がなかったよ。</u>
A: <u>何か食べたほうがいいよ、そうしないと体を壊すよ。</u>
A: <u>キムが親切にも傘を貸してくれたよ。</u>
B: <u>彼女はいつも人の役にたつように心がけているよね。</u>
A: <u>うん、ほんとうにいい人だよ。</u>
A: <u>このカレーは辛すぎて食べられないな。</u>
B: <u>あなたは辛い食べ物が好きだと思ってたわ。</u>
A: <u>でも、程度によるよ。これは辛すぎるよ！</u></p> |
|--|---|

▶ Make your own dialogs by changing the underlined parts.
Practice the dialogs you have made and present them to the class.

Can-do! 機能 英語で程度・結果を述べるができる。 話題 人の性格や特徴などについて英語で表現できる。

Dialog

Meg, an exchange student from the U.S.A., is talking to Ken.

Listen to the dialog and fill in the blanks. Then play the roles of Meg and Ken.

INTAKE : Dialog
左ページにおいて学習した Expressions や重要表現・語彙を定着させる dictation. role play によって、コミュニケーションを図る場合の発声練習を行います

M: Have you () to the new restaurant?
K: Yes, I had lunch there last week. It was really delicious, but the shop was () busy () I had trouble getting a seat.
M: Yes, it seems amazingly (). I've wanted to eat there, but there's usually a long () outside. I guess I'm just too impatient.
K: Maybe someday you could arrive early () to avoid the lunch crowd.
M: That's a good (). I'll try going at around 11:30 next time.



OUTPUT : Retelling
Dialog を自分のことばで要約する活動。自分が聞いた内容を第三者に伝える練習にもなります

Retelling

Summarize the dialog.
Ken had lunch ① _____ in Midori-machi. It was ② _____ but the shop ③ _____. Ken suggested to Meg that she should ④ _____.

Further Activities

OUTPUT : Further Activities
実生活につながる応用的な言語活動により OUTPUT を促進します

Introduce one of the following exchange students to your friend.

Student	Nancy	Tuan	Sehi
From	Toronto, Canada	Hanoi, Vietnam	Daegu, Korea
Hobby	swimming, cycling	tennis, cooking	reading
Favorite music	classical	pop	jazz
Japanese foods you like and don't like	😊 <i>sukiyaki</i> 😊 <i>natto</i>	😊 <i>sushi</i> 😊 <i>konnyaku</i>	😊 <i>tempura</i> 😊 <i>umeboshi</i>

Ex.) Let me introduce Pedro. He is from Santos, Brazil. His hobby is watching movies. His favorite kind of music is rock'n'roll. He likes *natto* so much that he eats it every day. He doesn't like *takuan*.

▶ Discussion ◀ Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here? (Hint → p.106)

OUTPUT : Discussion/Debate
日常的な、議論・討論しやすい話題を提示

Hints for Discussion and Debate

L. 9 If you can go abroad, where do you want to go and what will you do?

1. I will go to New York. I like drama, so I will go to theaters and see plays.
2. I will go see the Pyramids in Egypt. I wonder how they were constructed.
3. I'm scared to fly, so I will just visit Japanese tourist spots by train.
4. I wonder where I should go. There are many countries that I'm interested in.
5. You are going to see your brother in Singapore, aren't you?
6. I won't be satisfied with traveling on Earth. I want to go to the Moon.

L. 10 Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here?

1. I want to take her to an *onsen*. There she can experience Japanese style bathing.
2. Last year, the exchange students participated in Field Day. How about this year?
3. While she is in Japan, I want her to experience a Japanese tea ceremony.
4. That will be a good opportunity to make good memories with her.
5. Why don't we hold welcome and farewell parties for her?
6. What is her host family planning?
7. We don't know what she likes. Let's send our ideas to her and ask her to choose among them.

L. 11 Talk about what you want to be in the future.

1. I like math. If I become a math teacher, I'll be able to enjoy teaching math to children.
2. I hope to be a police officer. Protecting people from crime is tough but worthwhile.
3. I want to be the editor of my favorite fashion magazine. My dream is....
4. I want to become an astronaut. Doing experiments in space must be interesting.
5. I have a dream of becoming a voice actor, so I have to....
6. My dream is to be a professional soccer player. I practice soccer every day.
7. I want to be a millionaire and build a big house. That is because....

L. 12 Have you ever been cheered by your friends or family? Talk about your experience.

1. When I got a bad score on the test, my father said to me....
2. I was in hospital. My friends often visited me and that made me happy.
3. When I lost my textbook, my friend shared his with me and helped me look for mine.
4. My friends cheer me up, but I hesitate to cheer them up because....
5. Actually, when I am depressed, I want to be alone.
6. My mother says nothing when I am sad. She knows how to cheer me up.
7. It is my neighbors that help me when I'm in trouble. For example,

Let's write more!

1 Experiences Abroad [→L. 9]

→ Words & Phrases p.70 [旅行・交通]

▶ Write about an interesting experience you had during your trip.

(旅行での興味深い経験について書いてみよう.)

Ex.) I took a trip to Germany when I was thirteen. I enjoyed visiting old churches and castles. But my best experience there was watching a professional soccer game. The game was full of speed and excitement.

2 Exchange Students [→L. 10]

→ Words & Phrases p.69 [趣味・余暇] p.70 [本・映画・テレビ]

▶ You want to exchange emails with one of the three students shown in Further Activities on page 101. Send him or her an email introducing yourself.

(あなたは、p.101の Further Activities の表の3人の生徒のうちの1人とEメールを交換したいと考えています。自己紹介のEメールを送ってみよう.)

Ex.) To: **Steve**
 Subject: **I'd like to exchange emails with you. (Haruto)**

Hi, Steve. My name is Murakami Haruto. My hobby is the same as yours, watching movies. I like action movies and my favorite actor is Tom Cruise. But these days I am so busy that I can't find time to watch his movies. What kind of movies do you like? I would be glad if you would give me a reply. Thank you.
 Haruto

3 I Want to Be a ... [→L. 11]

→ Words & Phrases p.71 [職業・仕事]

▶ Tell what kind of job you want to do in the future.

(将来どのような職業に就きたいかについて述べてみよう.)

④ genre [ʒɑ:nrə] ジャンル, 類型

Ex.) I want to be a novelist. I like writing stories very much. I hope to write stories that make readers happy. In order to be a good novelist, I need to read books from various genres and gain a broad knowledge of the world.

4 Cheer Up Your Friend [→L. 12]

▶ Your friend writes to you as below. Write your reply.

(友だちが次のように書いてきました。返事を書いてみよう.)

[Today, I baked a birthday cake for my grandmother, but it tasted bad.
 I feel sorry about this.]

Ex.) Karen, I know how you feel, but don't worry. Your intention is more important than the taste of the cake. I'm sure your grandmother was very happy that you took the trouble to make something for her. Cheer up!
 Koji

情報・考えを整理して発表しよう!



聞き手が理解しやすいような発表内容にするためには、情報・考えがきちんと整理されていなければなりません。それにはいくつか注意すべき点があります。

1 時間の流れに沿って、内容を整理しよう

人物や出来事の紹介などは、時間の流れに沿ってまとめると理解しやすくなります。例えば、あるスポーツ選手について述べたい場合、次のように年代を追って整理し、スライドで年表などの資料を示すとよいでしょう。

Alex Minton was a great pitcher. He joined the Condors in 1990. He set a record by having 15 or more wins every year for 11 years. In 2002, he underwent an operation on his right elbow and had no chance to play. However, he made a comeback in 2003 and won 14 games. He finally retired after the 2006 season with a record of 5-4 that year.



Professional Career of Alex Minton

Year	Win	Loss	SO	ERA
'90	15	8	232	2.87
'91	18	5	251	3.06
'92	20	7	255	2.64
'93	19	8	270	2.98
'94	16	10	228	3.43
'95	21	6	275	2.57

2 重要な内容から順に述べよう

聞き手に納得してもらうには、自分の主張と、その理由付けや補足事例を明確に述べる必要がありますが、その中でも特に重要だと自分が思うことは、まず最初に伝えるのがよいでしょう。

例えば「sushiの人気の秘密」について発表するとします。その人気の理由としては、

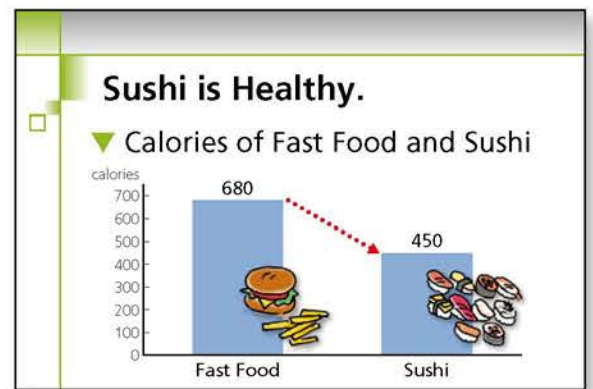
It's tasty. / It's healthy. / It looks good. / There are many different kinds. / The price has become reasonable.

などが挙げられるでしょう。この中で最も重要だと考える理由が It's healthy. だとすれば、その点から発表を始めるのが効果的です(→次ページの例を参照)。

3 事例を比較したり、統計資料を活用したりしよう

ある2つの事柄を比較したり、客観的な数値を用いて説明したりすると、発表に説得力が増します。その際にグラフや図表を用いると、聞き手の注意を引き、理解を深めて、発表をより印象深いものにすることができるでしょう。先に述べた「sushiの人気の秘密」というテーマでは、次のような発表が考えられます。

Good afternoon, everybody. Today, we'll explain to you why sushi is so popular all over the world. **First of all, sushi is very healthy.** Take a look at this chart comparing **sushi and fast food.** One meal of sushi (10 pieces of different kinds) has about **450 calories**, while one fast food meal, a cheeseburger (300 calories) with medium French fries (380 calories), has about **680**. A California roll made with healthy things like avocado, crab meat, and cucumber has **only 35 to 40 calories** per piece, so six or seven pieces add up to less than 300 calories. These examples show what a low-calorie food sushi is. ...



Let's Practice!

プレゼンテーションの実践練習

日本のアニメやファッション、食べ物、音楽などのうち、国内や国外で人気のあるものをテーマにして、なぜ人気があるのかなどについて発表してみよう。情報や考えをまとめるときに、発表に説得力をもたせることを念頭に、具体例や統計資料などを収集して活用してみよう。

Useful Expressions



例文リスニング,
文法解説動画,
文法まとめ (→ p.6)

*各レッスンの主要例文 PART 1,2 各レッスンの主要例文のポイントを書いて覚えるページ。部分英作文の形式になっているので、文法・表現の復習・総まとめに最適です

PART 1

- L.1** ▶ かぎを落としましたよ。 () () the key.
(p.6) 今日は宿題がありません。 () don't have homework ().
 今日はとても暑い。 () very hot ().
- L.2** ▶ 私はコーヒー。 () () coffee, please.
(p.8) 電話に出てください。 () the phone, please.
 庭に高い木があります。 () () a tall tree in the garden.
- L.3** ▶ この靴はトムのです。 () shoes () Tom's.
(p.10) 昼食を食べましょう。 Let's have ().
 ドアを開けてください。 Open () (), please.
- L.4** ▶ ミクは科学に興味があります。 Miku () interested in science.
(p.14) 彼女は歴史が得意ではありません。 She () () good at history.
 アキラは野球をしますか。 () Akira a baseball player?
 彼は毎日野球の練習をしますか。 () he () baseball every day?
- L.5** ▶ 母はよくリンゴを食べる。 My mother often () apples.
(p.16) 彼女は今リンゴを食べている。 She () () an apple now.
 弟は昨日テニスをした。 My brother () tennis yesterday.
 彼は正午にテニスをしていた。 He () () tennis at noon.
- L.6** ▶ 明日はいい天気でしょう。 () () sunny tomorrow.
(p.18) 私は庭仕事をします。 () () the gardening.
 私はお寺巡りをするつもりです。 () () to visit some temples.
 明日は奈良に滞在します。 () () in Nara tomorrow.
- L.7** ▶ アヤは北海道へ引っ越してしまいました。 Aya () () to Hokkaido.
(p.20) 私は北海道へは一度も行ったことがありません。 I () never () to Hokkaido.
 彼女とは10年来の知り合いです。 I () () her for ten years.
 富山に引っ越す前は長野に住んでいた。 I () () in Nagano before
I moved to Toyama.
 それまで海を見たことがなかった。 I () never () the sea
until then.
- L.8** ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。 Mr. White () () five
(p.24) 私たちは彼の辞書を使ってもよい。 We () () his dictionaries.
 ここで勉強してもよろしいですか。 () I study here?
— ええ、かまいません。 — Yes, certainly.

◆教材配当表：時間数は目安；定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間70時間の想定。

PART 1：基礎的表現の習得

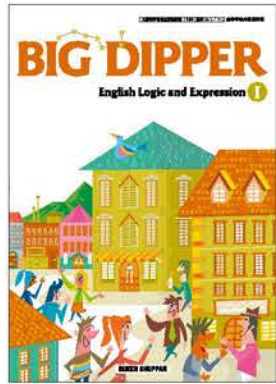
PART 2：機能表現の習得

課	タイトル	学習事項	時間数	課	タイトル	学習事項	時間数
1	はじめに①	「だれが」[～する]をはっきりと	1	1	School Life	勧誘する, 提案する	1
2	はじめに②	動詞をうまく使おう	1	2	School Subjects	依頼する, 理由を聞く・述べる	1
3	はじめに③	名詞の数などに気をつけよう	1	3	Free Time	確認する, 訂正する	1
4	My Friends	～である [ない] ～ですか [しますか]	1	4	Feeling Well?	心配する, 助言する	1
5	My Family	～する [している] ～した [していた]	1	EL5	情報・考えをまとめてみよう!		1～2
6	Pastime	未来で行うことの表現	1	5	Housework	義務・必要を述べる	1
7	My Town	完了・継続・経験の表現	1	6	The Internet Is Fun	期待・確信を述べる	1
C	辞書を活用しよう!		1	7	I've Lost Your Book	謝罪する, 謝罪に応じる	1
8	Our Teachers	能力・許可・推量 など	1	8	Planning a Trip	計画する, 予定する	1
9	Visiting a Museum	必要・義務, 過去についての推量・後悔 など	1	EL6	発表の仕方や表現を工夫しよう!		1～2
10	Famous People	～は…になる / ～に…を与える / ～を…にする など	1	9	Experiences Abroad	感想を尋ねる・述べる	1
11	Reading	～される [されない] ～に満足している など	1	10	Exchange Students	程度・結果を述べる	1
EL1	短い文章を書いてみよう!		2～3	11	I Want to Be a ...	願望・目的を述べる	1
12	Studying Abroad	～すること / ～すべき… ～する方法 など	1	12	Cheer Up Your Friend	同情・共感する, 励ます	1
13	Advice	～するために / ～するように頼む / ～するのを見る など	1	EL7	情報・考えを整理して発表しよう!		1～2
14	Hobbies	～すること など	1	13	Farewell Party	感謝する, 喜ぶ	1
15	My Vacation	～している [された] …/ ～しているのを見る など	1	14	Saving Resources	賛成する, 反対する	1
EL2	文のつながりを示す語句を使おう①		2～3	15	Social Problems	意見を尋ねる・述べる	1
16	In a Zoo	同じくらい～ より～ など	1	EL8	発表を聞いて, 自分の考えをまとめてみよう!		1
17	Our Team	最も～ / 2倍の～ / できる だけ～ など	1	EL9	競技ディベートを行ってみよう!		1～2
18	Neighbors	～する人・物 / …が～する 人・物 など	1				
19	Speeches	…が～すること / …が～する 場所 [時] など	1				
EL3	文のつながりを示す語句を使おう②		2～3				
20	My Wish	事実と異なる状況の表現	1				
21	A Birthday Gift	名詞に相当する節 時・理由・条件の表現	1				
EL4	書いた内容を読み返し, 書き直そう		1～2				

* C…Column / EL…Express It Logically
* 二次元コードから, 各課 Review Exercises, 語彙問題 [p.22], 文法のまとめ [p.122] にアクセスできます。
* その他, 授業での発話集 Classroom English [前・後見返し], 不規則動詞活用表 [p.12], 活動評価のルーブリック [p.13], Words & Phrases [pp.67-72], 主要表現まとめ Useful Expressions [pp.122-128] を収録。

★参考書『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、
文法もしっかり定着！

教科書の主要例文は、参考書『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』と連携するようになっています。参考書との併用で、文法・表現の理解がさらに深まります



教科書
BIG DIPPER
English Logic and Expression I



参考書
チャート式シリーズ
BIG DIPPER 高校英語

参考書の詳細は
こちら！



教科書『BIG DIPPER English Logic and Expression I』

Link **B.E.9 「～できる」「～してもよい」**

① Mr. White can speak five languages.	▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
② We can use his dictionaries.	▶ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
③ May I study here? — Yes, certainly.	▶ ここで勉強してもよろしいですか。—ええ、かまいません。

▲Part1, p.24

Expressions Work in pairs. Practice the following dialogs.

① A: Will you do me a favor? B: Sure. What can I do for you? A: Can you show me your textbook? I forgot to bring mine. B: Of course.	A: お願いがあるんだけど。 B: うん。何かな？ A: 教科書を見せてくれる？ 自分のを持って てくるのを忘れてしまって。 B: もちろんいいよ。
---	---

▲Part2, p.76

参考書『チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』

第5章 助動詞 p.102~p.118

1 can / could

A 「～できる」(能力・可能)

◆ Mr. White **can** speak five languages. 53
(ホワイト先生は5か国語を話せる。)

- ▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(=～できる)の意味を表す。
Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. (能力)
(あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/いいえ、乗れません。)
- ▶ 否定形は **cannot** (can not は使わない)、会話では **can't** がよく使われる。
Lucy **cannot** [can't] swim. (ルーシーは泳げません。)
- ▶ Can you come at ten? (可能) (10時に来ることができますか。)

B 「～してもよい」(許可)

◆ We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい。) 54

- ▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
You can stay here until the rain stops. (雨がやむまでここでもいいよ。)
- ▶ Can I / we ~? は「～してもいいですか」と(許可)を求める表現。
否定形は「～してはいけません」(軽い禁止)。
Can I talk to you now? — Sure. (今話をしてもいいですか。—いいですよ。)
- ▶ Could I / we ~? は「～してもよろしいでしょうか」と(丁寧に)許可を求める表現。
Could I ask you a question? — Of course, you can (×could).
(質問をしてもよろしいでしょうか。—もちろんです。)
- ▶ 受け答えは、could ではなく、can することに注意。

C 「～してくれませんか」(依頼)

◆ Can you show me your textbook? — Of course. 55
(教科書を見せてくれる?—もちろんいいよ。)

◆ Could you (please) show me your dictionary? 56
— Sure. Here you are.
(辞書をちょっと見せていただけますか。—いいわ。はい、どうぞ。)

- ▶ Can you ~? は「～してくれませんか」という(依頼)の意味を表す。
- ▶ Could you ~? は「～していただけませんか」と(丁寧に)依頼をする表現。

2 may

A 「～してもよい」(許可)

◆ May I study here? — Yes, certainly. 57
(「目上の人に対して」)ここで勉強してもよろしいですか。—ええ、かまいません。)

- ▶ can にもこの意味があるが(→ 1-A), may のほうがかたまった言い方。
You may take the newspaper with you. (→ How to Use It)
(その新聞を持って行っていいですよ。)(目上の人か子どもや目下の人に対して)
- ▶ 否定形の **may not** は「～してはいけません」(軽い禁止)。
Students may not enter the room. (掲示) (生徒は入室してはいけません。)

CONTENTS

IIの学習にあたり、英語表現力を伸ばしていくための留意点を改めて確認します。

「論理・表現II」では、「論理・表現I」で
するやや高度な構文・表現までを体系的に
事項を繰り返して学んで理解を深める「スパ

学んだ基本事項を根幹として、それに関連
扱います。I→IIと使用することで、重要
イラル学習」が可能となっています。

Space

【宇宙】 50

はじめに 英語表現力を効果的に身につけるには / ルーブリック(評価基準表) 5

PART 1 Building a Basis for Logical Expression

Lesson 1 School Festival [現在・過去・進行形] 5
◎「～である[であった]」「～する[した]」「～している[していた]

Lesson 2 A Trip to Sapporo [未来表現] 5
◎未来の予定や計画などについて、英語で表現できる。

Lesson 3 My Dear Friend [現在完了] 5
◎現在における完了、経験、状態・動作の継続の意

Lesson 4 A Dog in a Barbershop [助動詞] 6
◎過去の状態や習慣、過去についての推量などを表

Lesson 5 Japanese Food [受け身] 24
◎「～される」「～だと言われている」

Lesson 6 Volunteer Activities [不定詞①] 26
◎「…に～するように勧める」「…に～させる」「…が～すること」などを英語で表現できる。

Lesson 7 A Stage Actor [不定詞②] 28
◎「～だったと言われている」「～するほど…」「…すぎて～できない」などを英語で表現できる。

Lesson 8 I Like Singing [動名詞] 32
◎「～すること」「～したこと」「～するの

Lesson 9 Cycling [分詞] 36
◎「～しに行く」「～している[される]のを…する」「～しながら」などを英語で表現できる。

Lesson 10 My New Hiking Boots [比較①] 38
◎「同じくらい～」「より～」「X倍の～」「～すればするほど…」などを英語で表現できる。

Lesson 11 The Yangtze River [比較②] 40
◎「最も～」「何番めに～」「ほかのどの…よりも～」などを英語で表現できる。

Lesson 12 My Sister's Job [関係詞①] 42
◎「～する人/物」や、「人/物」についての補足説明を、関係代名詞を用いて表現できる。

Lesson 13 In Kansas City [関係詞②] 44
◎「～すること」「～する場所/時」や、「場所/時」の補足説明を、関係詞を用いて表現できる。

生徒が互いに活動を評価するためのルーブリックを掲載
[→ Pt.1, Read Aloud に活用]

PART 1で論理的な英語表現の基礎(文法)を習得
<Grammatical Syllabus>

PART 1の配列は、小社文法テキスト『21 ディッパー英文法』とほぼ同じです

英語の発音(音のつながり・脱落、リズムなど)に関する注意点

英文パラグラフの基本構成(主題文→支持文→まとめ文)を確認

L.1～16の難易度は緩やかな傾斜 / 2年次以降の学習に適切な内容となるよう、Iの反復+補充として、重要事項を精選しています

パラグラフの展開法(時間順、例証)を習得

パラグラフの展開法(比較・対照、原因と結果)を習得

Lesson 14 An Android Like You [仮定法①] 52
◎「もし～ならば[だったら]、…する[した]だろう」と、事実と異なる仮定を英語で表現できる。

Lesson 15 I Left My Smartphone [仮定法②] 54
◎「～ならいいのに」「まるで～のように」「万～ならば」などを英語で表現できる。

Lesson 16 Express It Logically 4 [時制の一致・語法] 56
英語でエッセイを書いてみよう【エッセイ・ライティング】

和製英語 身近な和製英語を取り上げ、英語に関する理解を深める 60

パラグラフ間の関連・展開を意識したエッセイ執筆を学習

PART 2 Communicative Function

PART 2では言語の働き(function)を中心に習得
<Functional Syllabus>

Lesson 1 What's Your Favorite Dish? 56
◎英語で好き嫌いを述べるができる。

Lesson 2 Uniforms or Casual Clothes? 68
◎英語で希望・欲求を述べるができる。 Express Your Opinionに関するヒント(スピーキングでの解答の構成法)

Lesson 3 Project Studies Program 70
◎英語で賛成・反対を述べるができる。 emailや手紙などを題材とした、まとまった分量の文章を書かせる練習

Lesson 4 A Guitar Concert 74
◎英語で勧誘・招待する、期待を述べるができる。 インタビュー(面接や質疑応答)の練習(様々な場面設定でのコミュニケーション活動)

Lesson 5 Studying Abroad 80
◎英語で計画・意図を述べるができる。 Express Your Opinionの、ライティングでの解答の構成法

Lesson 6 What Should I Do? 82
◎英語で提案・助言を行うことができる。 要約文作成のプロセスを学習

Lesson 7 A Korean Drama 86
◎英語で程度や譲歩を述べるができる。 よりよいコミュニケーションを行うためのポライトネスを考える

Lesson 8 Going Bird Watching 90
◎英語で依頼・要請を行うことができる。

Lesson 9 Meeting the Deadline 92
◎英語で許可を求めることができる。 ライティングでの解答の、ルーブリックを用いた自己評価(推敲)

ポスターや広告、グラフの内容に関する伝達

Lesson 10	Friendship Festival	【交流】	94
	◎英語で感謝・喜びを述べることができる。		
Lesson 11	Returning a Magazine	【失敗・落ち度】	96
	◎英語で謝罪する・謝罪に応じることができる。		
Lesson 12	What Is Your Opinion?	【事業】	98
	◎英語で個人的なディスカッションへの応用		
	Tips for Express Your Opinion ④ ・ Writing <Lessons 10-12> 100		
	Express It Logically ⑧ 図表の内容について伝達してみよう (2) 102		
PART 3 Advanced Communicative Activities 天気予報や道案内などを題材とした実践的な対話・プログラムの内容の説明			
Lesson 1	Making a Manuscript	【Presentation ①】	106
	◎プレゼンテーションの原稿を作ってみよう		
Lesson 2	Making Your Presentation More Effective		
	◎プレゼンテーションをより効果的なものにするには		
Lesson 3	Being an Active Listener	【Presentation ③】	110
	◎プレゼンテーションを聞くときの注意点		
Lesson 4	Having a Discussion	【Discussion ①】	112
	◎ディスカッションを行ってみよう		
Lesson 5	Speaking in Order	【Discussion ②】	114
	◎ディスカッションにおける適切な発言のしかた		
Lesson 6	Thinking Logically and from Different Angles	【Debate ①】	116
	◎ディベートを行う意義(論理的・多面的に考える力を養う)		
Lesson 7	Sharpening Your Thinking Ability	【Debate ②】	118
	◎ディベートを通じて思考力に磨きをかけよう		
Useful Expressions		各レッスンの主要例文のポイントを書いて覚えるページ。文法・表現の総まとめに最適	120
Index			126

表現別さくいん

※このほか、前見返しでは英文手紙・emailの書き方を、後ろ見返しではPunctuation(句読法)のまとめを掲載



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレット・PCやスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報*にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用者の方の負担となりますのでご注意ください。

理解を深めるコンテンツやツール、学習に資する参考情報にアクセス

[URL: <https://www.chart.co.jp/qr/22ee2/>]

*主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、発音練習ツールをご用意しています。

本書の構成

本書は大きく3つのパートによって構成されています。**Part 1**では英語表現における基本的なルールを、**Part 2**では言語の働き(機能)を意識した表現を習得し、**Part 3**ではpresentationやdebateなどの総合的なコミュニケーション活動を学習します。

Part 1 「本課」の構成

左ページ ▶ **基本例文** ・ **Listen and Answer** :

各課で学ぶべきポイントを含む基本的な文章と、それに関するリスニング問題

Read Aloud :

ペアでの音読練習 [p.8 のループリックでお互いを評価してみよう.]

Tips for Expression : ポイントとなる表現の簡単な解説

Think and Express! A : 図絵の内容を自分で思考・判断し、表現する活動

右ページ ▶ **Think and Express! B** : まとまった文章内容を自分で表現する活動

リスニング問題→キーワードの書き取り→リテリング(聞いた内容を自分のことばで表現する活動)

Express Yourself! : モデル文などを参考に文章を書き、その内容(音読)を軸にして対話を行う活動 [S...Suggestions: 文章を書くうえでのヒント]

Part 2 「本課」の構成

左ページ ▶ **Model** ・ **Listening Quiz** ・ **Expressions** :

各課で習得すべき言語の働き(機能)をもつ表現を含む用例と、リスニング問題

Think and Express! A : 図絵の内容を自分で思考・判断し、表現する活動

右ページ ▶ **Think and Express! B** : 対話などの内容を要約して伝える活動

リスニング問題→ディクテーション(空所補充形式の書き取り)→リテリング(自分のことばで要約する活動)

Express Yourself! : モデル文などを参考に対話を行い、グループワークでやり取り・発表を行う活動

Express Your Opinion : 題材に関連したトピックについて意見を述べる活動

● 3課おきに **Express Your Opinion** のヒントと、**Writing** (emailなど)の練習を補足。

PART 3 について

PART 3では presentation, discussion, debate といった、比較的高度な言語活動を学習します。情報や考えをまとめて発表する、グループで多様な意見を述べ合うなど、より総合的なコミュニケーションを行う力を身につけましょう。

Express It Logically について

本課3-4レッスンごとに、パラグラフの構成法や、図表の読み取り・表現、要約文の作成など、論理的な英語表現を行ううえでの留意点をまとめています。

● 上記のほか、pp. 5~7の「はじめに」では、英語表現力を効果的に身につけるための注意点を記していますので、ぜひ読んでおいてください。「和製英語」などのコラムも、英語表現の幅を広げることにつながるでしょう。また、巻末 **Useful Expressions** (重要表現の復習)、**INDEX** (表現別さくいん)を用いて、繰り返し表現練習を行うことで本書の内容を定着させましょう。

Lesson 4

「4 技能の統合的演習」の中で、文法のポイントを確認できます



モデル文章リスニング・発音判定, Pt.1 主要例文リスニング, ポイント解説 pdf, 復習問題・解答 pdf

① There **used to** be a barbershop at that corner. ② I **would** often go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.

① 以前あそこには兄とよくそこの老犬がいた。イヌはいつも怖がりだったにちがいない。あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。

INPUT: モデル文
各課で学ばべきポイントを含んだ英語の文章(モデル文)。学習者に身近な題材を取り上げています

Listen and Answer

INTAKE: Listen and Answer
モデル文に関するリスニング問題(文章に関する音声での質問)。内容や文法事項の定着を図ります

- (1) _____
(2) He thinks _____

Read Aloud

INTAKE: Read Aloud
文章の音読練習。書き手の気持ちになって、相手に伝えることを意識させる活動です。教科書 p.8 に掲載したループリックを用いて、学習者間評価を行います

Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

Tips for Expression

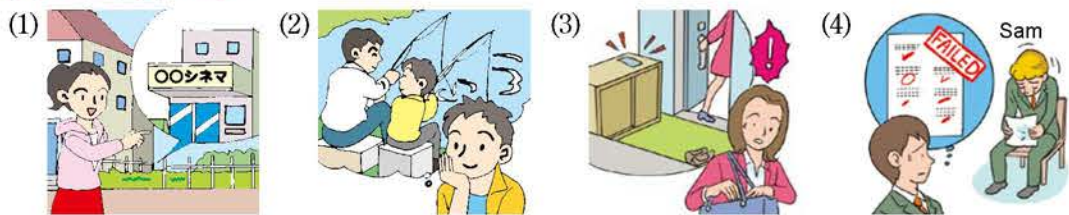
- 現在と対比して客観的に「以前は～が」また、過去のことを思い起こして主観を表す(→ ②)。
- 過去のことについて、現在の時点で「～だった[した]にちがいない[～だった[した]かもしれない]」と推量する場合は「must[may] have + 過去分詞」の形を用いる(→ ⑤)。

INTAKE: Tips for Expression
モデル文中の文法ポイントの解説。文法項目の整理

Think and Express! A

INTAKE ~ OUTPUT: Think and Express! A
図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です

Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.



- (1) There _____ there.
(2) I _____ with my father.
(3) I can't find my commuter pass. I _____.
(4) Sam looks sad. He _____.

Can-do! 表現 過去の状態や習慣、過去についての推量などを英語で表現できる。
 話題 過去の身の回りの状況や思い出などについて、英語で表現できる。

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

Think and Express! B

① Listen to the passage and answer the following questions. *The speaker is a girl.

- (1) When did the speaker meet Daisy?

(2) What would the speaker often do?

(3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?

② Listen to the passage again

OUTPUT: Think and Express! B
①モデル文とは異なる文章を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度文章を聞いて、キーワードを書きとる → ③キーワードを用いてイラストをヒントにリテリングを行う、という活動です。ディクトグロスにも活用可能です

③ Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

(You do not have to reproduce the passage exactly.)



You can refer to the passage on p. 23 if necessary.

Express Yourself!

各レッスンの Express yourself! は【英作文オンライン添削】に対応! (⇒詳細は p.85)

① Write a passage of a few sentences about your elementary school days.

S When I was.... / park / friend / play / read / catch fish[insects] / innocent

OUTPUT: Express Yourself!
[1] モデル文などを参考に、自分に関する文章を書く → [2] ペアで音読し、その内容に関して質疑応答を行う。「書く」「話す」「発表・やり取り」を統合的に育成する演習です

② Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)

パラグラフの「展開」を工


論理的な文章構成の要点をまとめました (パラグラフ・ライティング)。パラグラフの構成・展開法, エッセイ・ライティング [複数パラグラフでのライティング] を学習することで, 段階的に「書く」活動の内容を充実させていきます
 ※実際には見開き 2 ページ構成となります
 [パラグラフ・ライティング③]

1 比較・対照による展開

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

比較・対照 (Comparison and Contrast) のパラグラフ展開法では, 2 つ以上のものを比較して, 類似点や相違点を挙げて説明します。事例を比較・対照することによって, 主題文で述べることをより明確に伝えることができます。

Ex.) There are differences between how New Year's Day is celebrated in Japan and in the U.S. In Japan, many people celebrate the beginning of the year by eating feast food called *osechi*, going to shrines or temples, and spending time with their family. **In contrast**, in the U.S., many people go to New Year's Eve parties and shout or sound horns when the year changes at midnight. As in Japan, people usually stay home with the family on New Year's Day, but unlike in Japan, many Americans return to work on January 2nd.

New Year's Day	Japan	The U.S.
	<ul style="list-style-type: none"> • eating <i>osechi</i> • going to shrines or temples • spending time with their family 	<ul style="list-style-type: none"> • going to New Year's Eve parties • staying home on New Year's Day • returning to work on January 2nd

◆ 比較・対照を示す表現

while, however, although; on the other hand, on the contrary, in contrast
 <相違点を示す語句> different, difference, differ from; unlike; 比較級など
 <類似点を示す語句> similar, similarity; have ~ in common; like, alike

* 文脈に沿うように, () 内に適切な語を入れてみよう。 学習事項の定着を図る練習

At first it might seem that rugby football and American football are similar sports, but they are actually very () () each other. In fact, the two sports have very little in common. A rugby team has () () on each side, while an American football team has eleven players. () American football, players should not throw the ball forward in rugby games. Also, American football players wear sturdy* protective gear, which () () do not. (*がんじょうな)

2 原因と結果による展開

原因と結果 (Cause and Effect) のパラグラフ展開法は, 物事の因果関係を述べるもので, 説明文によく用いられます。「原因→結果」の順で展開する場合もあれば, 「結果→原因」の順に述べる場合もあります。

図表を用いた問題など, Express It Logically の学習事項を活用する activity が充実。「資格・検定試験」の問題に通じる内容となっています

1 The table below shows the percentages of people in two age groups who watched various kinds of sporting events on TV or the Internet in 2019. Explain the contents of the table, comparing the two age groups.

(参考: スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」令和1年)

Rank	Age 50-59	(%)	Age 20-29	(%)
1	Rugby	45.1	Professional Baseball	38.9
2	Professional Baseball	43.2	High school Baseball	37.8
3	High school Baseball	42.7	Rugby	32.9
4	Soccer (Japan National Team)	37.6	Soccer (Japan National Team)	32.1
5	Marathon / Ekiden	36.3	(Did not watch sporting events)	31.2
6	Skating / Ice Hockey	35.7	Volleyball	24.3
7	Grand Sumo	27.3	Marathon / Ekiden	18.1
8	Tennis	27.0	Skating / Ice Hockey	16.6
9	(Did not watch sporting events)	24.5	Soccer (J-League)	15.2
10	Volleyball	24.0	Tennis	14.1

学習ポイントを使って文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

→ 読み直し

2 Describe the situation shown in the pictures. (Speak impromptu.)



3 Suppose your class ran a juice stand at the school festival and it was very successful. Write a passage about this in which you tell why the stand was successful. Begin with the following sentence:

Our juice stand was a great success. _____

→ 読み直し

Lesson 1

「4 技能の統合的演習」の中で、英語表現上のコミュニケーション機能（言語の動き）を学習

① 好き嫌いを述べる

Model

Rika: Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?
Bob: Actually, no. I prefer Japanese food.
Rika: Oh, do you? What's your favorite Japanese food?
Bob: I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.
Rika: Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

モデル文章リスニング・発音判定, Expressions リスニング・発音判定, Think and Express! B リスニング, Pt. 2 全主要例文リスニング, 確認問題・復習問題・解答 pdf

リカ: ボブ, あなたは和食よりも洋食のほうが好

INPUT: モデル文

ボブ 各課で学習する機能表現を含むモデル文で, dialog・speech・email などさまざまな種類の英文を取り扱っています。また, リスニング問題で内容確認が可能です

しよに, よくお寿司屋さんに行っているよ。

リカ: ほんとう? 私もお寿司が好きだわ。いつかいっしょにお寿司を食べに行きましょう。

Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F

Expressions for < Likes and Dislikes >

- I prefer apples to oranges.
- Sashimi is my favorite dish.
- Mr. Brown is a big fan of omelets.
- I'm fond of Korean food.
- I don't much care for cheese.
- Ann dislikes[hates] green peppers.

INPUT: Expressions

モデル文で扱った機能表現に類する表現を, 例文を用いて補足しています

- 刺身は私が一番好きな食べ物です。
- ブラウンさんはオムレツが大好きです。
- 私は韓国料理が好きです。
- チーズはあまり好きではありません。
- アンはピーマンが苦手[大嫌い]です。

Note 5. care forは, 通例 否定文・疑問文などで用いられる。

INTAKE~OUTPUT: Think and Express! A

図絵の内容を自分で思考・判断し, 各課の学習ポイントを適切に活用する練習です

Think and Express! ①

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.

Ex.) I like cookies. I bake cookies at home once a month. It's enjoyable.



- (1) _____
 (2) _____
 (3) _____

Can-do! 機能 英語で好き嫌いを述べることができる。 話題 自分の好きな物について英語で表現できる。

Think and Express! B

1 Listen to the dialog between Paul and Karen.

- What is Karen's favorite food?
- What does Paul dislike?

OUTPUT: Think and Express! B

①モデル文とは異なる対話文等を音声で聞いて, それに関する内容確認問題を解く → ②再度対話文等を聞いて, ディクテーション, 対話練習を行う → [Retelling] 対話文等を要約して, 自分ごとばで第三者に伝えるように文章を作る, という活動です

2 Listen again and fill in the blanks. Then, play the roles of Paul and Karen.

Paul: What's your () food, Karen?
Karen: I love sushi. Especially, I'm a big () of ikura. How about you?
Paul: I like hamburgers. I () I could eat them every day. Are there any foods you ()?
Karen: None that I strongly dislike. But I don't much () for natto.
Paul: Myself, I like natto. I () shiitake mushrooms, though.



Retelling Summarize the dialog.

Paul and Karen are talking about _____.

Karen ② _____, but Paul doesn't much ④ _____ but ⑥ _____.

OUTPUT: Express Yourself!

[1] モデル文などを参考に, ペアで対話を行う → [2] ペアでの対話を他のペアに発表し, その内容に関してグループで質疑応答を行う。さらに Express Your Opinion で, 自分の意見と理由を話す練習を行う。「話す[発表・やり取り]」技能をさらに伸ばさせる活動です

Express Yourself!

※相手の意見に共感・同意する表現なども, 積極的に使ってみよう (→p.82).

1 Work in pairs. Make a dialog about a food you like or dislike.

S rich / plain / texture / go well with rice / make me happy[feel refreshed / energetic]

◆ As preparation, you can write down some key words in the box below.

2 Work in groups. Students A and B will show their dialog to students C and D. C and D will ask questions or make comments about it. (Then switch roles.)



Express Your Opinion

▶ Do you like cooking? Why or why not?



インタビュー、サマリー・ライティング、図表の内容の伝達活動など、さまざまな形式の「書く」「話す〔発表・やり取り〕」の活動を扱います。実践的な内容で、資格・検定試験の練習としても活用できます

図表の内容について伝達してみよう (1)

日常生活やプレゼンテーションの場面では、図表を用いたコミュニケーションもよく見られます。ここでは実際の状況を想定しながら、自分の考えが効果的に伝わるように、理路整然とした内容の文章を書く練習をしてみましょう。

問題演習中心で、適宜用例や解説を補足しています

1 ポスターや広告について伝達してみよう

- (1) You find the advertisement on the right. Write an email in which you invite your friend to take a trial lesson with you.
- (2) You want some more information. Write an email to the address on the advertisement, or to Mr. Harris, in which you ask two questions about the content.

Boxing Fitness
EAST NORTON
Boxing Gym
Turn Fat into FIT!
FREE Trial Lesson!

- ❖ Free Equipment ❖ Large Parking Lot
- ❖ Self-Defense Lessons also available!
- ★ Three-minute walk from Norton Station

For more information, please email
 Davy.Harris@sevenstars_plow.com

FLEA MARKET & LIVE MUSIC

Sat., Oct. 25 – Sun., Oct. 26

10 AM – 4 PM
 West Park

★ WE ARE LOOKING FOR VENDORS AND MUSICIANS.

If you are interested, please email
 Lauren.Brown@FMLM_united.com

- (1) You find the advertisement on the left. Write an email in which you invite your friend to go to this event with you.
- (2) You want some more information about the event. Write an email to the planner, Ms. Brown, in which you ask two questions about the event.

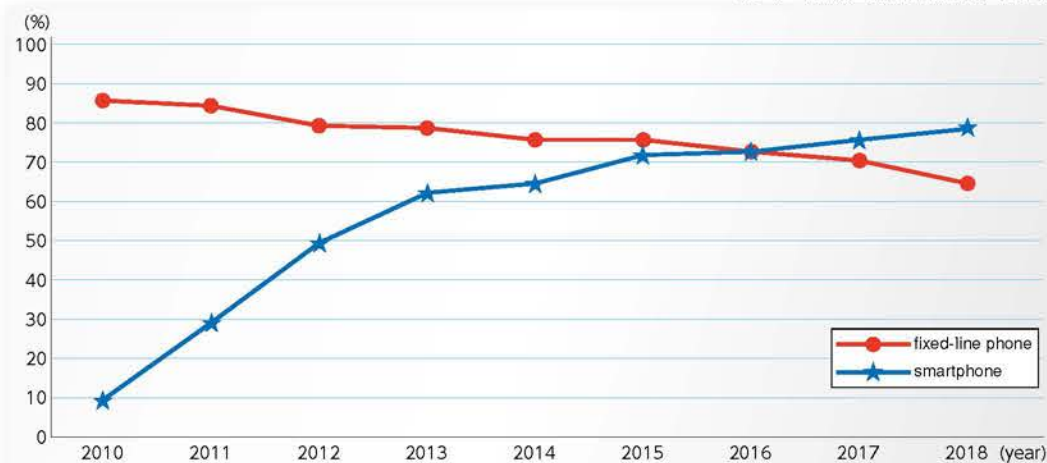
Hint (1) 友人宛ての Eメールは、Hi, ~. など始めて、Regards,(よろしく)や Let me know.(連絡をください) のあとに自分の名前を書いて締めくくる。(2) 広告主への問い合わせは、Dear Mr./Ms. ~, のあとに I'm writing to ask you a few questions about ~. と Eメールの主旨を書き、具体的な質問を記して、I look forward to hearing from you. (連絡をお待ちしています) など+Thank you,(よろしくお願ひします)+自分の名前締めくくる。

2 グラフについて述べてみよう

▶ Write a short essay about each chart. Summarize the information and add what you think about it.

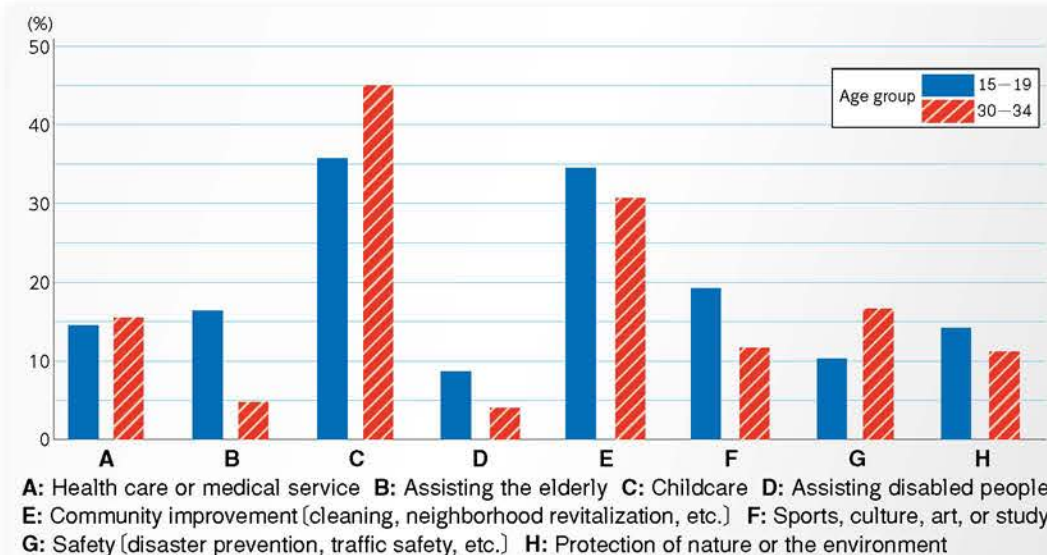
1 Percentage of families owning fixed-line phones and smartphones

(参考：総務省「通信利用動向調査」)



2 Percentage of volunteer workers doing different types of volunteer activities in 2016

(参考：総務省「社会生活基本調査」平成28年)



Hint まず The chart shows... と概要を述べて、グラフが示すいくつかの特徴を要約して記す。自分の意見としては、過去の事実に関する発見や、今後の予想、改善すべき点などを述べるとよい。種々のプレゼンテーションにおいても、図表を活用してみよう (→p.108)。

S increase / decrease / sharply / rapidly / gradually / slowly / remain flat[at the same level] / go up[down] from A to B / X percent of ~ / twice[X times] as large as ~ / one third of ~ / by two times[half, X percentage points]

Lesson 2 Making Your Presentation More Effective

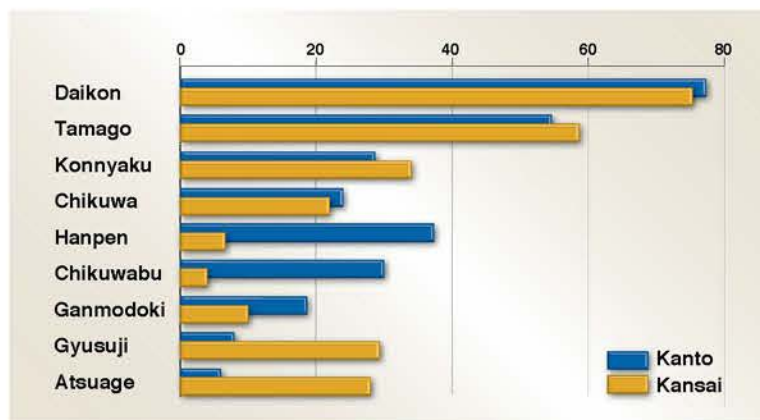


Presentation 2

- Can-do!** 発表において、聞き手に理解しやすい表現や、写真・図、統計資料を活用できる。
 ジェスチャーなどを用いて、生き生きと発表することができる。

また、おでんの具材の地域性を詳しく述べるならば、以下のような比較資料を用いるとよいでしょう。

Let me say a little more about the regional differences in the ingredients of *oden*. This is a chart showing the popularity of *oden* ingredients in different areas. A hundred people living in the Kanto area and another hundred living in the Kansai area were asked to name their three favorite *oden* ingredients. Their answers are summarized in this chart. The upper four items show similar numbers for both areas, but *hanpen*, *chikuwabu*, and *ganmodoki* are more favored in Kanto. Conversely, *gyusuji* and *atsuage* are more popular in Kansai.



[資料：当社にて作成]



このレッスンでは、presentation をより効果的にするために、聞き手に内容を理解してもらえよう。

プレゼンテーション [3 課]・ディスカッション [2 課]・ディベート [2 課] に関し、見開き 2 ページごとに「解説～Let's Practice! (実戦練習)」の構成をとっています。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できます。

1 発表に役立つ表現をうまく使おう

presentation を行うときは、次のような表現をうまく使うと、話し手は自分の考えをまとめやすくなり、また聞き手も話される内容を予測することができ、理解しやすくなります。

a	導入	<ul style="list-style-type: none"> Do you know/like ~? (~を知っていますか/～は好きですか) Today I'd like to talk[tell you] about ~. (今日は～について発表したいと思います)
b	例示	<ul style="list-style-type: none"> For example[instance], ~. (例えば～) To illustrate this point, ~. (この点の例として、～)
c	列挙	<ul style="list-style-type: none"> First, ~. Second, ~. Third, ~. Finally[Last], ~. (第一に～. 第二に～. 第三に～. 最後に～) First of all, ~. Then, ~. Next, ~. Finally[Last], ~. (まず最初に～. それから～. 次に～. 最後に～)
d	話題の転換	<ul style="list-style-type: none"> So far I've talked about ~. (ここまでは～について話しました) Now we'll move on to ~. (では次に～の話に移ります)
e	詳述	<ul style="list-style-type: none"> Let's find out why/how ~. (なぜ/どのように～か、みていきましょう) Let me go into detail[say a little more] about ~. (~について、詳しく [もう少し] 述べたいと思います)
f	結論	<ul style="list-style-type: none"> In conclusion, ~. (結論として～) In summary, ~. (要約すると～)

前ページの原稿でも、上記の表現などを用いて、発表の構成・展開をわかりやすくしています。

2 写真・図や、統計資料を活用しよう

presentation においては、写真や図、あるいは統計資料 (グラフ・表など) を適切に用いることで、聞き手の注意を引いて、理解を深めることが可能となります。例えば、おでんの具材の「練り物」を留学生などに紹介する場合は、steamed fish paste という説明に加えて、スライドなどで写真を提示すれば、それが何を指しているのかをより具体的に理解してもらおうことができます。



発展的な言語活動 (プレゼンテーション, ディスカッション, ディベート) を学習する 7 レッスン

3 生き生きと発表するように心がけよう

効果的な発表をするためには、eye contact や body language (ジェスチャーなど) が重要です。原稿を棒読みするのではなく、聞き手に目を向けて、一人一人に話しかけるように、大きな声ではっきりと発表しましょう。また、適宜ジェスチャーを用いて、presentation をより生き生きとしたものにしましょう。背筋を伸ばし、リラックスした姿勢・にこやかな表情で話すことも大切です。

Presentation のチェックポイント (まとめ)

- ① 伝えたい情報は明確か。
- ② 導入・本論・まとめの展開は適切か。
- ③ 発表の表現はうまく用いられているか。
- ④ 文法・語法・単語は正しいか。
- ⑤ 理解を深める資料はあるか。
- ⑥ 発声 (音量・速さなど) は適切か。
- ⑦ eye contact, body language は適宜用いられているか。

Let's Practice!

Collect materials such as pictures or charts for the manuscript you made in [Let's Practice!] on p. 107. Make a presentation in class.

Useful Expressions



*各レッスンの主要例文のポイントをおさらいし、実際に活用できるようにしよう。

- Part 1**
- L1** ▶ ぼくはアキラです。 () Akira.
 (p.10) 学校ではダンス部に所属しています。 I () to the dance club at school.
 □ 踊っているときはとても楽しいです。 I () very happy when () () .
- 先月、ぼくたちのクラブは学園祭で演技を披露しました。 Last month, our club () a performance at our school festival.
 □ ぼくたちが踊っていた間、多くの生徒が声援を送ってくれました。 A lot of students () us while we () () () .
- L2** ▶ 明日の朝、札幌に向けて出発します。 () () for Sapporo tomorrow morning.
 (p.12) □ そこでどこに会う予定です。 () () () meet my cousin there.
 □ 私たちはある有名店でラーメンを食べるつもりです。 () () () eat ramen at a famous shop.
 □ 午後天気よければ、藻岩山の山頂に登ろうと思います。 If the weather () good in the afternoon, () go up to the top of Mount Moiwa.
- L3** ▶ 私たちは知り合って10年になる。 We () () each other for ten years.
 (p.14) □ ハルカは8歳のときから写真を撮り続けている。 Haruka () () () photos since she was eight.
 □ 彼女は写真のコンテストでいくつも賞を取っている。 She () () several prizes in photo contests.
- L4** ▶ 以前あそこ角に散髪屋さんがあった。 There () () be a barbershop at that corner.
 (p.19) □ 私は兄とよくそこへ行ったものだ。 I () brother.
 □ そのイヌはとても怖がりだったにちがいない。あるいは、私たちに会えてうれしかったかもしれない。 The dog () very shy, or () () .
- L5** ▶ 日本食は外国で人気を得ていると言われている。 () () food has become popular in other countries.
 (p.24) □ 日本食のレストランは今や世界のほとんどどこでも見ることができ。 Japanese restaurants () () .

PART 1,2 各レッスンの主要例文のポイントを書いて覚えるページ。部分英作文の形式になっているので、文法・表現の復習・総まとめに最適です。二次元コードからアクセスできる音声で、リスニング活動も可能です

Index

- *Part 1, 2 で学んだ文法・表現の索引です。
- 【あ・い】**
- ~をほんとうにありがとう Thank you very much for ~ 94
 - ~していただきありがとうございます I'm grateful to you for ~ 94
 - 聞きたいことはわかる I see what you mean 66
 - いいですよ [かまいません] That's OK. / No problem. 96
 - 以前は ~だった used to ~ 16
 - ~が一番好き ~だ be my favorite ~ 62
 - ~だった [した] と言われている be said to have + 過去分詞 28
 - ~だと言われている It is said that ~ 24
- 【う・お】**
- ~してうれしい be glad ~ / be pleased [happy] to ~ / be delighted that ~ 94
 - ~と同じくらい ~である as ~ as ... 38
 - お願いがあんだけど Can [Will] you do me a favor? 86
 - ~だと思う I think ~ 98
 - ~をお詫言しなければなりません I have to apologize to you for ~ 96
- 【か】**
- ~に ~かどうかを尋ねる ask ... if ~ 54
 - かまいません Not at all. / It's nothing. 88, 96
 - ~しようと考えている be thinking of ~ing 74
 - ~に感謝する appreciate ~ 94
 - ~に ~のことで感謝する be grateful to ... for ~ 94
- 【き】**
- ~であると気づいた、など noticed など + that + 過去 (時制の一致) 54
 - 気にしないでください Don't worry. 96
 - ~することに決める decide to ~ 74
- 【け・こ】**

表現別さくいんにより、表現したいフレーズを日本語から調べなおすことが可能です

◆教材配当表：各課 1~2 時間で学習。定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間 70 時間の想定。

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめに一英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去/進行形)	2	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
3	My Dear Friend (現在完了/進行形)	EL5	インタビューを行ってみよう
4	A Dog in a Barbershop (助動詞)	4	A Guitar Concert (勧誘・招待する, 期待を述べる)
C	リスニング, スピーキングにおける注意点	5	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
EL1	パラグラフの「型」を意識しよう	6	What Should I Do? (提案する, 助言する)
5	Japanese Food (受け身)	EL6	サマリー・ライティング
6	Volunteer Activities (不定詞①)	C	politeness (ポライトネス) を考えよう
7	A Stage Actor (不定詞②)	7	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
8	I Like Singing (動名詞)	8	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
EL2	パラグラフの「展開」を工夫しよう (1)	9	Meeting the Deadline (許可を求める)
9	Cycling (分詞)	EL7	図表の内容について伝達してみよう (1)
10	My New Hiking Boots (比較①)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜ぶ)
11	The Yangtze River (比較②)	11	Returning a Magazine (謝罪する・謝罪に応じる)
12	My Sister's Job (関係詞①)	12	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
EL3	パラグラフの「展開」を工夫しよう (2)	EL8	図表の内容について伝達してみよう (2)
13	In Kansas City (関係詞②)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
14	Dreaming of Space (仮定法①)	1	Making a Manuscript
15	An Android Like You (仮定法②)	2	Making Your Presentation More Effective
16	I Left My Smartphone (時制の一致・話法)	3	Being an Active Listener
EL4	英語でエッセイを書いてみよう	4	Having a Discussion
C	和製英語	5	Speaking in Order
*はじめに：表現力養成の留意事項をまとめた導入ページ。 *C : Column / EL : Express It Logically *PART 2 の 3 課ごとに、Tips for Express Your Opinion, Writing (email などの自由英作文) を掲載 *前後見返しには「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載		6	Thinking Logically and from Different Angles
		7	Sharpening Your Thinking Ability
		Useful Expressions / Index	

Examples of Teaching Procedures

DVD-ROM

Teaching Procedureは、本来、各学校・クラス・講座の状況や実態に合わせて創造的に工夫されるべきものであろう。また、同一クラス・講座でも、生徒集団の変化に応じて軌道修正も必要になるはずである。それらの点を踏まえたうえで、授業の進め方のマスタープランを参考に、その参考にしていただくためのものである。

Part 1 Lesson 6

※ 1. 文法事項の解説は、基本的に日本語で行うこととする。

2. 英語での発話例について、◆で示しておく。([Name] は指し示す生徒の名前をボウ)

		Time	Total Time
1	Roll call and small talk 1. small talk の例は、本書 p.64 を参照。また、教師が自分の趣味について話してもよい。 2. 教師が話すだけでなく、生徒に ◆ What is your favorite pastime? / What is your hobby? などと尋ね、その応答に対して、教師または他の生徒から質問させることも考えたい。その場合は、即興でのやり取りを行うことになる。	3	3
2	Explanation of the grammatical points 注：ハンドアウト* 配付による説明も可 (*TM 付属 DVD-ROM に収録) POINT B.E.5 未来を表す will 1. 例文①② に関し、〈will + 動詞の原形〉の形と文の意味を確認する。 ① 未来の予測・自然の成り行き ② 意志 2. 必要に応じて、疑問・否定の形を説明する。また、when, if, until[till] など、時や条件を表す接続詞に導かれる節の中では、未来のことを表す場合でも、現在形を用いることに注意させてもよい。Ex) I'll stay here until you <i>finish</i> your homework.	3	6
3	Let's Use It! 1. Let's Use It! ⑤ を解答させる。 ◆ Everyone, look at the <i>Let's Use It!</i> section. Think about each situation and complete the sentences. In statement (1), you see a black cloud. What do you think when you see a black cloud? ... [Name], could you tell us your answer? ... Good. "I think it will rain soon" is a good answer. ※まず、例文で与えられた状況を生徒に理解させるようにする。適宜日本語を交えてもよい。(1) 黒い雲が見える (2) 一生懸命練習している (3) 箱が重すぎる といった状況から、どのような語を補って英文を完成させればよいかを考えさせる。 2. 生徒の解答を確認したあと、モデルとなる英文を提示して音読させる。1) 教科書を開いて、2) 教科書を閉じて、3) 文末からフレーズ読みをさせて最後は全文を暗唱するなど、いくつかの音読パターンを組み合わせた活動を行いたい。 ◆ 1) Now let's go on to the reading practice. Repeat after me with the textbook open. 2) Next, close your textbooks and repeat after me once again. 3) Now keep your books closed and repeat after me again. This time I'll read each sentence slowly, starting with just a short phrase, and adding on a few words each time. 注：3) は "practice → the reading practice → go on to the reading practice → Now let's go on to the reading practice." のように、小さなユニットからコロケーションを発展させて英文を構築していく方法を音読で体感させるやり方。英語 (フレーズ) を保持し、復唱することにより、定着を図ることが可能となる。これは expansion drill	6	12

指導手順案

授業展開のサンプル

→ 「英語で授業」に対応するように、英語の発話例を充実させています!

A Sample Teaching Procedure for an ALT



教授資料
詳細はこ
ちら!

Part 2

Lesson 5

※別冊の Teacher's Book に Part 2 各課の A Sample Teaching Procedure を掲載しています。

		Time	Total Time
1	Roll call ◆ Good morning everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.	1	1
2	Collecting the assignment for the previous lesson (cf. 9) ◆ Hand in the assignment for the previous lesson. Pass the worksheets forward. ... Thank you.	1	2
3	Listen and Answer 1. Have some students answer the questions in <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to p. 86. Listen to the dialog and answer each question. ◆ Now, let's check your answers. What's the answer to question ①? [Name], could you please tell us your answer? ... Good! The answer is "a lot of homework." ◆ Question ②. Before checking the answer, let's see which process of cooking each picture shows? [Name], could you describe what is shown in picture (1)? Please answer in English. Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato (3) mashing a potato Note: If a student seems unable to answer in English, have them answer in Japanese. ◆ Why don't you answer in Japanese, then? ◆ What's the answer to question ②? Great. The answer is (1). Mark's mother said she wanted him to peel some vegetables. ◆ Next, what's the answer to question ③? Very good. When he heard his mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I love beef stew," so the answer is "beef stew." 2. Ask students about the vocabulary from <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog of <i>Listen and Answer</i> . First, "peel." Repeat after me. "peel some potatoes" What else do we peel? "peel an apple" "peel an orange" "peel a banana" Next, "beef stew." Be careful about the pronunciation of "stew." Repeat. "stew"	7	9
4	Expressions 1. Have students practice the dialogs. ◆ Now, let's practice the dialogs in <i>Expressions</i> . Repeat after me. 2. Have students work in pairs. ◆ First get into pairs and then play the roles of A and B. 3. Have students present the dialogs. ◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any volunteers? / No? OK, how about [Name] and [Name], please? ※ Have students present dialogs ② and ③ in the same way. ◆ Next, let's make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made. ◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation. Any volunteers? / How about [Name] and [Name], please?	8	17

ALT 用指導手順案

「英語で授業」にも活用可能なサンプル

→ Teacher's Book および付属 DVD-ROM に、Part 2 全課分を収録!



not[mustn't] を用いて「禁止」の意味を, don't have to を用いて「不必要」の意味を表現したりする。

b.適切な場面において, may[must, can't]+have+過去分詞を用いて「過去に関する推量」の意味を表現したり, should+have+過去分詞を用いて「過去に関する後悔」の意味を表現したりする。

c.「助言・推量・理解」の用法を学ぶ。

③主体「推量」の用法を学ぶ。

a.②の各項目について, 積極的に取り組んでいる。

b.そのほか, 「義務」「禁止」「過去の推量」の対象となる行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。

Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標, 観点別評価のポイント, 中学での学習状況, small talk など

→導入部分からしっかりサポート!

中学での学習状況

①should は中2用の教科書で扱われるが, 各課の主要文法事項ではなく, 比較的軽い扱いとなっている場合が多い。must との意味の差など, 細かい語法は理解されていない可能性が高い。

②must, have to は概ね中2で学習する。表現活動の課も含めて, 各課の主要ポイントとして扱われることが多い。これらの否定表現 (mustn't [禁止], don't have to [不必要]) で, 混乱する生徒が多い。

③(助動詞+have+過去分詞)の用法は, 中学では学習していない。完了形不定詞などと同様, 概念として理解が難しい項目である。

◆Small Talk

Yesterday morning when I met Mr. Hosoda, I said to him, "I'm going to visit the municipal museum with Kate tomorrow. If you have time, will you join us?" He replied that he'd love to. But when we met him in the afternoon, he said, "I've just remembered that I have to prepare the vocabulary quiz for next week." I said, "That's OK. Your work is more important. But why not join us after you've finished making the exam?" He said he would, and we made an appointment to meet at the ticket office at 1:30.

学習事項の解説

CD I-61~64

11 should, must, have to の用法

(a) should は「～するといひ, ～すべきである」のように「助言・義務」を表す。「～すべきである」という日本語は比較的強く響くが, must [義務・必要]

ほどの意味の強さはない。

Should is not as strong as must or have to. You should apologise. (=it would be a good thing to do) You must apologise. / You have to apologise. (=you have no alternative)<Murphy (2019: 66)> なお, shouldn't は「～するのはよくない, ～すべきではない」と否定的助言[義務]を表す。また, should と ought to はほぼ同義であり, しばしば交換可能である。<Swan(2016: 76.1)>

(b)must は「～しなければならない」と強い必要性を表す。have to は概ね must と同様な意味となる。

1. have to [hæftə], has to [hæstə] の発音に注意。

2. 過去を表す場合(→▶)や, 他の助動詞と併用する場合は, have to を用いて表現する。 You will have to pay extra fees. (追加料金を支払わなければならないだろう)

3. must は話し手が課す主観的な義務を表し, have to は外的要因による客観的な義務を表す, と区別される場合がある(特に BrE)。

4. Must I ~? は聞き手の主観的な必要を尋ねる疑問文となる (In questions, we use must to ask about what the hearer thinks is necessary. <Swan (2016: 73)>). ほぼ同様な意味で Do I have to ~? が用いられるが, こちらのほうが頻度が高いのは, 客観性が高く直截な印象が避けられるためであろう。

(c)否定形の must not[mustn't] (～してはいけない)は禁止 (obligation not to do) を, do not [don't] have to (～する必要はない)は不必要 (no obligation to do) を表す。

Let's Use It! 11 解説

◆Now, look at Let's Use It! Complete the sentences in accordance with the situations.

- (1)例文①②を参照。①「勧めるとき」は, 「見るほうがいいよ」という意味で, 「助言」を表す should を用いる。②「強く勧めるとき」は「見ないといけないよ」という意味で must を用いる。
- (2)「禁止」を表す mustn't を用いる。それよりやや意味の弱い「否定的助言・義務」を表現すると考えて, shouldn't としてもよい。また, enter the staff room (職員室に入る)のロケーションに注意。

12 <助動詞+have+過去分詞>の用法

(a)学習者には, まず最初に当該の助動詞の意味を確認しておく。B.E.10.11 を適宜参照させる。

must: ~にちがいない / may: ~かもしれない
can't: ~のはずがない / should: ~すべきだ
(b)後続する原形の部分が <have+過去分詞>になると, must, may, can't は過去の出来事に関する推量, should は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「～する[である]にちがいない」が「～した[であった]にちがいない」などの意味になり, should は「～

Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説の意味を示す。分詞)が「～推量を表す場

→的確な文法解説, 演習時の英語の指示文など充実した内容!

Let's Use It! 12 解説

◆Now, look at Let's Use It! Complete the sentences in accordance with the contexts.

- (1)「～かもしれない」の may に have+過去分詞を続ける形。なお, 第2文の had の代わりに caught を用いると, Saya is still ill now の含意があり, 第1文と齟齬が生じるので, この場合は不可。[Saya looks ill. She may have caught a cold. ならば可。]
- (2)「～べきだ」の should に have+過去分詞を続ける形。動詞は watch または see を用いる。
- (3)「～にちがいない」の must に have+過去分詞を続ける形。進行形の場合は, <have been doing> のように be が過去分詞となる。

Let's Use It! 解答例 DVD-ROM

- 11 (1) ① should see[watch] it ② must see[watch] it
(2) must not[mustn't] enter / should not[shouldn't] enter
- 12 (1) may have had
(2) should have watched[seen]
(3) must have been

英文の和訳例 DVD-ROM

- 11 POINT
▶私たちは昨日彼を訪ねなければならなかった。
- 11 Let's Use It!
(1)この映画は素晴らしい。①見るほうがいいよ。②見ないといけないよ。
(2)今週, 生徒は職員室に入ってはけません。
※p.83に続く。

Can-do! 1. 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。
2. 禁止や行動・活動などについて、英語で表現できる。

Think and Express!

A Look at the pictures and complete the sentences. Use the words below.
 (1) (2) → (3) (4) → (4) (1) (2) (3) (4)
 * (1) (2) should, must, have to, (3) (4) (may/must, should+have+過去分詞) を使ってみよう。

(1) (2) (3) (4)
 (1) We _____ . The meeting will begin soon.
 (2) You _____ the museum exhibits.
 (3) Bob hasn't arrived yet. _____ the bus.
 (4) _____ more before the concert.

B Express yourself! Tell what happened and give your conclusion.
 Ex.) John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy.
 She had walked about five kilometers, so she must have been very tired.
 I had a very bad score on the exam. I should have studied harder.

Interact and Produce!

A Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.
 B Work in pairs. Refer to A and reproduce the dialog.
 Lily: _____ to Ueno Zoo?
 Takumi: No, _____ there.
 L: It's great. You _____ .
 T: _____ in the zoo do you like best?
 L: I love the pandas. You _____ . They are so cute.
 T: Pandas? I've always _____ .

C Work in groups.
 a) Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in B and present it to students C and D.
 b) C and D will ask questions or make comments about the dialog.
 (Then switch roles.)

Part 1 27

活動の解答例 DVD-ROM

- A** (1) must[have to, should] hurry
 (2) mustn't[shouldn't] touch
 (3) He may[must] have missed
 (4) I[The girl] should have practiced
- B** Risa said she wanted to go to the library, so she may have been there.
 Tom had been swimming for about two hours, so he must have been satisfied.
 I made a serious mistake at the piano contest. I should have practiced the piano harder.
- IP 2** Lily: Have you ever been to Ueno Zoo?
 Takumi: No, I've never been there.
 L: It's great. You should go sometime.
 T: Which of the animals in the zoo do you like best?
 L: I love the pandas. You must see them. They are so cute.
 T: Pandas? I've always wanted to see a panda!

Think and Express! 解説 CD I-65~66

A 写真やイラストから場面・状況を考え、[]に示された動詞を使って文を作るように指導する。

- (1) 「もうすぐ会議が始まる」という状況から「急がないといけない」という文を作る。話者の心的態度により must, have to, should のいずれを用いてもよい。have to の場合、「会議」という外的要因によることが含意される場合がある。
- (2) 「(美術館で) 展示品に触れてはいけない」という文脈から、「禁止」を表す mustn't, または shouldn't を用いる。exhibit = something, for example a painting, that is put in a public place so that people can go to see it: All exhibits are listed in the catalogue. <LDOCE>
- (3) ボブがまだ到着していない状況から、過去のことに関し「～だった [した] かもしれない [にちがいない]」と推量する <may[must]+have+過去分詞> を用いる。
- (4) コンサートでうまく演奏できなかった様子から、過去のことについて「～すべきだったのに」と後悔を表す <should+have+過去分詞> を用いる。
- B** 過去に関する推量や後悔の表現を用いる。生徒の日常に即した状況で、自由に考えさせる。以下に、例をいくつか挙げておく。生徒の習熟度などにより、ヒントとして与えてもよい。

- (1) 「過去に関する推量」の用例
 may have gone home (家に帰ったかもしれない)
 may have changed her smartphone
 must have left home (家を出たにちがいない)
 must have read the novel (その小説を読んだにちがいない)
 must have bought the PC (そのパソコンを買ったにちがいない)
- (2) 「過去に関する後悔」の用例
 should have gone to bed earlier (もっと早く寝ておくべきだった)
 should have taken an earlier train (もっと早い電車に乗っておくべきだった)
 should have taken medicine (薬を飲んでおくべきだった)
 should have taken the attendance (出席をとっておくべきだった)

Interact and Produce 解説

* スクリプトは解答例を参照。 CD I-67

【活動の展開事例】

ここでは、基本的には教科書に示された展開を用いるが、3番目の活動として、教師-生徒間でいくつかQ&Aを行う方式を記す。

- 対話の概要・要旨を把握させるため、key words を書かせる。生徒を指名して、内容の理解度を確認する。対話の要点や要約を述べさせる。また、教師が要約文を話すことで理解を定着させてもよい。
 ◆ Now, let's try activity 1. Listen to the dialog carefully and write down some key words.
 ◆ [Name], what is the dialog about? ... Good. It's about Ueno Zoo, and Lily's favorite animals.
 ◆ [Name], could you summarize the dialog? ... Great! Lily likes Ueno Zoo. She thinks Takumi should visit there and see the pandas. Takumi has always wanted to see a panda. That's right.
- 内容理解を確認したうえで、dialog の練習をさせ、発表させる。1の key words を参照させる代わりに、もう一度 dialog を聞かせて dictation の活動をさせてもよい。
 ◆ Work in pairs. Refer to the key words you wrote in 1 and reproduce the dialog orally. One student should play the role of Lily and the other, Takumi.
 ◆ Listen again to the dialog. Complete the script written in 2. ... Now, let's make pairs and practice the dialog. Switch roles and practice again.
 ◆ [Name] and [Name], please stand up and make a presentation of the dialog together.
- 教師-生徒間で簡単な質疑応答を行う。生徒の発話として、You should / must see them. などを引き出せるとよりよい。
 ◆ [Name], have you ever been to ○○ Zoo? [Yes]→ Which of the animals did you like best? [No]→ Would you like to go there? / What animal would you like to see? / Don't you like animals? Why?
 ※動物園のほか、野球場・映画館などの場所・施設について尋ねてもよいだろう。
- あとは 3 のようにグループワークを行わせる。 [指示文は省略]

【語句解説】

・ Have you ever been to ~? 「～に行ったことがあ

- りますか」 現在完了 [経験] の用法を定着させる。
- ・ sometime [sɑ:mtaɪm] 「いつか」 過去や未来の「あるとき」を表す [過去の例: sometime around 1800 (1800年あたりのあるとき)]. BrE では some time と2語でつづる場合も多い。sometimes (ときどき) との違いに注意。
 - ・ Which of the animals in the zoo do you like best? 「(上野) 動物園の動物の中では、どれが一番好きか」 of は比較の範囲中の個々の要素を示す。
 - ・ the pandas 上野動物園にいるパンダを指す。
 - ・ I've always wanted to see a panda. 「ずっとパンダを見たいと思っている」 現在完了の継続用法に注意。a panda は不特定のパンダを表す。

英文の和訳例 DVD-ROM

POINT

▶ サムは昨晚私たちといっしょにいたので、あなたが彼を車で見かけたはずはありません。

Let's Use It!

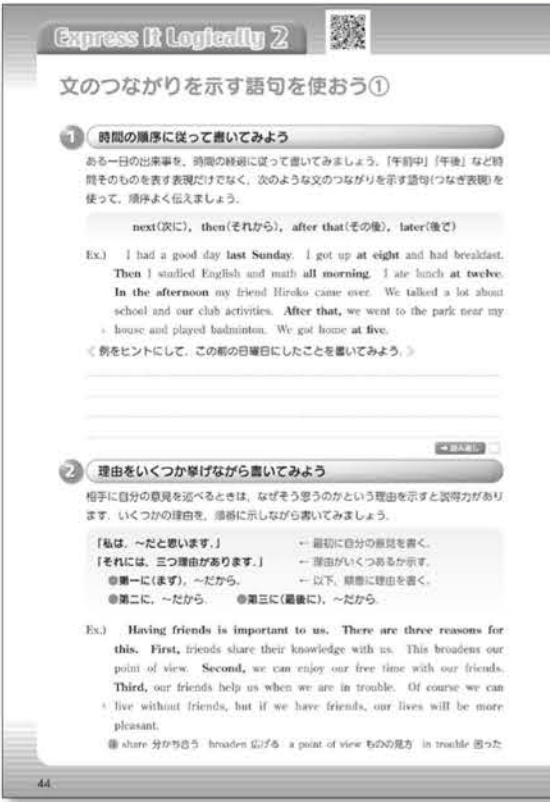
- (1) サヤは先週気分が悪そうだった。かぜをひいていたのかもしれない。
 (2) そのドラマはおもしろかった。君はそれを見るべきなのかもしれない。

Part 1 右ページ解説 ②
 活動の展開事例・語句解説、英文和訳例
 → 活動の展開に沿った英語指示文を充実させています!

- (2) 美術館の展示品に触ってはいけません。
 (3) ボブはまだ到着していません。彼はバスに乗り遅れたのかもしれない [にちがいない]。
 (4) コンサートの前にもっと練習すべきだった。
- B** ▶ 何が起きたかを話し、結論を言いなさい。
 ジョンはその雑誌を読みたがっていたから、1冊買ったかもしれない。
 彼女は約 5 km も歩いたので、とても疲れていたにちがいない。
 テストの点がとても悪かった。もっと一生懸命勉強しておくべきだった。
- IP** リリー: 上野動物園に行ったことはある?
 タクミ: いや、一度もないんだ。
 L: とてもいいよ。いつか行くほうがいいよ。
 T: 動物園の中では、どの動物が一番好きなの?
 L: パンダが大好きよ。パンダは見るべきね。とてもかわいいの。
 T: パンダ? パンダはずっと見たいと思っているよ!
 ※ 補充問題は DVD-ROM に収録。

教授資料・付属データ

教授資料・付属データ



1 解説 [CD II-29]

(a) 本課では、パラグラフの展開 (development) について取り上げる。学習指導要領解説には、指導上の配慮事項として、「つながりを示す語句を適切に用いて、論理の展開が明確な文章を書いたりすることができるように指導する必要がある」と記載されている。それぞれのパラグラフの展開に見られる特徴的な表現を理解し、それを実際に活用するように指導することが肝要である。

(b) ①では「時間の順序」(time[chronological] order) のパラグラフ展開法を扱う。これは「時間」を展開の軸として、順を追って事象を述べていくもので、物語文、日記などを書くうえで不可欠な手法である。物事を順序立てて記していくための「つなぎ語」を用い、各文の一貫性が高まるように文章が記される。

(c) 「つなぎ語」としては、解説部分に挙げた next などの順序を明示する語句がある。このほか、例文中に示されている last Sunday, at eight なども、時間という視点で前後の内容をつなぐ役割を果たしている。文章は常に実際の時間順で示されるとは限らないので、物語文などを読み書きするうえで、これらの語句に十分に注意を払う必要がある。

(d) なお、「つなぎ語」は linking words や signal words (シグナルワード、合図語) と呼ばれる。また、

その一部は discourse marker (談話標識) と呼ばれることもある。

1. last Sunday 前置詞が不要である点を確認する。this week, that day なども同様。ただし、that は前置詞 on を伴う場合もある。
2. all morning 「午前中ずっと」 <all+時間を表す名詞> で副詞句になる。この名詞は「短すぎる[長すぎる]時間」では不可。よって all year[week, day, night, summer] は可だが、×all minutes, all decade[century] は不可である。all hour も不自然とされる。(『英語基本形容詞・副詞辞典』)
3. come over 「[話し手の家に] やって来る」
4. after that 「それから、その後」 順を追って物事を述べるときに、比較的良好に用いられるフレーズ。After that, we had a meeting about the game.
5. badminton[bædmɪn] 「バドミントン」 最初にこのゲームが行われた、イギリス Gloucestershire 州にある Duke of Beaufort の領地の名前に由来する。(『英語語源辞典』)

【解答例】 DVD-ROM

I had a good day last Sunday. I got up at seven thirty and had breakfast. I cleaned my room from nine to ten, and then I watched a DVD of a Korean drama till around eleven thirty. I ate lunch at twelve. In the afternoon I went shopping at the department store with my mother. She bought me a nice bag. After that, I came back home and watched TV with my family.

2 解説 [CD II-30]

(a) ②では「主張と理由づけ」(claim and reasoning [opinion and reason]) の展開法を扱う。説明文(主張文・意見文)における典型的なパラグラフ展開の手法で、冒頭で topic sentence として自分の意見・主張を述べて、その後の supporting sentences で理由を補足していく展開をとる。自分の主張する内容の正当性を高めるため、その根拠となる理由づけを明確に行うことが重要となる。

(b) 理由づけの部分は説得力をもたせるために、複数の理由を述べるのが望ましい。この部分には列挙の表現 (First, ..., Second, ... など) を用いると、読み手に対して明快な伝達が可能となる (ただし、これらの表現を日常の話題に関するエッセイなどに多用すると、あまりに形式的な印象を与えかねないので、その点には注意する必要がある)。

(c) 複数の理由を述べる場合、2つの理由の場合は、第

一義的な理由を(主張に近い位置において)最初に述べ、その後第2の理由を補足するのがよい。3つ以上の理由があるときには、基本的には重要度に応じて理由を列挙すればよいが、主張を効果的に伝達するため、最後の部分に重要と考えられる理由を置くこともありえる。

(d) なお、例文に関し、最後にまとめ文 (concluding sentence) が置かれている。これは、主題文の内容を反復して補強したり、少し違う角度から主題について述べたりすることで、文章全体を総括するような働きをもつ文となる。

2. share ~ with ... 「~を...で分かち合う、共有する」
The little girl shared her toys with her friend. (おもちゃを友だちといっしょに使った) <NHD⁵>

2. knowledge[ná:lɪdʒ] 「知識」 発音注意。
= understanding of or information about a subject that you get by experience or study, either known by one person or by people generally: Her knowledge of English grammar is very extensive. / He has a limited knowledge of French. / The details of the scandal are now common knowledge (=familiar to most people). <CALD⁶>

2. broaden[bró:dn] 「広げる」 broad[bró:d] (広い) の動詞形。oaの発音に注意。
=to make s.t. wider or larger: Workers broaden the road. / She broadened her knowledge of accounting by taking more courses. <NHD⁵>

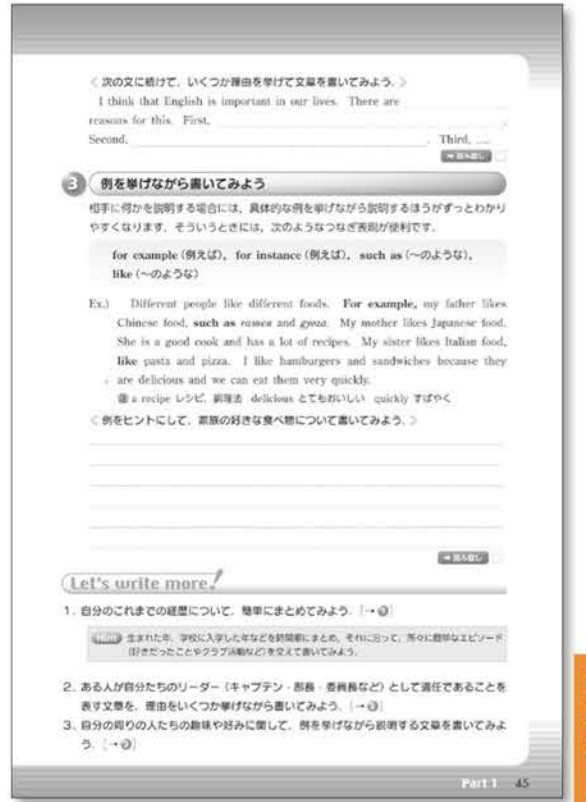
3. point of view 「ものの見方」 =viewpoint. ここで単数形となっているのは、「個々の(1つの)見解が広がっていく」ことを示唆するため(ネイティブのコメントによる)。

4. in trouble 「困った、困っている」ここでは “in a situation with a lot of problems” <LDOCE⁶> の意味で用いられているが、「[処罰される、怒りを買うようなことをして] やっかいな [めんどうな] ことになる」といった意味にもなる。
I think I'm in trouble with Dad. <LDOCE⁶>

4-5. Of course ~, but... 「もちろん~だが、...である」 譲歩の構文で、友人をもたない生活というのも一応は認めたくえて、「やはり...である」と but 以下の内容を主張する表現方法である。主題の内容をやや違うことばで再度述べている。

6. pleasant[pléznnt] 「(人にとって)楽しい、心地よい」 pleased ([人が] 喜んでいる、気に入っている、うれしい) と混同しないように注意。

【解答例】 DVD-ROM



I think that English is important in our lives. There are three reasons for this. First, we can use English to talk with people from other countries. Second, we can use English to get information from the Internet. Third, we can understand notices and explanations written in English when we go abroad. So I think knowing English is a must these days.

3 解説 [CD II-31]

(a) ③では「例証」(illustration) のパラグラフ展開法を扱う。主題文で述べられた一般論・抽象論を、適切な具体例により支持して、パラグラフをまとめている。

Express It Logically 解説 ①
学習事項の概要説明、語句解説・解答例
→パラグラフ・ライティング (Part 1), プレゼンテーション (Part 2) への理解を深めます!

る目的で具体
み手の理解度
べきである。
れない、客観
術性の高い論
文等であれば、信頼できる source からの情報(統計データ)の引用などが効果的である。ただし、教科書に掲載した例では、自分の家族の嗜好を引き合いに出すなど、それほど堅い文章にはなっていない。このような場合は、読み手を意識して、あまりに無味乾燥なものとならないように、第4文の She is

a good cook....などを挿話的に記すのもよい。

(d)つなぎ語としては、解説で挙げた for example [instance] が代表的である。比較的堅い話題を扱う論説文などでは、The first example is..., Another example is....などの表現もつなぎ語として使用される。また、such as, likeなどの表現は、主題文を支持するものとはかぎらず、支持文の内容をさらに詳細に、具体的に説明する際にも用いられる語である。

1. **different foods** ここでは「さまざまな種類の食べ物」を表現しているの、可算名詞(複数形)扱い。cf. We ate a lot of food. (多くの量の食べ物)

1. **for example**[ɪgzæmpl] 「例えば」 You use for example to introduce and emphasize something which shows that something is true: Take, for example, the simple sentence: 'The man climbed up the hill'. <COBUILD⁹>

2. **such as** 「～のような」 He collects musical instruments, such as trumpets and guitars. <NHD⁵>

3. **recipe**[résəpi] 「レシピ, 調理法」 発音注意。古くは「処方箋」の意味であったが、それが転じて「調理法」の意味に定着した。さらには以下のような「原因」の意味にも用いられる。

She said that five small boys on skis was a recipe for disaster, not a holiday. (5人の子どもがスキーをするなんて災いのもとだ) <LDOCE⁶>

4. **pasta**[pá:stə] and **pizza**[pí:tsə] ここではいずれも不可算名詞扱いである (cf. 次の hamburgers, sandwiches は可算名詞となっている)。

5. **delicious**[dɪlɪʃəs] 「とてもおいしい」 アクセント注意。=having a very pleasant taste or smell <OALD¹⁰> と、もともと very を含意しているので、very による修飾はあまりない。なお <OCD²> では共起する副詞として incredibly, most, really, truly, absolutely, quite, rather が挙げられている。

5. **quickly**[kwɪkli] 「すばやく」 ちなみに quick の原義は「生き生きとした, 活発な (alive, animated <ODE³>)」である。

[解答例] DVD-ROM

Different people like different fruit. For example, my father likes peaches. My mother likes summer fruits, such as watermelon and grapes. My brother does not like fruit very much. He eats sweet cakes, senbei, and so on. But he drinks orange juice every morning.

Let's write more! DVD-ROM

①②③で学習した内容を参考に文章を書く練習を行う。

1. I was born in Midori-machi in 2006. I entered Sakura Preschool in 2010. When I was in preschool, I liked trains very much. In 2013, I entered Sumire Elementary School. I began playing baseball in 2016, and I have been playing it ever since. In 2019, I entered Ayame Junior High School. I practiced baseball very hard every day, and when I was in the third grade, our team competed in the semifinals in the prefectural tournament. I did not study very much in junior high school, but I began to study harder when I entered this school in 2022. Now I enjoy my high school life with my friends.

2. I think Daigo is a good captain for our team. There are three reasons for this. First, he is the best player of us all. Second, he is a very diligent person and always practices hard. Third, he is good at cheering us up. I believe Daigo is the best person to pull us together.

3. Different people like different animals. For example, my friend Kayoko likes small dogs, like Chihuahuas and miniature dachshunds. Another friend, Takeshi, likes large dogs. I like cats, actually. I have two cats in my house. They are quiet and cute.

英文の和訳例 DVD-ROM

① 先週の日曜日はいい1日を過ごしました。8時に起床して朝食を食べました。それから午前中ずっと英語と数学を勉強しました。12時に昼食を食べました。午後、友人のヒロコが家に来ました。私たちは学校やクラブ活動についてたくさん話をしました。その後、家の近くの公園に行ってバドミントンをしました。5時に家に帰りました。

② 友人をもつことは私たちにとって大切です。これには3つ理由があります。第一に、お互いの知識を分かち合えます。このことでももの見方が広がります。第二に、自由な時間をいっしょに楽しめます。第三に、困ったときに友人は助けてくれます。もちろん、友人なしでも生きられますが、友人をもっていれば、私たちの人生はより楽しいものになるでしょう。

③ 人の食べ物の好みはさまざまである [さまざまな

人々がさまざまな食べ物を好む]。例えば、父はラーメンやギョーザのような中華料理が好きだ。母は日本食が好きだ。母は料理がじょうずでレシピがたくさんある。姉はパスタやピザのようなイタリア料理が好きだ。私はハンバーガーやサンドイッチが好きだ。とてもおいしくて、とても早く食べられるからだ。

Further Activities 2 DVD-ROM

CD II-32~36

① 旅行や遠足の経験について、40語以上の短い文章を書きなさい。next, then, after that, laterなどの時間順を示す語句を使いなさい。

*身近な経験を素材として、時間順のパラグラフ展開を活用する問題である。いつ旅行に行つて、その行程はどうだったかを時間順に述べるようにする。

・ **excursion**[ɪkskɜːʃən] 「小旅行, 遠足」 = a short journey arranged so that a group of people can visit a place, especially while they are on holiday. <LDOCE⁶>

② 次の絵が示す物語を、ペアの相手に話しなさい。時間順を表す語句を使いなさい。

*資格・検定試験でも出題がある形式の、4コマ漫画で表現される状況を描写する問題である。時間順を示す語句を用いて、以下の内容について起承転結を明確に記すことが肝要である。

- ① 同じ電車に乗っていた紳士が帽子を忘れたことに気づいた。
- ② 帽子を持って電車を降りた。
- ③ 帽子を紳士に渡し、紳士から感謝された。
- ④ 電車のドアが閉まったときに、自分のカバンを忘れたことに気づいた。

・ **the story shown in** 「～に示される物語」 shown ... は L15 で学習した過去分詞句の後置修飾である。show は「～を示す」の意味。Mike needed a copy of the will to show that the books had been left to him. <LED>

③ 次の質問に答えなさい。first, second, third や also のような語句を使って、2つか3つの理由を述べなさい。40語以上の長さで解答を書くこと。

- (a) 外国語を学ぶことは重要だと思いますか。
- (b) スマートフォンは勉強に役だつと思いますか。

*まず自分の意見を I think/do not think... と示す。これを主題文として、first, alsoなどの語で理由を表す指示文を列挙していく。「40語以上」の指定があるので、例えば、以下のような構成で、



- ① I think / don't think....
 - ② I have two reasons for saying this.
 - ③ First,[理由と具体例]
 - ④ Also, ...[理由と具体例]
- 4~6文程度の文章にまとめる。

・ **in length**[lɛŋkθ] 「長さで」 length は long の名詞形。cf. strong(強い)> strength(強さ) cf. at length(長々と, 詳細に) = in great detail and taking a long time: She talked at length about her work in hospitals. <OID²>

・ **help with** 「～を手伝う, ～に役だつ」 He always helps with the housework. <OALD¹⁰> 「(金銭などを)援助する」の意味もある。My dad said he would help with the costs of (= give part of the cost of) buying a house. <CALD⁴>

・ **studies** 「学業, 勉強」 studies [plural] = the work of studying or doing something.

Express It Logically 解説 ②

Further Activitiesの概要説明、解答例

→資格・検定試験への対応のヒントも掲載!

*For instance, ~の部分は、生徒の実生活から具体例を記述させるように指導する。なお、生徒が「英語



- a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。
- b. そのほか、人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。

● 中学での学習状況

- ① <so ~ that ...> の構文は6点中4点の教科書で扱われているが、多くはリーディングの課や補足部分での扱いなので、定着度合いは低いと考えられる。
- ② <~ enough to do> に関し、enough (十分な、十分に) という語は概ね教科書で取り上げられているが、to-不定詞と連動する構文を扱うのは1社のみである。発音も含め、ていねいに教える必要がある。
- ③ <too ~ to do> は2点の教科書で扱われている。この構文では too が否定的意味合いをもつことも含め、to-不定詞との関連を確実に理解させたい。

◆ Small Talk

This year we have an exchange student from Thailand in Class B. Have you talked to her yet? Her nickname is Babe. She can't speak Japanese very well, but she speaks good English. Try talking to her in Japanese or in English. She wants to improve her Japanese and learn more about Japanese culture. She is very interested in Japanese anime, so maybe you could talk to her about that.

● Listen and Answer 解答例 DVD-ROM

Part 2 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、中学での学習状況、small talk など

→ 導入部分からしっかりサポート!

CD IV-10~12

・ **Thailand** [táilænd] 「タイ」 英語で Thai [tái] は「タイ人[語](の)」などの意味を表す。

【音声スクリプト】 DVD-ROM

Hi, everyone. My name is Nataya Chimnan, but please call me Ploy. This is a nickname given to me by my parents. It is a Thai word which means "jewel." People in Thailand call each other by their nicknames. My parents are visiting Japan now, and we have visited some cultural sights together. Last week we went to Kinkakuji Temple. My parents found the temple very different from those back in Thailand, but they enjoyed it very much. It was so beautiful that I ended up taking dozens of photos.

- ・ **nickname** タイ人は生まれたときに nickname (chhw len チューレン) をつけてもらい、普段はその名で呼ぶことが多い。
- ・ **call each other by their nicknames** 「お互いをニックネームで呼ぶ」 by (～によって) は「手段」. Everybody called each other by their surnames. <COBUILD⁹>
- ・ **cultural sights** 「文化的名所」 sight は複数形で famous or interesting places that tourists visit <LDOCE⁶> の意味を表す。
- ・ **those back in Thailand** those は the temples を表す。前出の名詞の反復を避ける表現。back は副詞で、「元の場所に戻って、故郷で」の含意。back は in Thailand を修飾し、back in Thailand で those を形容詞的に修飾している。
- ・ **end up ~ing** 「ついには～することになる」 I ended up doing all the work myself. <OALD¹⁰>

● Expressions 解説 CD IV-13

- ① so ~ that ...
- (a) <so ~ that ...> は、「非常に～なので… [結果], …であるほど～ [程度]」の意味を表す。英文の情報構造から、that-節は(特に過去の内容の場合)主に「結果」を示すと考えてよいが、例えば本文の場合に「昼食をとれないほど忙しかった」と、「程度」を表すように解釈してもよい。
- (b) この構文のニュアンスとして、「ほかに選択肢がなく、自動的・必然的にそうせざるをえない」という内容が that 以下に用いられる。ネイティブによると、<so ~ that ...> is usually used when there is no choice or when the choice is to some degree compulsive, not easily controllable, automatic, or necessary. とのことである。
- (c) また、that-節では「ある程度極端な」内容が表され、<so + 望ましくない語 + that + 否定的な内容> の場合が多く、<so + 望ましい語 + that + 肯定的な内容> は「予想に反して、意外にも」の意味合いが強調される(『英語教育』(大修館)2021年8月号)。
- (d) so の後に副詞が来る例を補足しておく。 He spoke so fast that we couldn't understand him. (早口で話したので理解できなかった) She ran so quickly that I couldn't catch her. (とても速く走ったので追いつけなかった)
- (e) 類似の構文に <such ~ that ...> がある。冠詞の位置に注意。[第2例は such のあとに冠詞が不要な例]

- She was such a good runner that I couldn't catch her.
- It was such nice weather that we went hiking.
- ② ~ enough to do
- (a) <~ enough to do> は、「…する [できる] ほど十分に～ [程度], ~なので…する [できる] [結果]」の意味を表す。副詞の enough は、形容詞・副詞を後ろから修飾する。なお、kind enough to do は「親切にも…する」の意味となる。
- (b) 主語が不定詞の目的語となる場合、通例は不定詞の目的語は省略するが、不定詞の意味上の主語 <for A> を示す場合は、目的語を置く場合がある。 The radio's small enough to put in your pocket. The radio was small enough for me to put (it) in my pocket. <Swan(2016: 450.5)>
- ③ too ~ to do

Part 2 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例

→ 的確な機能表現・語句の解説; 自己表現のヒントをご用意!

CD IV-13

- (c) to-不定詞の前に意味上の主語を置く場合がある。 This curry is too hot for me to eat.

● 英文の和訳例 DVD-ROM

● Listen and Answer

タイからの交換留学生のスピーチを聞いて、①～③の質問に答えなさい。

【音声スクリプト】

皆さん、こんにちは。私の名前はナタヤ・チムナンですが、プロイと呼んでください。これは両親が付けてくれたニックネームです。「宝石」を意味するタイのことばです。タイの人々はお互いをニックネームで呼びます。両親は今、日本を訪れていて、私たちは文化的名所をいっしょに観光しました。先週私たちは金閣寺に行きました。両親はタイのお寺とはずいぶん異なっていると思ったようでしたが、とても楽しんでいました。お寺は非常に美しかったので、私はたくさん写真を撮ってしまいました。

- ① 話し手のニックネームは何を意味しますか。
- ② 今、だれが日本を訪れていますか。 —話し手 [ナタヤ・チムナン] の両親。
- ③ 金閣寺で話し手は何をしましたか。 —彼女は何十枚もの [たくさんの] 写真を撮った。

Cam-dof 英語で会話・結果を述べることができる。人の性格や特徴などについて英語で表現できる。

Dialog Meg, an exchange student from the U.S.A, is talking to Ken.

Listen to the dialog and fill in the blanks.
Then play the roles of Meg and Ken in pairs.

M: Have you () to the new ramen shop in Midori-machi?
K: Yes, I had lunch there last week. It was really delicious, but the shop was () busy () I had trouble getting a seat.
M: Yes, it seems amazingly (). I've wanted to eat there, but there's usually a long () outside. I guess I'm just too impatient.
K: Maybe someday you could arrive early () to avoid the lunch crowd.
M: That's a good (). I'll try going at around 11:30 next time.

Retelling Summarize the dialog.
Ken had lunch () in Midori-machi. It was () but the shop (). Ken suggested to Meg that she should ().

Further Activities
Introduce one of the following exchange students to your friend.

Student	Nancy	Tuan	Sehi
From	Toronto, Canada	Hanoi, Vietnam	Daegu, Korea
Hobby	swimming, cycling	tennis, cooking	reading
Favorite music	classical	pop	jazz
Japanese foods you like and don't like	① sukiyaki ② natto	③ sushi ④ konnyaku	⑤ tempura ⑥ umeboshi

Ex) Let me introduce Pedro. He is from Santos, Brazil. His hobby is watching movies. His favorite kind of music is rock'n'roll. He likes natto so much that he eats it every day. He doesn't like takuan.

Discussion Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here? (Hint=p.105)

Part 2 101

or likely. <LDAE⁵> 口語的な表現。
I wasn't there, but I guess Mr. Radkin yelled at Jeannie. <LDAE⁵>

6. just too ~ 「ちょっと～すぎる」 just は too によって修飾された語句に先行し、「ちょっと～すぎる」の意味を表す。(『英語基本形容詞・副詞辞典』)

6. impatient [impéiənt] 「我慢できない, 気短な」
patient (忍耐強い) に反意の接頭辞 im- がついたもの。for-句や to-不定詞が続くと「～(すること)を待ち望む」の意味になる。

She was clearly impatient to leave. (彼女は明らかに帰りがっていた) / impatient for change (変革を待ち望む) <OALD¹⁰>

7. you could ~ 「～できるよ, ～してみたらどうだろう」 「示唆」を表す表現。You use could, or couldn't in questions, when you are making offers and suggestions: You could look for a career abroad where environmental jobs are better paid and more secure. <COBUILD⁹>

8. avoid 「～を避ける」 crowd (人混み) としばしば共起する。If you want to avoid the crowds, get there early. <OCD²>

また、準動詞が後続する場合、不定詞ではなく動名詞になる点にも注意させる。

We avoid eating fattening foods. <NHD⁵>

8. lunch crowd 「昼食時の人混み, お昼の混雑」

Part 2 右ページ解説 ①
各活動の解答例, 文法・語法解説, 内容把握の補充問題

→ 充実した語句解説;
Comprehension で Dialog の内容理解を確認できます!

ある(この場合 a fund は副詞)。

<Comprehension>

- Has Ken been to the ramen shop in Midori-machi? — Yes, he has.
- When did Ken have lunch at the ramen shop? — He ate lunch there last week.
- How was the ramen at the shop? — It was (really) delicious.
- Did Ken easily get a seat? — No, he didn't.
- Is the ramen shop crowded? — Yes, there is usually a long line.
- What time is Meg supposed to go to the ramen shop next time? — She is supposed to go there around 11:30.

Retelling 解説 ©CD IV-15

対話の要約としては、具体例や詳細説明などの比較的些末な部分 [例えば Meg の 2 番目のセリフなど] を割愛することが肝要である。[本文82語→下例34語]

【要約文例】 DVD-ROM

Ken had lunch ① at the new ramen shop in Midori-machi. It was ② really delicious but the shop ③ was very crowded[busy]. Ken suggested to Meg that she should ④ arrive early to avoid the lunch crowd.

Further Activities 解説 ©CD IV-16

本課の話題に関連した活動である。例にならって下線部を表の情報に基づいて置き換えることによって紹介文が完成するようになっている。

- Toronto [tórɑ:n'tou] カナダ南東部, オンタリオ湖岸にある都市, オンタリオ州の州都。
- Hanoi [hæ'nóɪ] ベトナム北部にある, ベトナムの首都。Vietnam [vi:tnám:m] の発音にも注意。
- Daegu [tégu] 「大邱 (テグ)」 韓国南部の広域市, 慶尚北道の道都。
- classical [klæsɪkl] 「クラシックの」 表中では music を省略した形で記載している。なお, 通例 × classic music とは言わない点に注意。

【展開事例】

1. 設問に取り組みさせる。(適宜, 語句等を説明する。)
- ◆ Now let's go on to Further Activities. Break into pairs and introduce the exchange students in the chart to your partner.

<Model Answers>

(Nancy) Let me introduce Nancy. She is from Toronto, Canada. Her hobbies are swimming and cycling. Her favorite kind of music is classical. She likes sukiyaki, but she doesn't like natto.

(Tuan) Let me introduce Tuan. He is from Hanoi, Vietnam. His hobbies are tennis and cooking. His favorite kind of music is pop. He likes sushi, but he doesn't like konnyaku.

(Sehi) Let me introduce Sehi. She is from Daegu, Korea. Her hobby is reading. Her favorite kind of music is jazz. She likes tempura, but she doesn't like umeboshi.

2. 時間があれば, パートナーについて同じような情報を得る活動をしてもらいたいだろう。

- ◆ Now, ask your partner about the same things.
 - Where are you from?

- What is your hobby?
 - What is your favorite music?
 - What Japanese foods do you like and dislike?
- ※ Discussion に関しては p.214 を参照。

英文の和訳例 DVD-ROM

Dialog

アメリカからの交換留学生のメグが, ケンと話しています。

M: 緑町の新しいラーメン屋さんに行ったことがある?

K: うん, 先週そこで昼ごはんを食べたよ, とてもおいしかったけど, 店がすごく込んでいて席を確保するのが大変だった。

M: そう, 驚くほどはやっているみたいだね, あそこで食事したいとずっと思っているんだけど, 外にいつも長い行列ができていて, 私がちょっとせっかちすぎるのかな。

K: そのうち, お昼の混雑を避けられるほど早く行ってみたら。

M: いい考えだね, 次は11時半ごろに行ってみる。

Retelling

ケンは緑町の新しいラーメン屋で昼食をとった, とてもおいしかったが, 店は大変混雑していた, ケンはメグに, 昼時の混雑を避けるために早く行くのがいいだろうと提案した。

Further Activities

次の交換留学生の1人を友だちに紹介しなさい。

例) ペドロを紹介させてください, 彼はブラジルのサントス出身です, 趣味は映画鑑賞です, 好きな音楽の種類はジャズが好きで,

Part 2 右ページ解説 ②
各活動の解答例, 語句解説, 展開事例, 和訳例, 補充問題など
→ 補充問題で表現の定着を!
(付属 DVD-ROM にも収録)

◆ 補充問題 次の文を英語に直しなさい。 DVD-ROM

- (1) そのテーブルはとても重いので運べません。
- (2) 私の兄は運転免許 (driver's license) を取得できる年齢です。
- (3) 私はとても疲れていたので駅まで走れませんでした。
- (4) リョウはその数学の問題が解けるほど頭がいい。

【解答】

- (1) The table is so heavy that I can't [cannot] carry it.
- (2) My brother is old enough to get a driver's license.
- (3) I was too tired to run to the station.
- (4) Ryo is clever enough to solve the math problem.



B.E. 21 「～すること」(～ing)

CD II-15

- 1 My father's hobby is **taking** pictures. ▶ 父の趣味は写真を撮ることだ。
- 2 I don't like **him taking** my picture. ▶ 彼が私の写真を撮るのは好きではない。

POINT

「～すること」は～ing(動名詞)でも表せます。～ingは前置詞の目的語にもなります。
「…が～すること」という場合は、～ingの前に名詞・代名詞(目的格または所有格)を置きます。

- ▶ Would you mind **opening** the window? (～していただけますか)
窓を開けていただけますか。
- ▶ Would you mind **me opening** the window? (私が～してもかまいませんか)
私が窓を開けてもかまいませんか。
- ▶ 「～しないこと」: I'm sorry for **not coming** in time.
間に合うよう来られなくてすみません。

CD II-16

Let's Use It! ② *上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) My favorite pastime is **walking (with) my dog**[watching movies[TV], etc.]
私の大好きな気晴らしは、～です。
- (2) I don't like **my shoes getting wet on rainy days**[my sister laughing loud, etc.] . It's annoying.
私は～が好きではありません。いやな感じです。
- (3) Excuse me for not **calling**[writing] you back[visiting you, etc.] sooner. I was too busy.
もっと早く～しなくてごめんなさい。あまりにも忙しくて。

B.E. 22 「～すること」(to ～と～ing)

CD II-17

- 3 Meg **decided to jog** for her health. ▶ メグは健康のためジョギングすることにした。
- 4 She **enjoys jogging** every morning. ▶ 彼女は毎朝ジョギングを楽しんでいる。

POINT

動詞によって、to～が続く場合と～ingが続く場合があります。

- 3 decide, hope, wish, plan, refuse(拒否する)など → to～
- 4 enjoy, mind, finish, give up, stop, avoid(避ける)など → ～ing

- ▶ I remember **seeing** Meg last month. (～したことを覚えている)
私は先月メグに会ったことを覚えている。
- ▶ Remember to **see** Meg tomorrow. (～することを覚えている、忘れずに～する)
明日、メグに会うことを覚えていなさい(忘れずにメグに会いなさい)。

CD II-18

Let's Use It! ② *上で学んだ表現を使ってみよう。

- (1) 雨が強くなって、[何か] をすることをあきらめるとき ※[具体的な行事] を入れてみよう。
The rain is getting heavier. We should **give up playing tennis**[going to the beach, etc.]
雨が強くなってきた。～するのをやめたほうがいい。
- (2) [何かの作業] が終わったかどうかを尋ねるとき ※[具体的な作業] を入れてみよう。
Have you **finished cleaning your room**[doing your homework, etc.] ?
～するのを終えましたか。
- (3) 明日[すること / してもらうこと] について念を押すとき ※[具体的な行動] を入れてみよう。
Remember **to see Mr. Brown**[call Ann, come early, etc.] tomorrow.
明日忘れずに～するようにしてください。

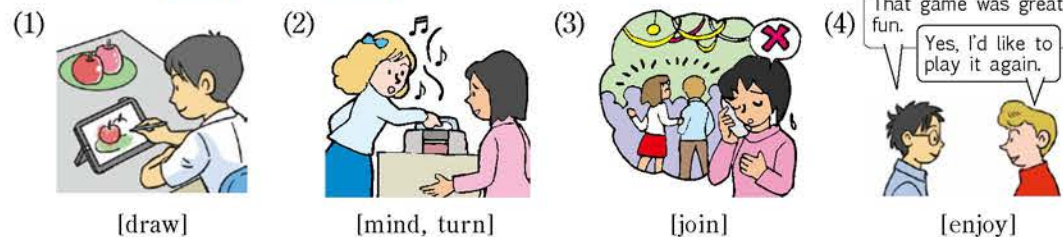
Can-do!

- 表現 「～すること」などを英語で表現できる。
- 話題 趣味やその他の日常の活動について、英語で表現できる。

Think and Express!

A Look at the pictures and complete the sentences. Use the words below.
絵を見て文を完成させなさい。下の語を用いなさい。

CD II-19 [(1)～(3)→ B.E. 21, (4)→ B.E. 22]



- (1) My favorite hobby is **drawing** with my tablet PC[on my graphics tablet PC].
私の大好きな趣味は、タブレットPCで[グラフィックタブレットPCに]絵を描くことです。
- (2) Would[Do] you **mind** [me[my]] **turning down**[off] the radio? —Oh, I'm sorry.
ラジオの音を小さくして[ラジオを消して]いただけませんか。 (ラジオに触ろうとしている人の発言と考えて、ああ、ごめんなさい。 me [my]を入れてもよい。)
- (3) Excuse me for **not joining** the party today.
今日はパーティーに参加しなくてごめんなさい。
- (4) They **enjoyed playing the game**.
彼らはゲーム[試合]をすることを楽しんだ。

B Express yourself! 自分を[自分で]表現してみよう!

CD II-20

- ① Tell about your general plan and your specific decision.
あなたの大きな計画と、具体的な決定事項について話しなさい。
 - ② Ask people if you can do something, using "mind."
あなたが何かしてよいかどうか、mind を使って人に尋ねなさい。
- Ex.) ① We are **planning to take** a trip. We've **decided to visit** Turkey.
私たちは旅行に行く計画を立てています。トルコを訪問することに決めました。
- ② Would you **mind me turning** on the TV? I'd like to watch soccer.
テレビをつけてもいいですか。サッカーを見たいのです。
- ① Ex.) を参照。
②

CD II-21

Interact and Produce

1 Listen to the dialog between Emily and Kaito. Write down some key words.
エミリーとカイトの対話を聞きなさい。キーワードを書きなさい。

例) free time, fish, river, hobby, nature, eating

2 Work in pairs. Refer to 1 and reproduce the dialog.
ペアで活動しなさい。1を参照して対話を再現しなさい。

Emily: What do you do **in your free time** , Kaito?
暇なときは何をやるの、カイト?
Kaito: I like to **fish in the river** near my house.
家の近くの川で釣りをするのが好きだよ。
E: Oh, your **hobby is fishing** ? What do you **like about fishing** ?
へえ、あなたの趣味は釣りなの? 釣りのどんなところが好き?
K: I enjoy **being in nature** ... and, of course, I enjoy **eating fish** too!
自然に囲まれているのが好きなんだ ... それと、もちろん魚を食べるのもね!

E: **Sounds like** a good hobby.
いい趣味みたいだね。

3 Work in groups. グループで活動しなさい。

- a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in 2 and present it to students C and D.
生徒AとBは、2に類似した自分たち自身の対話を作り、生徒CとDに発表しましょう。
 - b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)
CとDは対話について質問したり、意見を述べたりしましょう。(それから役割を交替しなさい。)
- Words & Phrases p.69 [趣味・余暇]

F 義務・必要を述べる

Listen and Answer CD III-43

CD III-44,45

Listen to the dialog and answer questions ①-③. 対話を聞いて、①-③の質問に答えなさい。

① Why did Mark come home early? なぜマークは家に早く帰ったのですか。

— Because he had to do a lot of homework.

たくさんの宿題をしなければならなかったから。

② How is Mark going to help his mother? マークはどのようにお母さんを手伝うでしょうか。



③ What is Mark's mother making? マークのお母さんは何を作っているでしょうか。

— She is making beef stew.

彼女はビーフシチューを作っている。

CD III-46

Expressions



Work in pairs. Practice the following dialogs.

ペアになって、次の対話を練習しなさい。

① A: You need to come back by five.

B: Why?

A: Aunt Jane is coming for dinner.

B: All right. I can do that.

A: 5時までには帰ってくる必要があるよ。

B: なぜですか?

A: ジーンおばさんが夕食に来るからだよ。

B: わかりました。そうします。

② A: Do I have to water the plants now?

B: No, you don't have to.

It rained last night.

A: Oh, right.

A: 今、水やりをしないといけないかな。

B: いや、その必要はないよ。

昨夜雨が降ったから。

A: ああ、そうだったね。

③ A: I'm supposed to clean my room every weekend.

B: Is that a family rule?

A: Yes, we have a lot of rules.

A: ぼくは毎週末に部屋を掃除することになっているんだ。

B: それは家族のルールなの?

A: うん、うちにはルールが多いんだ。



▶ Make your own dialogs by changing the underlined parts.

下線部を変更して、自分たち自身の対話を作りなさい。

Practice the dialogs you have made and present them to the class.

自分たちで作った対話を練習して、クラスのおもんに発表しなさい。

Listen and Answer

(Script)

Mother: Hi, Mark. I'm glad you came home early today.

Mark: Why? Is there something you'd like me to do?

Mother: I want you to help me with the cooking.

Mark: Well, actually, I came home early because I have to do a lot of homework.

Mother: I just want you to peel some vegetables.

Mark: Oh, I can do that. What are we having tonight?

Mother: I'm making beef stew.

Mark: Fantastic! I love beef stew.

(和訳)

母: お帰りなさい、マーク、今日は早く帰ってきてくれてうれしいわ。

マーク: なんで? ぼくにしてほしいことがあるの?

母: 料理を手伝ってほしいの。

マーク: うーん、実は、たくさん宿題をしなくちゃいけないから、早く家に帰ってきたんだけど。

母: 野菜の皮をむいてほしいだけよ。

マーク: ああ、それならできるよ。今日の晩ごはんは何?

母: ビーフシチューを作るわ。

マーク: やったあ。ビーフシチューは大好きだ。

A Sample Teaching Procedure for an ALT

① Roll call

◆ Good morning[afternoon], everyone. Is anybody absent today? ... OK, let's begin.

② Collecting the assignment for the previous lesson (cf. ⑨)

◆ Hand in the assignment for the previous lesson. Pass the worksheets forward. ... Thank you.

Note: Instead, you can give the students a review quiz here.

◆ OK, let's review Lesson 4. I'll give you a review quiz. Please take one sheet and pass the rest on. You'll have three minutes to answer the questions. Now let's start. ... Time's up. Pass your papers to the front.

③ Listen and Answer

1. Give students a small talk.

◆ When I was young, I went to the USA to study English. I lived in an apartment by myself. I could not afford to eat out often, so I usually cooked my own meals. I had a lot of homework such as writing reports, so I had to study for many hours every day, but I still took time out to cook my dinner. It was a good break after hours of study, and I enjoyed it. You might say that cooking was my hobby.

Note: The talk above can be omitted.

2. Have some students answer the questions in *Listen and Answer*.

◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to p. 86. Listen to the dialog and answer each question.

◆ Now, let's check your answers. What's the answer to question ①?

◆ [Name], could you please tell us your answer? ... Good! The answer is "a lot of homework." Note that "homework" is an uncountable noun. You cannot say "many homeworks." He came home early because he had to do a lot of homework.

◆ Question ②. Before checking the answer, let's see which process of cooking each picture shows. [Name], could you describe in English what is shown in picture (1)? Please answer in English.

Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato (3) mashing a potato

Note: If a student seems unable to answer in English, have them answer in Japanese.

◆ Why don't you answer in Japanese, then?

◆ What's the answer to question ②? [Name], your answer, please. Great. The answer is (1). Mark's mother said she wanted him to peel some vegetables.

◆ Next, what's the answer to question ③? [Name], your answer, please. Very good. When he heard his mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I love beef stew," so the answer is "beef stew."

3. Ask students about the vocabulary from *Listen and Answer*.

◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog of *Listen and Answer*. First, "peel." Repeat after me "Peel some potatoes." What else do we peel? "Peel an apple," "peel an orange," "peel a banana." Next "beef stew." Be careful about the pronunciation of "stew." Repeat. "Stew." "Stew" is an uncountable noun. Do not say "a beef stew," right?

Note: The teacher can decide which words they will talk about.

④ Expressions

1. Have students practice the dialogs.

◆ Now, let's practice the dialogs in *Expressions*. Repeat after me.

2. Have students work in pairs.

◆ First get into pairs and then play the roles of A and B.

3. Have students present the dialogs.

◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any volunteers? / No? OK, how about [Name] and [Name], please?

※ Have students present dialogs ② and ③ in the same way.

Note: If possible, have the students repeat the dialogs from memory.

◆ Next, let's make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made.

◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation. Any volunteers? / How about [Name] and [Name], please?

Lesson 4 A Dog in a Barbershop

There used to be a barbershop at that corner. I would often go there with my brother. There was an old dog there. When we went to the shop, the dog always barked loudly. It must have been very shy, or it may just have been happy to see us.

Listen and Answer *The writer of the passage is a boy.

(1) _____
(2) He thinks _____

Read aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (p. 8)

Fluency	Pronunciation	Attitude	Total

Think and Express!

Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.

(1) There _____
(2) I _____
(3) I can't find _____
(4) Sam looks _____

Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、small talk など
→導入部分からしっかりサポート!

本課の目標：以下の用法を習得する。

- ① used to, would の用法 [現在と対比させた過去の状態、過去の習慣的行為]
- ② <助動詞+have+過去分詞> の用法 [過去に対する推量、過去の非実現の行為]

観点別評価のポイント

DVD-ROM

①知識・技能

- a. 英語で「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」や「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。
- b. 小学校時代の経験などについて、助動詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。
- c. ポイントとなる助動詞の用法のほかに、barbershop, bark, commuter pass, fail, name+O+C などの語彙や表現を習得している。

②思考・判断・表現

- a. 適切な場面において used to, would を用いて「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の意味を表現する。
- b. 適切な場面において <助動詞+have+過去分詞> を用いて「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」の意味を表現する。

- c. 「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」や「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」の表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。

③主体的に学習に取り組む態度

- a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。
- b. そのほか、「過去の状態」や「過去の習慣的行為」、「過去の推量」に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。

◆Small Talk

When I was a child, there used to be a movie theater in my neighborhood. I would often see newly released films there with my family. It was a small theater, and it was always full, even several weeks after a film had opened. I think that was because we had few forms of entertainment other than the movies. There would probably have been a much smaller audience at the theater if we had had other ways to entertain ourselves in those days, such as video games or karaoke.

Listen and Answer

CD I-30~32

【質問・解答例】

- (1) What used to be at the corner?
—A barbershop. / There used to be a barbershop there.
- (2) What does the writer think about the dog's reaction?
—He thinks it must have been very shy, or may just have been happy to see them.

【解説】

- (1) 例文①参照。上記解答の第2例は文として整っており問題はないが、ネイティブによると、A native speaker would more typically just say “A barbershop.” とのことである。
- (2) 例文②参照。本文の to see us は to see them に変えて答える必要がある。reaction[ri(:)ækjən] は「反応」の意味。< react(反応する) [v.i.]

【和訳例】

- (1) 以前は、角のところは何がありましたか。—散髪屋さんです[そこには散髪屋さんがありました]。
- (2) 筆者はそのイヌの反応について、どう考えていますか。—そのイヌはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、自分たちに会えてうれしかっただけかもしれない、と考えています。

<Other questions>

- 1. Who would the writer often go to the barbershop with?
—He would often go there with his brother.
- 2. What was there at the barbershop?
—There was an old dog.
- 3. What did the dog always do?
—It always barked loudly.

<モデル文の語句解説>

- 1. **barbershop** [bɑ:rbəʃɑ:p] 「散髪屋、理髪店」
= (especially *NAmE*) (*BrE* usually barber's) a place where a barber works. <OALD¹⁰>
barber の語源は「beard (あごひげ) をそる人」で、もともとは「理髪外科医 (理髪師のほか外科医・歯科医を兼ねた)」をも意味し、店頭においてある看板柱 (barber pole) の赤・白・青は動脈血・包帯・静脈血を表象したものという (『英語語源辞典』)。

- 1-2. **at that corner** 通りにある「角」は「地点」を表すので at または on を伴う。部屋や画面、ページなどの「すみ」は「空間」が意識されるので in を用いて表現する。

Write your address *in the top right-hand corner* of the letter. <OALD¹⁰>

The TV station's name appears *in the corner* of the screen. <LDOCE⁶>

- 3. **There was an old dog there.** 文頭の There は形式的な語で発音は弱い。文末の there は「そこに」の意味の副詞で、やや強く発音される。

- 5. **loudly** [laʊdli] 「大声で、やかましく」
Ben laughed *loudly*. / She spoke more *loudly* than she intended. <LDOCE⁶>

なお、loud も副詞としてよく用いられる。

Do you have to play that music so *loud*?
You'll have to speak *louder*—I can't hear you.

- 6. **shy** [ʃaɪ] 「(動物が) 臆病な、警戒して」= (of animals) easily frightened and not willing to come near people: The panda is a *shy* creature. <OALD¹⁰>

- 6. **just** 「ただ〜だけ」
Don't be upset—I was *just* joking. <LDAE⁵>
We'll *just* have to (= the only thing we can do is) wait and see what happens. <CALD⁴>

- 6. **happy to see** 「〜に会えてうれしい」不定詞の副詞的用法で「原因」を表す。

Read aloud

- ① 「幼いころに兄と理髪店に行ったときの思い出」を語る状況をふまえて音読する。
- ① 冒頭の There は形式語なので弱く発音される。used は若干強く、内容語の barbershop, corner が強い。指示代名詞も比較的強く発音される。
- ② I would は弱く、often go there はいずれも強い。with my は短く弱く、brother は強く発音される。
- ③ 内容語の old dog there が強い [→左段語句注]。an old は滑らかに音をつなげる。

④ I always barked loudly は新情報であり、文

Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説 される。後半は
→的確な文法解説、音読のヒント、 どのようにリズム
補充問題など充実した内容! を注意する。

学習事項の解説

① used to / would の用法

- (a) used to は過去の規則的行為や習慣、あるいは過去の状態を表現する。現在との対比 (「現在はそうではない」という点) を客観的に述べるものである。We use *used to + infinitive* to talk about past habits and states which are now finished. <Swan (2016: 87)>

- (b) would は過去の不規則な反復行為 (動作) に言及する場合に用いる。この用法では、過去の「状態」や「定期的な活動」について述べることはない。個人的な回想を表し、often, sometimes などの副詞を伴うことも多い (→例文②)。また、この would は明確に過去を表す文脈でのみ用いられる。

- (c) 上記のように、基本的には used to は「現在との対比」、would は「個人の回想」を述べるものと認識しておけばよい。

- (d) used to の疑問文・否定文は Did S use(d) to ~?, S didn't use(d) to ~. となる。fml では Used S to ~?, S used not to ~. の形式もある。

② <助動詞+have+過去分詞> の用法

- (a) 学習者には、まず最初に当該の助動詞の意味を確認しておく。

must: ~にちがいない / may: ~かもしれない
can't: ~のはずがない / should: ~すべきだ

- (b) 後続する原形の部分が <have+過去分詞> になると、must, may, can't は過去の出来事に関する推量、should は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「〜す

Can-do! 過去の出来事や習慣、過去についての推察などを英語で表現できる。
 過去の身の回りや状況や思い出などについて、英語で表現できる。

Think and Express! B

1 Listen to the passage and answer the following questions. → The speaker is a girl.
 (1) When did the speaker meet Daisy?
 (2) What would the speaker often do?
 (3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?

2 Listen to the passage again and write down the key words.

3 Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.
 (You do not have to reproduce the passage exactly.)

4 You can refer to the passage on p. 23 if necessary.

Express Yourself!

Write a passage of a few sentences about your elementary school days.
 When I was... / park / friend / play / read / catch fish/insects / innocent

Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)

る[である]にちがいない]→「～した[であった]にちがいない」などの意味になり、should は「～すべきだったのに」の意味となる。

(c) should は ought to に変えても同様の意味を示す。また、<should[ought to] have + 過去分詞> が「～したはずだ」と過去の出来事に関する推量を表す場合もある。Have you heard from Maria? She *should have started* her job on Monday. <Quirk et al. (1985: 235)>

(d) <should not have + 過去分詞> は「～すべきではなかったのに」の意味 [Think and Express! B, 第5文にこの表現がある]。類例に <need not have + 過去分詞> 「～する必要はなかったのに」がある。You *needn't have woken* me up. I don't have to go to work today. <Swan (2016: 532.6)>

Think and Express! A 解答例 ©CD I-33

- (1) There used to be a movie theater there.
- (2) I would often[sometimes] go fishing with my father.
- (3) I can't find my commuter pass. I must have left it at home.
- (4) Sam looks sad. He may have failed the test.

【解説】

- (1) There used to be.... (以前…があった) の形。
There *used to be* four cinemas in the town. Now there is only one. <Murphy (2019: 36)>
- (2) would を用いて表現する。often[sometimes] などの副詞をともに用いてもよい。
- (3) <must have + 過去分詞> を用いる。commuter [kəmju:tər] pass は「(通学・通勤の)定期券」。
- (4) <may have + 過去分詞> を用いる。ここでの fail[féil] は他動詞で、「[試験など]に落ちる、失敗する」の意味を表す。

【和訳例】

- (1) 以前はそこに映画館がありました。
- (2) 父とよく[ときどき]釣りに行ったものだ。
- (3) 定期券が見つからない。家に置いてきたにちがいない。
- (4) サムは悲しそうだ。試験に落ちたのかもしれない。

Think and Express! B 解答例 ©CD I-34~36

- ① (1) She met her when the speaker was five.
(2) She would often give Daisy some fish[fish to eat]. (3) Because Daisy became very big after some years.

- ② Ex.) cat, five, Daisy, fish, give, very big, fed
- ③ スクリプトについては、教科書 p.23を参照。

【解説】

① (1) 第1文に when I was five とあるので、I を適切な語句 (the speaker) に変えて解答する。なお、この meet に関し、ネイティブは The verb *meet* can be used for animals, but is anthropomorphic. [問題は無いが、擬人的な用法である]とコメントした。

(2) 第3文で I would often give some to her と述べられているので、これをヒントに解答する。

(3) 第4文の she became very big が、話し手が「そんなにたくさんの餌をやらなければよかった」と考える理由である。<Why does S think ~?> (なぜSは～と考えたか) の構文に注意。

cf. Do you know why the speaker fed Daisy so much fish? [一般疑問文]

【和訳例】

- ① (1) 話し手はいつデイジーに出会いましたか。—話し手が5歳のときに会った。
- (2) 話し手はよく何をしましたか。—話し手はデイジーによく魚[食べるための魚]をやった。
- (3) なぜ話し手はそんなに多くの魚をデイジーに与えるべきではなかったと考えますか。—数年後、デイジーはとてとても大きくなった[太った]から。

<Other questions>

- 1. How did Daisy come to the speaker's home?
—The speaker's parents bought her for the speaker.
- 2. What does Daisy love? —She loves fish.
- 3. What became of Daisy after some years?
—She became very big.

<スクリプトの語句解説>

- **bought me a cat** SVOO文型に注意。
Let me *buy you a drink*. <LED>
- **named her Daisy** SVOC文型に注意。
They *named their son Jacob*.
We *named the baby Henry*, after his grandfather (=gave him the same name as his grandfather). <以上 LDAE>
- **Daisy**[déizi] 普通名詞としては「ヒナギク」の意味。アメリカの雌ネコの名前として、Bella, Lucy, Lily, Chloe, Sophie などとともに人気がある。ちなみに雄ネコは、Max, Leo, Oliver, Simba, Tigger など。
- **fish** ここでは「食べ物としての魚」なので、不可算名詞となる。I don't like *fish* (=don't like to eat *fish*). <CALD>
- **give some** ここでは some は代名詞で give some *fish* の意味。Nouns can be dropped after *some*, if the meaning is clear. I've got too many strawberries. Would you like *some*? <Swan (2016: 158.6)>
- **Then, after some years** 時間的順序を示す語句により理解しやすい展開となっている。
- **very big** ここでは fat を含意する。一種の婉曲表現 (euphemism) である。
- **fed her so much fish** feed (動物にえさをやる、人に食べ物を食べさせる) は SVOO 文型をとる。Do you *feed your chickens corn*? <CALD>
不可算名詞の fish を修飾する much にも注意。

③ 時間的順序 (time order), 原因と結果 (cause and effect) による展開を用いてまとめるとよい (→教 pp.32, 44). Then, after some years, ... という「つなぎ語」を用いるのが効果的である。

【和訳例】

私が5歳のとき、両親は私にネコを買ってくれました。私は彼女をデイジーと名付けました。デイジーは魚が大好きで、私はデイジーによく魚をあげていました。そして、何年かすると、デイジーはとてとても大きくなりました。私はデイジーにそんなに多くの魚をあげなければよかったと思いました。

<Another Example>

I was given a cute female cat when I was five. We called her Daisy. She loved fish very much. She ate as much fish as I gave her.

Then, after some years, Daisy became very big. We were afraid that she would get sick, so we made her go on a diet. It has been working fairly well. Now she is 13 years old, but she is still in good shape. (72語)

Express Yourself! 解説 ©CD I-37

小学校時代の経験や思い出について、簡単な文章を書く練習である。

- 1. When I was an elementary school student (私が小学生のころ) といった書き出しに続けて、自分や身の周りの人・ものの習慣や状態について書く。2文以上書く。

- 2. 教科書の各活動の解答例、文法・語法解説、表現活動のヒント・補充問題・別解も豊富にご用意! 用いた語句をメモし、自分の作文で活用する。
- 3. 設問の下の枠に示した語句や、必要に応じて、以下のような語句のヒントを与えて英文を書かせるのもよいだろう。

- visit my grandparents (祖父母を訪ねる)
- make friends with (～と友だちになる)
- quarrel with (～と口げんかをする)
- make up with (～と仲直りする)
- go on a hike (ハイキングに行く)
- ride a unicycle (一輪車に乗る)
- set off fireworks (花火をする)
- build a snowman (雪だるまを作る)
- swim in the sea (海で泳ぐ)
- grow morning glories[strawberries] (朝顔[イチゴ]を育てる)
- bury the time capsule (タイムカプセルを埋める)

【和訳例】

小学校時代について、2, 3文の文章を書きなさい。

【解答例】

- ① When I was an elementary school student, I used to stay with my grandparents during the summer vacation. I would often go fishing with my grandfather. (26語)
- ② When I was an elementary school student, there used to be a large park near my school. I would often play baseball or soccer there with my friends. I'm a bit sad it's not there now. (36語)

Lesson 1 What's Your Favorite Dish?

Model dialog

Rika: Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?
 Bob: Actually, no. I prefer Japanese food.
 Rika: Oh, do you? What's your favorite Japanese food?
 Bob: I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.
 Rika: Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F

Expressions for (Likes and Dislikes)

1. I prefer apples to oranges.
 2. Sashimi is my favorite dish.
 3. Mr. Brown is a big fan of omelets.
 4. I'm fond of Korean food.
 5. I don't much care for cheese.
 6. Ann dislikes/hates green peppers.

1. オレンジよりもリンゴが好きです。
 2. 刺身は私が一番好きな食べ物です。
 3. ブラウンさんはオムライスが大好きです。
 4. 私は韓国料理が好きです。
 5. チーズはあまり好きではありません。
 6. アンはピーマンが苦手(嫌い)です。

Think and Express! ①

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.
 Ex.) I like cookies. I bake cookies at home once a month. It's enjoyable.

(1) (2) (3)

especially like to travel abroad. It's really exciting to see the different lifestyles of people in other countries. However, when I go abroad, there is always one thing I miss. That is Japanese food, such as sushi and *onomiyaki*. It's getting easier to find Japanese food in other countries these days, but still, it's hard to get food with the same flavors that we can enjoy in Japan.

Listening Quiz



- Bob prefers Western food to Japanese food. (F)
- Bob doesn't like sushi very much. (F)
- Rika wants to go and eat sushi with Bob. (T)

※音声CDには本文とListening Quizの音声を取録

Warm-up questions

- What is Bob's favorite Japanese food?
—It is sushi.
- Who does Bob often go to sushi restaurants with?
—He often goes there with his family.
- What does Rika suggest?
—She suggests that she (should) go and eat sushi with Bob someday.

モデル文の語句解説

- ...ally は相調を和ら
- Part 2 左ページ解説 ①
本課の目標、観点別評価のポイント、small talk、Warm-up questions など
→導入部分からしっかりサポート!
- ...現で、さらに *infml* には *go do* と *and* を省略した形となる。In spoken English *go* can be used with *and* plus another verb to show purpose or to tell sb what to do: I'll *go and answer* the door. / *Go and get* me a drink! The *and* is sometimes left out, especially in *NAmE*: *Go ask* your mom! <OALD¹⁰>

Expressions 解説



- prefer A to B** 「B より A を好む」
prefer は「[人・物・事]を好む」という意味で、prefer A to B は、2者について like A better than B の意味を表す。動作・行動について言う場合は、動名詞を用いる場合と不定詞を用いる場合がある。I *prefer walking to driving*.
I *prefer to walk rather than (to) drive*.
なお prefer [prɪfəːr] のアクセントに注意。活用は preferred, preferring となる。

- ~ **is my favorite ...** 「~は私が大好きな...だ」
favorite [fɛɪvərət] は「最も好きな、一番気に入っている [得意な] (=best liked or most enjoyed <CALD⁴>)」の意味。最上級の意味が含まれているので普通 ×most ~とはならない。なお、*BrE* では favourite とつづる。
- be a big fan of ~** 「~の大ファンだ、~が大好きだ」
fan [fæn] は「(有名人・チーム・娯楽などの)ファン」の意味だが、このように食べ物について用いてもよい。I'm a big fan of Italian food. <OCD²> *infml* な表現である。
- be fond of ~** 「~が大好きだ」
特に長期にわたって好きであることが含意される。=to like something, especially something you have liked for a long time. <LDOCE⁶> fond は very, quite, extremely などの修飾を受ける。She was very fond of horses. <CALD⁴> Joe's quite fond of her, isn't he? <LED>
- care for ~** 「[否定文・疑問文で]~が好きだ」
I don't care for ~, Do you care for ~? のような形で用いる。not like よりも直接的な表現でない。人から勧められたものを断るときなどに用いる (I'm sorry, but I *don't care for* raw fish. など)。さらに例文のように much を入れることばを和らげることもある (much の位置は care の前後いずれも可能)。なお、*Would you care for* another cup of tea? (お茶をもう1杯いかがですか)などは、ていねいな提案の場面で用いられる。
- dislike[hate]** 「~が嫌いだ」
not like, dislike, hate の順に嫌いな気持ちが強くなる。嫌悪を表す直截な表現なので、特に「人」に対しては、なるべく用いない (not likeなどで代用する) のがよい。例文のような客観的な描写や、I *hate* snakes. などの一般的な論述で使用するのはいよい。なお hate は to *do, doing* のいずれも目的語にとるが、dislike は *doing* が後続するのが普通である。

Think and Express! A 解説



解答例



- Okonomiyaki* is my favorite Japanese food. I sometimes make it myself at home.
- I'm fond of *omu-rice*. These days I prefer it with demi-glace sauce rather than ketchup.
- I'm not a big fan of Japanese sweets. I don't much care for the red bean paste in *dorayaki*.

展開事例

- 設問に取り組みさせる。適宜語彙のヒントを与える。
◆ Now, let's work on *Think and Express!* A. Look at the pictures and express your likes or dislikes about them. Each comment should be more than ten words in length. As in the example, you can use a few sentences if necessary.
- それぞれの答えを発表させる。
◆ [Name], could you tell us your comment for picture (1)? / [Name], write your comment about picture (2) on the board.
- 適宜、写真の食べ物に関し、ペアで対話を行わせたり、写真以外の食べ物について対話させてもよい。
※ なお、初対面、あるいはそれに近い人との会話の場合、相手が Do you like O? と尋ねてきたら、概話を発展
否定的な
it. / To
と、こと
t like it.
では、かなりぶっきらぼうな印象を与えてしまう)。
・ likes or dislikes 「好きか嫌いか」ここでは like, dislike が名詞で使われている。likes and dislikes (好き嫌い) という句でよく用いられる。A good hotel manager should know his regular guests' likes and dislikes. <LDOCE⁶>
・ in length [lɛŋkθ] 「長さで」
The boat is ten metres in length. <CALD⁴>
cf. She talked at length about her work in hospitals. (長々と、詳細に) <OID²>
・ once a month 「1か月に1度」 a は per (~につき) の意味。You use once with 'a' and words like 'day', 'week', and 'month' to indicate that something happens regularly, one time in each day, week, or month. <COBUILD⁹>
(2) *omu-rice* 「オムライス」 omelet [omelette] と rice でできた和製の料理。本教科書での表記に関しては、「オム」は日本語と捉えて斜体字で記し、「ライス」は英語そのままとして、両者をハイフンでつないだ。

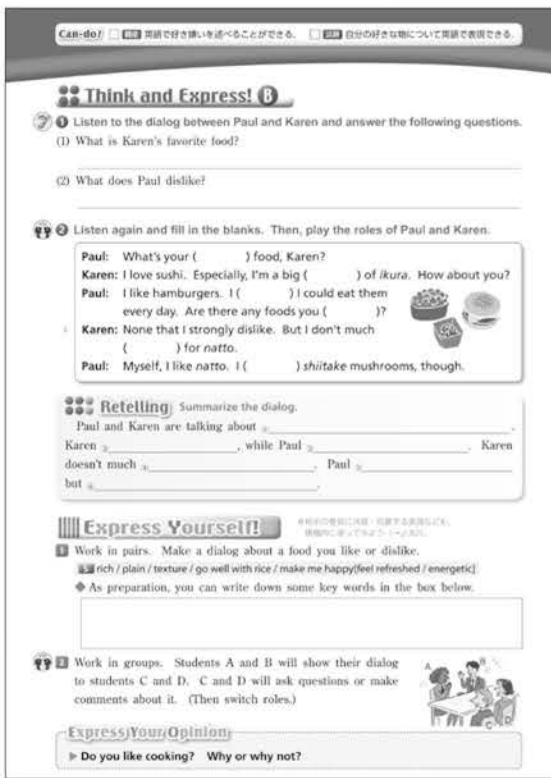
Part 2 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例

→的確な機能表現・語句の解説；活動の展開事例をご留意！

和訳例

写真を見て、それらが示す食べ物について好き嫌いを表現しなさい。それぞれのコメントは10語を超える長さとなるようにしなさい。
例) クッキーが好きです。月に1度、家でクッキーを焼きます。それは楽しいです。



ロシア語の ikra (魚卵)が語源とされる。

3. **I wish I could** ~ 「~することができればなあ」 could は can の仮定法。I wish that I could afford a new car. <LED>

5. **None that I strongly dislike.** 「ひどく嫌いなものはありません」 = There is none that I strongly dislike. none は no one が短縮された形で、先行する名詞を受ける代名詞。この場合は no food の意味となる。

7. **myself** 「私自身は」 I don't like a heavy meal at lunchtime myself. <CALD> と同様の強意用法で、文頭で用いられたもの。infml な用法である。

7. **shiitake mushrooms** 「しいたけ」 soba noodles などと同様、mushroom の種類を表す語として shiitake を用いている。<OCD> の mushroom の項には、oyster ~ (ヒラタケ)、portobello ~ とならんで shiitake ~ が挙げられている。また、mushroom と共起する形容詞には edible, poisonous, wild, fresh, dried, stuffed などがある。

Retelling 解説 ©CD II-84

ここでは対話の内容を要約するリテリングの活動を行う。生徒には「自分が聞いた内容を第三者に伝えるように、うまくまとめてみよう」などと指示を出すのがよい。補足事項、詳細説明などの些末な部分を割愛することが肝要である(本課では I wish I could eat them every day. など)。[本文56語→下例32語]

[要約文例]
Paul and Karen are talking about ①the food they like or dislike. Karen ②loves sushi, while Paul ③likes hamburgers. Karen doesn't much ④care for natto. Paul ⑤likes natto but ⑥hates shiitake mushrooms.
[活動の展開事例]→本書 p.30 などを参照 [以下同].

Express Yourself! 解説

生徒独自の対話を作らせ、発表させる。「好きな食べ物、嫌いな食べ物」がテーマなので、pp. 62, 63 の各対話文を参考にさせるとよい。
注：Express Yourself! に関する基本的な展開事例は教科書に示した通りで、**1** ペアワーク：必要に応じて key words を準備したうえで、対話練習を行う **2** グループワーク：1組のペアが対話を発表し、もう1組のペアとともに討議を行う、というものである。以下の各課でさまざまな展開方法を記載するが、これは各課固有の指導法を示すものではなく、他のレッスンに転用してもよい。指導法を工夫して、生

徒の言語活動を活性化させることが肝要である(次項の Express Your Opinion も同様)。

- ◆Work in pairs. Let's make an original dialog similar to the ones on pp. 62 and 63. As preparation, you can write down some key words in the box on p. 63. Now, let's practice.
- ◆Work in groups of four students[two pairs]. One pair will present their dialog to the other pair. And then, make a discussion about the dialog as written in the textbook.

Express Your Opinion 解説

ここでは、初歩的なものとして、簡単な対話練習を行う展開事例を示す。英検準2級の二次試験の面接にも通じる活動である。

- ◆Work in pairs. First, one student asks if the other likes cooking or not. Then, depending on the answer, ask why or why not. After that, switch roles.
- ◆You can respond to the reason your partner has told you. For example, you agree or not with the reason, and tell your opinion.

※ 以下の解答例について、極めて簡単に口頭で回答する例については、①の下線部を参照。ただし、

Part 2 右ページ解説

各活動の解答例、文法・語法解説、内容把握の補充問題、活動の展開事例

→充実した語句解説、補充問題、展開事例、解答例でご授業にお役立ていただけます！

極力支持文で自分語りとならないよう主張と理由づけ food は、「種

- [肯定的な例]**
- ① I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. (33語)
- ② I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Such cases are still rare, so I would like to improve my cooking skills. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. The comments from my family encourage me to become a better cook. (59語)

[否定的な例]

- ① I don't like cooking very much because it is troublesome. It takes a lot of time, including

shopping and washing the dishes. And it does not come out as good as I expected after all. (35語)

- ② I don't like cooking very much because it is troublesome. First, you have to buy all the ingredients you need. Then you need to cut a lot of vegetables, meat, and so on, which takes a lot of time. Besides, it does not come out as good as I expected after all. And also, there is cleaning up to do after that. (62語)

英文の和訳例 DVD-ROM

Think and Express! B

- ① ボールとカレンの対話を聞いて、次の質問に答えなさい。

- (1) カレンの好きな食べ物は何か。
—彼女の好きな食べ物はお寿司です。
- (2) ボールは何が嫌いですか。
—彼はしいたけが嫌いです。

- ② もう一度聞いて、空所を埋めなさい。それから、ボールとカレンの役を演じなさい。

P:好きな食べ物は何か、カレン?
K:お寿司が大好き。特にイクラが大好物よ。あなたは?
P:ハンバーガーが好きだな。毎日食べられたらいいのと思うよ。何か苦手な食べ物はある?
K:ひどく嫌いなものはないよ。ただ、納豆はあまり好きじゃないね。
P:ほく自身は、納豆は好きだよ。でも、しいたけは嫌いだな。

Retelling

ボールとカレンが、好きな食べ物、嫌いな食べ物について話している。カレンはお寿司が大好きで、ボールはハンバーガーが好きだ。カレンは納豆があまり好きではない。ボールは納豆は好きだが、しいたけは嫌いだ。

Express Yourself!

- 1** ペアで活動しなさい。好きな食べ物、嫌いな食べ物について、対話を作りなさい。
◆準備として、下の欄にキーワードを書いてもよろしい。
- 2** グループで活動しなさい。生徒 A, B が生徒 C, D に対話を見せましょう。生徒 C, D は、それについて質問をするか、意見を述べましょう。(その後役割を交代しなさい。)

Express Your Opinion

料理は好きですか。それはなぜですか。

Lesson 12 My Sister's Job

CD II-19



CD II-20

① My sister Sato, **who** lives in Chiba, is an engineer. ② She works for a company **that** makes industrial robots. ③ This is a picture of the office **in which** she is now working. ④ She sometimes tells me about her job, **which** makes me want to have a job of my own someday.

① 姉のサトは千葉に住んでいますが、技術者です。② 姉は産業用ロボットを作る会社に勤めています。③ これは姉が今働いている職場の写真です。④ 姉はときどき仕事について話してくれますが、そのことは私に、いつか自分自身の仕事をもちたい気持ちにさせてくれます。

- (1) What does the writer's sister do? 筆者のお姉さんの仕事は何ですか。
 (2) How does the writer feel when he hears his sister talk about her job? お姉さんが仕事について話をするのを聞くと、筆者はどう感じますが。

CD II-21, 22

Listen and Answer

*The writer of the passage is a boy.
 *文章の筆者は男子です。

- (1) She is **an engineer**.
 彼女は技術者です。
 (2) He wants **to have a job of his own someday**.
 いつか自分も仕事をもちたいと思います。

Read Aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (→ p. 8)
 ペアで活動しなさい。互いの読みを評価しなさい。

① Fluency 流ちょうさ	② Pronunciation 発音	③ Attitude 態度	Total 合計

Tips for Expression

- 「～する人/物」などは、関係代名詞 (who, which, that, etc.) を用いて表す (→ ②)。
- 関係代名詞が前置詞の目的語になる場合に注意 (→ ③)。
cf. She is now working in the office.
- 関係代名詞が補足の説明を導く場合がある (→ ①④)。この場合、関係詞の前にコンマ (,) を置く (主に書きことばで用いる)。④は、関係代名詞が前の節の内容を受けている。

CD II-23

Think and Express! A

Look at the pictures and complete the sentences. Use "who," "which," or "that."
 絵を見て文を完成させなさい。who, which, または that を用いなさい。



- (1) The police officer **who gave me directions** was friendly. [He gave me directions.]
 私に道順を教えてくれた警官は親切だった。
 (2) Sue bought the jacket **which she had been saving money for**. [She had been saving money for it.]
 スーはそのために貯金していたジャケットを買った。
 (3) This is the only bus **that goes to Arashiyama**. [It goes to Arashiyama.]
 これは嵐山に行く唯一のバスです。
 (4) Ray tried to **open the door, which was impossible**. [However, that was impossible.]
 レイはそのドアを開けようとしたが、無理だった。

Can-do! **表現** 「～する人/物」や、「人/物」についての補足説明を、関係代名詞を用いて表現できる。
 話題 将来の仕事や家族のことについて、英語で表現できる。

Think and Express! B

スクリプトについては、p.47を参照。

1 Listen to the passage and answer the following questions. *The speaker is a girl.
 文章を聞いて、次の質問に答えなさい。*話し手は女子です。

CD II-24, 25

- (1) What is the speaker's dream?
 話し手の夢は何ですか。
 (It is) to become/(She dreams of becoming) a novelist. 小説家になることです。
 (2) Which novelist does the speaker say she respects?
 話し手はどの小説家を尊敬していると述べていますか。
 (She respects) Akutagawa Ryunosuke. (彼女は)芥川龍之介(を尊敬しています)。
 (3) Besides reading, what does the speaker do to prepare for her career?
 読書以外に、話し手は自分のキャリアに備えるために何をしていますか。
 She watches movies and dramas. 彼女は映画やドラマを見ています。

CD II-26

2 Listen to the passage again and write down the key words. もう一度文章を聞いて、キーワードを書きなさい。

Ex.) novelist, Akutagawa, respect, touch, hearts, writing career, movies and dramas

3 Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

絵を見て、上で書いた単語を使いながら、文章をリテリングしなさい。
 (You do not have to reproduce the passage exactly.) (文を正確に再現する必要はありません。)



You can refer to the passage on p. 47 if necessary.
 必要ならば、p.47 の文章を参照してもよろしい。

Express Yourself!

CD II-27

1 Write a passage of two or more paragraphs to introduce a family member, a friend, or an acquaintance.

para. 1 でその人を紹介し、para. 2 (以降) で具体的なエピソードなどを述べてみよう。

I have a sister who studies jazz in New York City. She goes to a college that is famous for its jazz program. She sometimes feels homesick, but generally she seems to enjoy life in New York.
 You can watch some videos of her performances on the Internet. I think she is still perfecting her style, but she has a fairly good reputation even now. I hope you will encourage her by watching her videos.

(75語)



2 Work in pairs. Read the passage aloud and talk about it with each other.
 ペアで活動しなさい。文章を声に出して読み、それについて話し合いなさい。

Lesson 5 Studying Abroad

CD III-24



CD III-25

計画・意図を述べる

Model

<dialog>

Meg: I hear you're **planning to go abroad** this summer.

Yuta: Yes, I'm **going to study English** in a foreign country for a month or so.

Meg: Which country are you **thinking of going to**?

Yuta: I haven't made a final decision, but I've **decided to go to either Australia or Canada.**

Meg: I'm sure you'll find either country very nice.

メグ：今年の夏に海外に行く計画を立てているそうね。

ユウタ：ああ、1か月ほど外国に行って英語を勉強するつもりだよ。

メグ：どこの国に行こうと考えているの？

ユウタ：最終的な決定はしていないけれど、オーストラリアかカナダのいずれかに行くことに決めているんだ。

メグ：きっとどちらの国もとてもいいところだと思うでしょう。

Listening Quiz 1. (T)・F 2. T・(F) 3. T・(F)

CD III-26, 27

CD III-28

Expressions for < Plans and Intentions >

- I'm **leaving** for Beijing tonight.
- We're **going to** attend the meeting.
- I'm **thinking of** studying art in college.
- Yui is **planning to** take a night train.
- I **meant to** buy eggs, but I forgot.
- Sam **intends to** be an architect.
- I've **decided to** take the exam.

- 今晚北京に向けて出発します。
- 私たちはその会合に出席するつもりです。
- 大学では美術を勉強しようと考えています。
- ユイは夜行列車に乗る計画を立てている。
- たまごを買うつもりだったが、忘れた。
- サムは建築家になるつもりです。
- その試験を受けることに決めました。

Note 1の<be ~ing>は近い未来の予定や取り決めを、2の<be going to ~>は前から考えている予定・計画を表す。5のmeanは6のintendよりも意味が弱く、くだけた表現。

CD III-29

Think and Express! (A)

Look at the pictures and make sentences using the [Expressions] above.

絵を見て、上の[Expressions]を用いて文を作りなさい。



- Rika and Miki **are going to have dinner together tomorrow**[are going out to a restaurant tomorrow].
リカとミキは明日いっしょに夕食をとる[外出してレストランに行く]つもりです。
- Mr. Parker **is thinking of going to Hawaii for the winter vacation**[is planning to spend his winter vacation on sunbathing in Hawaii].
パーカー氏は冬休みにハワイに行こうと考えている[ハワイで日光浴をして過ごす計画を立てている]。
- Jane **is planning to go hiking**[is going on a picnic] next Saturday, but if it rains, she will play video games at home[*she will stay home*].
ジェーンは今度の土曜日にハイキングに行く計画を立てているが、もし雨が降ったら、家でテレビゲームをしようと思っている[ピクニックに行くつもりだが、もし雨が降ったら、家にいるつもりだ]。

A Sample Teaching Procedure for an ALT

1 Roll call

◆ Good morning[afternoon], everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.

2 Warm-up

1. Tell students about studying abroad.

One of my friends, an English teacher, is planning to go abroad to study. To teach English, English teachers need to keep studying English. There are many books and other materials we can use to study English in Japan, but staying in an English-speaking country might be the most effective and exciting way to strengthen our English. Some of you may be thinking of studying abroad during your college years, and some of you may already have been abroad for your elementary or junior high school education. Such experiences are precious for all of us.

2. Ask a couple of students about whether they want to study abroad or not.

◆ T: Now I would like to ask some of you about whether you want to study abroad someday or not. [Name], do you want to study abroad someday?

S: Yes. I want to study music in Italy in the future.

T: Oh, that's good. Thank you. And do you want to study abroad someday, [Name]? ...

3 Model <dialog>

1. Have students listen to the dialog a few times.
◆ Now please listen to the dialog twice without looking at the textbook.

2. Have students answer the listening quizzes.

◆ Let's work on *Listening Quiz*. Listen to the three sentences about the dialog, and show me whether each sentence is true or false. Hold up your textbooks. If you think the answer is true, show me the front cover of your textbook. If you think it is false, show me the back cover. All right?

Listening Quiz

1. Yuta is planning to study English abroad this summer. (T)

2. Yuta has stayed in a foreign country for about a month. (F)

3. Yuta would rather go to Australia than Canada. (F)

3. Have students practice the dialog.

◆ Now open your textbooks to p. 74. Listen to the dialog and repeat each sentence. (Students repeat.) OK, make pairs and practice the dialog with your partner.

4. Explain words and phrases to students.

◆ Now, let's look at some of the useful expressions. Yuta says "for a month or so." This means "for about a month" or "for one month or two." Yuta also says "I haven't made a final decision." This means he is still thinking and hasn't decided yet.

4 Expressions for <Plans and Intentions>

1. Have students listen to and repeat each expression.

◆ Let's go on to *Expressions*. Repeat after me. (Read each sentence and make students repeat it.)

◆ [Name], read sentence 1.

2. Call on some of the students and have them say the sentences.

◆ Cover the left side (English side) of *Expressions* with something. You should read the Japanese sentences and then translate them into English. Let's practice.

◆ [Name], say sentence 1 without looking at it in the textbook.

3. Explain words and phrases.

◆ Let's look at the verb "take" in *Expressions*. Look at No.4 "take a night train." You can take a bus, a taxi, or a plane. You can also say "catch a train, a bus, and so on." Look at No.7 "take the exam." You can also say "have the exam" or "sit for the exam." However, don't say "receive the exam," which is a direct translation from the Japanese phrase.

5 Think and Express! (A)

1. Have students answer the questions.

Note: Explain the situation described in each picture if necessary.

◆ Look at the pictures and complete the sentences. Use the expressions you have learned on p. 74. In picture (1), the two girls are talking about having dinner tomorrow. In picture (2), Mr. Parker will go somewhere for the winter vacation. In picture (3), Jane has a plan to do some outdoor

BIG DIPPER I, II TEACHER'S MANUAL 付属 教授用データ一覧

※教授用データの一部は、弊社HPからダウンロードによってご用意する場合もあります。

BIG DIPPER 教授用データ・形式・概要 一覧

収録データ	形式	概要
教科書紙面PDF	PDF	教科書の紙面PDFデータ
Teacher's Book紙面PDF	PDF	Teacher's Bookの紙面PDFデータ
プレゼンテーション用スライド	Power Point	本課の例文などの提示のほか、音声も流せる授業用スライド Googleスライド形式もダウンロードで追加ご用意!
本文データ	Word	教科書紙面のWordデータ
解答(例)	Word	教科書の各演習問題や活動の解答(例)
音声スクリプト	Word	教科書掲載のリスニング問題の音声スクリプト
本文和訳例	Word	教科書掲載の例文の和訳例
提出用シート	Word	教科書の各演習問題や活動の解答を書き込めるシート
PART 1ハンドアウト	Word	PART 1の文法事項をまとめた補助プリント
問題演習シート	Word	Let's Use It!, Think and Express Aを空所補充形式にしたシート
ヒント付き提出シート	Word	教科書の各演習問題や活動について適宜ヒントを掲載した提出用解答シート
ディクテーションシート	Word	教科書のリスニング・スクリプトを利用したディクテーション問題のシート
定期考査用リスニング問題	Word	定期考査用に利用できるリスニング問題
評価問題	Word	定期考査用に利用できる演習問題
補充問題	Word	各課で学習した内容を確認できる問題
暗唱例文集	Word	教科書に出てくる表現の定着を図る暗唱例文集
単語学習シート	Word	本課掲載語句をまとめたリスト
Words & Phrases	Word	教科書Words & Phrasesのデータ
ワークブック(準拠教材)	Word	準拠教材『ワークブック』のデータ
レッスンブック(準拠教材)	Word	準拠教材『レッスンブック』のデータ
観点別評価など	Word Excel	観点別評価基準例、教科書の特色、年間指導計画案を収録
Can-Doリスト	Excel	各学年における4技能5領域別学習到達目標
指導手順案	Word	教科書本課の指導手順案
ルーブリック評価表	Excel	教科書掲載のルーブリック評価表
参考書・文法テキスト対応表	Excel	当社発行の文法参考書との文法事項についての対応表
数研Test Master (Iのみ)		文法テスト作成システム
Googleフォーム/ Microsoft Forms	Excel	オンラインで管理可能なフォーム形式の小テスト ※弊社HPからのダウンロードによってご利用方法などをご案内いたします。

● Googleスライド / Googleフォーム・Microsoft Forms (小テスト) の画面の一例



▲Googleスライド

▲Googleフォーム

▲Microsoft Forms

付属DVD-ROM: 教科書を有効に活用するための豊富なデータを収録



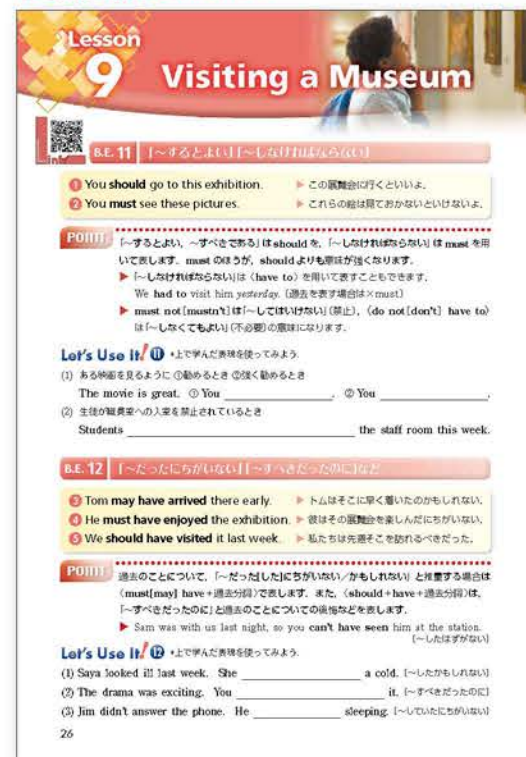
解説動画の詳細はこちら!

QRコードからアクセスできる「解説動画」とともに、レッスンの内容理解を深めます。

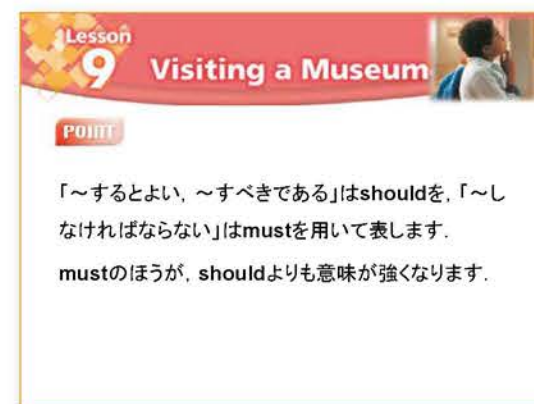
▶解説動画 p.7

付属DVD-ROM データ紙面の一例

① 教科書紙面PDFデータ



② プレゼンテーション用スライド



③ Teacher's Book紙面PDFデータ



①教科書紙面データ
②プレゼンテーション用スライド
対面・リモートでの授業にお役立ていただけます。プレゼンテーション用スライドでは音声も利用できます。
※PowerPointに加えてGoogleスライド形式でもご用意!
③Teacher's Book紙面PDFデータ
教授資料に付属するTeacher's BookのPDFデータです(英文の和訳・解答例・スクリプト・PART 2 指導手順案を掲載)。ご授業の準備にお役立ていただけます。

教授資料・付属データ

④ 本文 2 ページめ

(p. 27)
Think and Express!
A Look at the pictures and complete the sentences. Use the words below.
(1)(2) → B.E. 11, (3)(4) → B.E. 12
*(1)(2) should, must, have to, (3)(4) <may/must, should>+have+過去分詞 を使ってみよう。

(1) We _____ . The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. _____ the bus.
(4) _____ more before the concert.

B Express yourself! ▶ Tell what happened and give your conclusion.
Ex.) John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy. She had walked about five kilometers, so she *must have been* very tired. I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

Interact and Produce
1 Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.

2 Work in pairs. Refer to 1 and reproduce the dialog.
Lily: _____ to Ueno Zoo?
Takumi: No, _____ there.
L: It's great. You _____.
T: _____ in the zoo do you like best?
L: I love the pandas. You _____ . They are so cute.
T: Pandas? I've always _____ !

3 Work in groups.
a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in 2 and present it to students C and D.

⑥ ハンドアウト

Lesson 9 Visiting a Museum (pp. 26-27)

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならぬ」 助動詞 should / must

① 助言・義務を表す should: 「～するとよい、～すべきである」
この展覧会に行くといいよ。
→ You _____ to this exhibition.

② 必要・義務を表す must: 「～しなければならぬ」
これらの絵は見ておかないといけないよ。
→ You _____ these pictures.

◆ must のほうが should よりも意味が強くなります。
◆ 「～しなければならぬ」は <have to> を用いて表すこともできます。
We **had to** visit him *yesterday*. (過去を表す場合は <must>。
(私たちは昨日彼を訪ねなければならなかった。))
◆ must not/mustn't は「～してはいけない」【禁止】。<do not/don't have to> は「～しなくてもよい」【不必要】の意味になります。

B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など 助動詞 + have + 過去分詞

③ 過去のことについての推量を表す <may+have+過去分詞>:
トムはそこに早く着いたのかもしれない。
→ Tom _____ there early.

④ 過去のことについての推量を表す <must+have+過去分詞>:
彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
→ He _____ the exhibition.

⑤ 過去のことについての後悔・非難を表す <should+have+過去分詞>:
「～すべきだったのに」

⑤ 解答・解説

Lesson 9 Visiting a Museum [解答・解説] (pp. 26-27)

■ Let's Use It! 解答
① ① (1) should see/watch it (2) must see/watch it
② must not/mustn't enter / should not/shouldn't enter
② (1) may have had (2) should have watched/seen (3) must have been

■ DRILL 解説
A. ① (1) 「助言」を表す should を用いる。② より意味が強い「必要」を表現する must を用いる。
② 「禁止」を表す must not/mustn't を用いる。それよりやや意味の弱い「否定の助言・義務」を表現すると考えて、should not/shouldn't としてもよい。また、enter the staff room (職員室に入る) のコロケーションに注意。
B. (1) 「～かもしれない」の may に have+過去分詞 を続ける形。
(2) 「～すべきだ」の should に have+過去分詞 を続ける形。動詞は watch または see を用いる。
(3) 「～にちがいない」の must に have+過去分詞 を続ける形。<have been doing> と、進行形の場合は be が過去分詞となる。

■ Think and Express! 解答
[A] (1) must/have to, should hurry (2) mustn't/shouldn't touch
(3) He may/must have missed (4) [The girl] should have practiced
[B] Risa said she wanted to go to the library, so she may have been there.
Tom had been swimming for about two hours, so he must have been satisfied.
I made a serious mistake at the piano contest. I should have practiced the piano harder.

■ Think and Express! 解説
[1] 写真やイラストから場面・状況を考え、[] に示された動詞を使って文を作る。
(1) 「もうすぐ会費が始まる」という状況から「急がないといけない」という文を作る。話し手の気持ちにより must, have to, should のいずれを用いてもよい。
(2) 「(美術館で) 展示品に触れてはいけない」という文脈から、「禁止」を表す mustn't、または shouldn't を用いる。
(3) ボブはまだ到着していない状況から、過去のことについて「～だった [した] かもしれない [ちがいない]」と推量する <may/must>+have+過去分詞 を用いる。
(4) コンサートでうまく演奏できなかった様子から、過去のことについて「～すべきだったのに」と後悔を表す <should+have+過去分詞> を用いる。

④ 本文
テストやプリント類の作成用データです。本課に加え、Express It Logically などのデータも収録しています。イラスト等を用いた問題には、イラスト等のデータも掲載しています。

⑤ 解答・解説・スクリプト・和訳
教科書の問題の解答と各小問の解説を載せています。また、スクリプトと和訳のデータも、それぞれファイルに分けて用意しています。

⑥ ハンドアウト
PART 1 の文法解説をまとめた補助プリントです。文法事項のinput を促します。また、output の時間を確保する場合にも活用できます。



データサンプルはこちら!

補助プリントで授業展開をきめ細やかにサポート!

⑦ 提出用シート (解答なし)

Lesson 9 Visiting a Museum [提出用シート] (pp. 26-27)

Let's Use It! 11
(1) The movie is great. ① You _____ . ② You _____ .
(2) Students _____ the staff room this week.

Let's Use It! 12
(1) Saya looked ill last week. She _____ a cold.
(2) The drama was exciting. You _____ it.
(3) Jim didn't answer the phone. He _____ sleeping.

Think and Express!
A (1) We _____ . The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. _____ the bus.
(4) _____ more before the concert.

Interact and Produce
Lily: _____ to Ueno Zoo?
Takumi: No, _____ there.
L: It's great. You _____ .
T: _____ in the zoo do you like best?
L: I love the pandas. You _____ . They are so cute.
T: Pandas? I've always _____ !

Class No. Name

⑦ 提出用シート (解答なし)

問題演習の解答を記入して提出するためのシートです。ノート作りにも役立ちます。また、解答例付きのシートもありますので、自学自習での答え合わせにも対応できます。

⑧ 問題演習ヒント付き解答シート

PART 1 の問題演習を空所補充形式にして、解答しやすくしたシートです。文法事項の定着用の問題演習としても活用できます。

⑨ 表現活動用提出シート

Interact and Produceなどの表現活動につき、無理なく取り組めるように、語句のヒントをつけるなどした提出用シートを用意しました。

ほか、⑩ディクテーション用シート ⑪暗唱例文集 ⑫単語熟語学習シート もご用意しています。

⑧ 問題演習ヒント付き解答シート

Lesson 9 Visiting a Museum [問題演習シート] (pp. 26-27)

Let's Use It! 11
日本語で書かれた状況に合うように、() 内に適切な 1 語を入れなさい。
1) ある映画を見るように ① 動めるとき ② 強く 動めるとき
The movie is great.
① You () () it.
② You () () it.
2) 生徒が職員室への入室を禁止されているとき
Students () () () the staff room this week.

Let's Use It! 12
() 内に適切な 1 語を入れなさい。
1) Saya looked ill last week. She () () () a cold. [～したかもしれない]
2) The drama was exciting. You () () () it. [～すべきだったのに]
3) Jim didn't answer the phone. He () () () sleeping. [～していたにちがいない]

Think and Express!
イラストの内容に合うように、[] の語を使って () 内に適切な 1 語を入れなさい。
A (1) ② → B.E. 11, ③ ④ → B.E. 12 * 1) ② should, must, ③ ④ <may/must, should>+have+過去分詞 を使ってみよう。

1) We () () . The meeting will begin soon.
2) You () () () the museum exhibits.
3) Bob hasn't arrived yet. He () () () the bus.
4) I () () () () more before the concert.

Class No. Name

⑨ 表現活動用提出シート

Lesson 9 Visiting a Museum [Interact and Produce 活用シート] (p. 27)

① Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.

② Work in pairs. Refer to ① and reproduce the dialog.
Lily: _____ to Ueno Zoo?
Takumi: No, _____ there.
L: It's great. You _____ .
T: _____ in the zoo do you like best?
L: I love the pandas. You _____ . They are so cute.
T: Pandas? I've always _____ !

③ Work in groups.
a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in ② and present it to students C and D.
b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)

Hint 動物園のほか、野球場・映画館・美術館などの場所・施設について行ったことがあるか、尋ねてみよう。また、その場所・施設において、should (～するとよい) や、must (～しなければならぬ) と考えられることを挙げてみよう。教科書の Words & Phrases に載っている[場所・施設]などの語句も参考になるだろう。
[場所・施設] ⇒ Words & Phrases p.69

Class No. Name



シラバス作成用資料はこちら!

13 基本問題

Lesson 9 Visiting a Museum [基本問題] (pp. 26-27)
1) 日本語に合うように、()内に適切な1語を入れなさい。
(1) この展覧会に行くといよいよ。 You () go to this exhibition.
(2) これらの絵は見ておかないといけな。 You () see these pictures.
(3) 私たちは昨日彼を訪ねなければならなかった。 We () () visit him yesterday.
(4) この映画は素晴らしい。見るほうがいいよ。 The movie is great. You () see it.
(5) 今週、生徒は職員室に入ってはいけません。 Students () () enter the staff room this week.
2) 日本語に合うように、()内に適切な1語を入れなさい。
(1) トムはそこに早く着いたのかもしれない。 Tom () () () there early.
(2) 私たちは先週そこを訪ねるべきだった。 We () () () it last week.
(3) サムは昨夜私たちといっしょにいたので、あなたが彼を駅で見かけたはずはありません。 Sam was with us last night, so you () () () him at the station.
(4) サヤは先週気分が悪そうだった。かぜをひいていたのかもしれない。 Saya looked ill last week. She () () () a cold.
(5) ジムは電話に出なかった。寝ていたのかもしれない。 Jim didn't answer the phone. He () () () sleeping.
Class No. Name

14 応用問題

Lesson 9 Visiting a Museum [応用問題] (pp. 26-27)
1) Choose the suitable one.
(1) We've been working all day, so we (should / shouldn't) have a break.
(2) We (must / shouldn't) eat more vegetables. They are good for our health.
(3) You (mustn't / don't have to) bring your umbrella. The forecast says it will be sunny today.
(4) If you don't have a license, you (mustn't / don't have to) drive a car.
(5) Mike (must / had to) finish a lot of work yesterday.
2) Choose one of the following words and complete the sentences. Use "may," "must," "should," or "cannot." [attend / have / miss / study]
(1) Ann has not come to school yet. She () () () the train.
(2) I () () () harder before the exam. I got a bad score.
(3) He left his office late last night. He () () () a lot of work to do.
(4) Jun () () () the soccer game yesterday. He had an examination.
3) Express the following in English.
(1) 私は明日の朝、5時に起きなければいけません。
(2) 目覚まし時計をセットする (set the alarm clock) のがよいでしょう。
Class No. Name

16 観点別評価規準例・集計表: 3観点に基づく評価を記入, 平均値を自動集計します。

BIG DIPPER English Logic and Expression I 観点別評価規準例
PART 1 評価の観点 ※「言語活動の領域」に関しては、各課とも「話す(やりとり)・話す(発表)・書く」を中心に、「聞く・読む」を関連づけて扱う。
L 学習内容 担当時間 学習のねらい
1) はじめに① 「はじめに」 「はじめに」 「はじめに」
2) はじめに② 「はじめに」 「はじめに」 「はじめに」
3) はじめに③ 「はじめに」 「はじめに」 「はじめに」
4) My...
集計表: 観点別評価規準例の項目に対する評価の集計
A: 目標が十分達成できている / B: 目標がある程度達成できている / C: 目標が達成できていない

教授資料・付属データ

教授資料・付属データ

15 補充問題

Lesson 9 Visiting a Museum [補充問題] (pp. 26-27)
◆ 次の文を英語に直しなさい。
(1) 君は彼のアドバイスに従う (follow) ほうがよいです。
(2) 私たちは交通ルール (traffic rules) を守る (obey) べきです。
(3) 君は明日までにレポートを提出し (hand in) なければなりません。
(4) あなたは約束を破ってはいけません。
(5) 私たちは電車の中で携帯電話を使用してはいけません。
(6) 今日、この仕事をしなければなりませんか、—いいえ、その必要はありません。
(7) 寝坊した (oversleep) ので、駅まで走って行かなければならなかった。
(8) サキはまだ到着していない。彼女は違うバスに乗ったのかもしれない。
(9) かばんの中に教科書が見当たらない。部屋に置いてきたのかもしれない。
(10) 全てのチケットは発売です。先週買っておくべきでした。
(11) 彼は今、ニューヨーク (New York) にいます。あなたが東京で彼を見かけたはずはありません。
Class No. Name

Part 1・2の本課について、次の3種類の問題データを収録しています。テスト作成の素材としても活用可能です。

13 評価問題 (基本問題)
本文の用例を使った反復練習問題。基礎の定着に最適です。

14 評価問題 (応用問題)
各課で学ぶポイントを含んだ応用問題。本冊の問題の類間で力試しができます。

15 補充問題
教授資料本冊に掲載した補充例文を含む英作文問題。学習ポイントをさらに定着させ、表現の幅を広げることができます。

17 準拠ワーク類の本文・解答 / 18 関連教材との対応表

ワークブック (復習用ワーク)・レッスンブック (文法テキスト) の本文・解答データをご用意しました。教科書・準拠ワークの問題を用いて「数研テストマスター」でのテスト作成も可能です。また、関連教材 (参考書シリーズ) との学習ポイントの対応表も収録しています。

Lesson 9 Visiting a Museum
B.E.11 「～するとよい」「～しなければならない」助動詞 should / must
① You () go to this exhibition. この展覧会に行くといよいよ。
② You () see these pictures. これらの絵は見ておかないといけな。
① should 「～するとよい、～すべきである」(助言・義務)
② must 「～しなければならない」(必要・義務) ※ 意味の強さは must > should.
◇ I have to 「～しなければならない」(必要・義務) 例 I had to get up early yesterday.
do not / don't have to 「～しなくてもよい」(不必要) 例 You don't have to hurry.
◇ 2 must not / mustn't 「～してはいけない」(禁止) 例 You mustn't talk loud in the library.
B.E.12 「～だったのちに」「～すべきだったのに」など助動詞 + have + 過去分詞
③ Tom () () () there early.
トムはそこに早く着いたのかもしれない。
④ He () () () the exhibition.
彼はその展覧会を楽しんだのちにない。
⑤ We () () () it last week. 私たちは先週そこを訪ねるべきだった。
③ (may + have + 過去分詞) 「～だった [した] かもしれない」
④ (must + have + 過去分詞) 「～だった [した] のちにない」
⑤ (should + have + 過去分詞) 「～すべきだったのに」
◇ 3 (can't / cannot + have + 過去分詞) 「～したはずがない」
例 Kenta is such an honest boy. He can't have told a...
CHECK
日本語に合うように、()に適切な語を入れてみよう。
(1) ~④→B.E.11, ⑤~⑦→B.E.12
1) You () be quiet in the hall. (静かにしなければならぬ)
2) You () believe her words. (信じるべきだ)
3) I () () clean my bike yesterday. (掃除しなければならなかった)
4) You () enter the building with your pet. (入ってはいけない)
5) She looks happy. Something good () () happened to her.

Table with columns: Chapter/Unit, BIG DIPPER English Logic and Expression I, 21世紀型英単語. Rows include grammar points like 'Basic English Sentences 1', 'Basic English Sentences 2', 'Number/Quantity/Verb forms', 'Fixed text/Reading', 'Future tense', and 'Present perfect/Completed'.



チャート式シリーズ

BIG DIPPER

ビッグ・ディッパー高校英語
元 関西学院大学教授 田中 実 監修



参考書の詳細はこちら！

◆英文法の基礎を無理なく学べる

—好評の『LEARNERS'高校英語』が新しく生まれ変わりました！

A5判 / 480頁 / 別冊解答 (56頁) / 暗唱例文集 (40頁) / 基本例文書き込みノート (56頁)
※Essence of Expression [表現のエッセンス] (40頁) でさらに教科書との連携を強化！
数研TestMaster / 別売音声CD 完備 [音声ダウンロードも可能]

◆QRコードから以下の活動が可能！

例文音声のリスニング / <数研発音マスター>を用いたスピーキング練習

◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ (レディメイドタイプ) がご利用いただけます。

導入ページ

中学校の復習から段階的に学習を深めていきます

例題により理解の定着を確認します

導入部分では、親しみやすい対話形式の解説を取り入れています

参考書・準拠教材

101

第5章 助動詞

この章で学ぶこと

1 can / could 102	5 shall / will / would 111
2 may 104	6 used to 115
3 must / have to 106	7 (助動詞 + have + 過去分詞) 117
4 should 109	

助動詞とは...

例えば can 「～できる」のように、動詞の前におかれ、動詞だけでは表せない意味をつけ加えて動詞を助ける働きをするものを助動詞といいます。

Play Back!

下の□内から適当な語を1つずつ選び、文を完成しよう。

- Hina [] run very fast.
(ヒナはとても速く走ることができます。)
- [] I sit here?
(ここに座ってもよろしいですか。)
- You [] go home at once.
(君はすぐに家に帰らなければなりません。)
- Young people [] see that movie.
(若い人たちはあの映画を見るべきです。)

may, can, should, must

助動詞の特徴

- 動詞の原形がすぐ後にくる。
Nancy can swim. (×can swims) (ナンシーは泳げます。)
原形
- 主語の人称・数による変化がない。
He may be tired. (×mays) (彼は疲れているのかもしれない。)
- 否定文は(助動詞 + not)。
You must not take pictures here.
(ここで写真を撮ってはいけません。)
疑問文は(助動詞 + 主語 + 動詞の原形～?)
Can you join the party? (パーティーに参加できますか。)

確認ドリル

< >内の意味になるように、下の□内から助動詞を選び、文を完成しよう。(同じ助動詞を2度使ってもよい。) →p.103

- Aya plays the piano.
Aya () () the piano. <～できる>
- Ken knows her name.
Ken () () her name. <～かもしれない>
- That boy is Tsubasa.
That boy () () Tsubasa. <～にちがいない>
- The students leave now.
The students () () now. <～してもよい>
- You brush your hair every day.
You () () your hair every day. <～すべきだ>

must, can, may, should

上の can, may, must, should などが助動詞ですね。

動詞の前について「～できる」とか「～してもよい」とかの意味を表すんですね。

そうだね。助動詞は動詞に話し手の判断や気持ちなどの新たな意味を加えて、動詞を助けているんだ。後にくる動詞は必ず原形になることに注意しよう。それと、助動詞は動詞の仲間だけど、主語によって形が変わることがないという点にも注意が必要だね。

○ Hina can run very fast.
(原形)

× Hina cans run very fast.

次ページの(助動詞の特徴)を
しっかり確認しておこう!

Play Back! ①can ②May[Can] ③must ④should[must]

簡潔なまとめで、理解を整理します

導入部分でのおさらいとして「確認ドリル」でチェックします

参考書・準拠教材

- ◆「4技能」に活かせる基礎力の育成に最適の内容。
- ◆シンプルでわかりやすい例文，豊富な図解やイラストで，無理なく理解を深めることができます。

QRコードから「暗唱例文音声」にアクセスできます
 ◆小社発音判定アプリ「数研発音マスター」で，音読・発話練習もバッチリ

基本的で理解しやすい
 英文：教科書『BIG DIPPER 論理・表現 I』と連携しています

基本から発展へ，解説を段階的に深めていきます。共通テストの準備として必要十分な内容を扱うようにしています

How to Use It (こんなふうに使う！)では，学習した文法事項を，実際の表現につなげるヒントを示しました

102 第5章 ● 助動詞
p.102~p.118
103

1 can / could

A 「～できる」〈能力・可能〉

◦ Mr. White **can** speak five languages. 53
(ホワイト先生は5か国語を話せる.)

- ▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(=～できる)の意味を表す。
- ▶ **Can you ride a bike?** — Yes, I **can**. / No, I **can't**. 〈能力〉
(あなたは自転車に乗れますか。—はい，乗れます。/いいえ，乗れません。)
- ▶ 否定形は **cannot** (can notは使われない)。会話では **can't** がよく使われる。
- ▶ Lucy **cannot** [can't] **swim**. (ルーシーは泳げません。)
- ▶ **Can you come at ten?** 〈可能〉 (10時に来ることができますか。)

注意! **〈be able to + 動詞の原形〉「～できる」**

「～できる」は **〈be able to + 動詞の原形〉**でも表せる。現在形ではふつう **can** を使う。

Bob **is able to** (= can) **swim** fast. (ボブは速く泳ぐことができる。)

次の場合は **can** の代わりに **〈be able to〉** を使う。ほかの助動詞といっしょに使う場合 **×will can** のように，助動詞を2つ重ねて使うことはできない。

- 過去「(実際に)できた」
- ▶ John helped me, so I **was able to finish** the homework.
(ジョンが手伝ってくれたので，私は宿題を終えることができた。) 〈実際にできた〉
- ▶ ① **could** も「～できた」を表すが，ふつう「～する能力があった」の意で使う。
 ② 「～できなかった」は **couldn't / wasn't [weren't] able to** の両方可。
- 未来「～できるようになるだろう」，完了形「(ずっと)～できている，など」
- ▶ The baby **will be able to walk** soon. (その赤ちゃんはすぐに歩けるようになるだろう。)
- 助動詞といっしょに使う場合
- ▶ I **may be able to arrive** earlier. (もっと早く着くことができるかもしれない)

How to Use It
 こんなふうに使う!

失礼でない「～できますか」の尋ね方

言語や演奏・スポーツなどの能力を問うときに，**Can you ~?** は，相手の能力をあらかじめ尋ね，無遠慮な感じを与えるので，**Do you ~?** を使うことが多い。

Do you speak Japanese? (あなたは日本語を話しますか。)

B 「～してもよい」〈許可〉

◦ We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい。) 54

- ▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
- ▶ You **can** stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)
- ▶ **Can I / we ~?** は「～してもいいですか」と〈許可〉を求める表現。
 否定形は「～してはいけない」〈軽い禁止〉。
- ▶ **Can I talk to you now?** — Sure. (今話をしてもいいですか。—いいですよ。)
- ▶ **Could I / we ~?** は「～してもよろしいでしょうか」とていねいに〈許可〉を求める表現。
- ▶ **Could I ask you a question?** — Of course, you **can** (×could).
(質問をしてもよろしいでしょうか。—もちろんです。)
- ▶ 受け答えは，**could** ではなく，**can** することに注意。

C 「～してくれませんか」〈依頼〉

◦ **Can you show me your textbook?** — Of course. 55
(教科書を見せてくれる?—もちろんいいよ。)

◦ **Could you (please) show me your dictionary?** 56
 — Sure. Here you are.
(辞書をちょっと見せていただけますか。—いいわ。はい，どうぞ。)

- ▶ **Can you ~?** は「～してくれませんか」という〈依頼〉の意味を表す。
- ▶ **Could you ~?** は「～していただけますか」とていねいに〈依頼〉をする表現。
 →下の **How to Use It**

How to Use It
 こんなふうに使う!

お願いします!

人に何か頼みごとをするときには，友達になら **Can you ~?**，年上の人や初対面の人には **Could you ~?** を使うとよい。過去形の **could** を使うと，現実から離れた感じが出せ，言い切ることを避けた，より控えめな表現になる。→仮定法 p.277

◦ **Could you do me a favor, Ms. Chan?** — Of course.
(チャン先生，お願いがあるんですが。—いいわよ。)

Can you do me a favor, Ken? — OK.
(ケン，頼みがあるんだけど。—いいよ。)

How to

・誤答チェック (よく見られる誤りと正答からの注意喚起)
 ・Step Up (発展的な文法事項の学習)
 ・English in Real Situations (文法事項の実用例) などのコラムも充実しています

章末問題での豊富な文法演習に加え，資格・検定試験に通じる問題も適宜扱っています

別冊 Essence of Expression [表現のエッセンス]

- ◆教科書BIG DIPPER English Logic and Expression I, PART 1の文法事項をおさらいできる冊子です。
- ◆教科書の例文に参考書の解説を補足し、教科書との連携学習を強化します。

Lesson 8 Our Teachers

B.E. 9 「～できる」「～してもよい」 pp.102～104

1 Mr. White can speak five languages. ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。

2 We can use his dictionaries. ▶ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。

3 May I study here? — Yes, certainly. ▶ ここで勉強してもよろしいですか。— ええ、かまいません。

1 can / could

A 「～できる」(能力・可能) → ①

▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(～できる)の意味を表す。

Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. (能力)
(あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/いいえ、乗れません。)

▶ 否定形は cannot (can not)が使われない。会話では can't がよく使われる。

How to Use It
こんなふうに使う!

失礼でない「～できますか」の尋ね方

言語や演奏・スポーツなどの能力を問うときに、Can you ~? は、相手の能力をあらかじめ尋ね、無遠慮な感じを与えるので、Do you ~? を使うことが多い。

Do you speak Japanese? (あなたは日本語を話しますか。)

POINT 注意!

(be able to + 動詞の原形) 「～できる」

「～できる」は (be able to + 動詞の原形) でも表せる。現在形ではふつう can を使う。

次の場合は can の代わりに (be able to ~) を使う。ほかの助動詞と同じように使う場合 ×will can のように、助動詞を2つ重ねて使うことはできない。

- 過去「(実際に)できた」
 - John helped me, so I was able to finish the homework.
(ジョンが手伝ってくれたので、私は宿題を終えることができた。)(実際にできた)
- 未来「～できるようになるだろう」、完了形「(ずっと)～できている、など」
 - The baby will be able to walk soon.
(その赤ちゃんはすぐに歩けるようになるだろう。)

B can 「～してもよい」(許可) → ②

▶ 「～することが可能」→ 「～してもよい」の意味を表す。

You can stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)

教科書『BIG DIPPER 論理・表現 I』の例文を掲載



参考書『チャートシリーズBIG DIPPER 高校英語』の解説で、理解を深めます

●BIG DIPPER シリーズ 準拠シリーズ・文法参考書付属物のご案内●
文法学習用テキスト

BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES (25ディッパー-英文法)
BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (21ディッパー-英文法)

生徒用別冊解答編付/教授用資料完備/数研テストマスター完備

- ◆QRコードから以下の活動が可能!
- 例文の音声再生/〈数研発音マスター〉でスピーキング練習
- ◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ (レディメイドタイプ) がご利用いただけます。

本課 (『25ディッパー-英文法』)

Express More (『25ディッパー-英文法』)

『25 英文法』の見開き最後の1問は参考書 How to Use It で扱っているような日常的な内容を表現する問題です

スピーキング・ライティング活動によって、学習した文法事項の定着を図ります

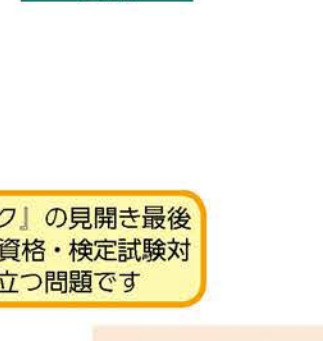
文法学習用ワークブック

WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES (25ディッパーワーク)
WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (21ディッパーワーク)

生徒用別冊解答編付/数研テストマスター完備

本課 (『25ディッパーワーク』)

『25 ワーク』の見開き最後の1問は資格・検定試験対策にも役立つ問題です



参考書・準拠教材

参考書・準拠教材

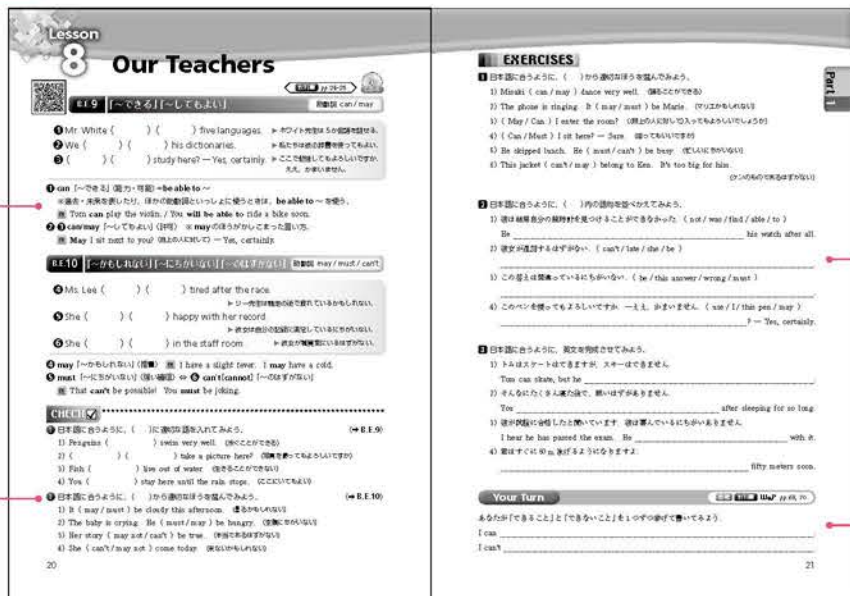


ワークブック (復習用ワーク)

- I B5判 88頁/別冊解答(48頁) 別冊包/税込定価660円/音声CD税込標準価格264円
- II B5判 56頁/別冊解答(32頁) 別冊包/税込定価660円/音声CD税込標準価格264円



- 教科書に合わせたパート構成で、効率よく教科書の復習ができます。
PART 1: 文法事項の再確認+練習問題 (2ページ構成)
PART 1 Review: 教科書演習の練習問題 (1ページ構成) 《Iのみ》
PART 2: 重要表現の確認+ディクテーション (1ページ構成)
PART 3: プレゼンテーションなどで使う表現の確認 (6ページ分) 《IIのみ》
- 自己表現問題で無理なく「書く力」を養うことができます。
- ◆QRコードからの音声再生 (PART 1 基本例文・PART 2 リスニング問題) や、音読練習 (PART 1 基本例文) に対応しています。
- ◆別売音声CDにはPART 1の基本例文・PART 2のリスニング問題を収録しています。

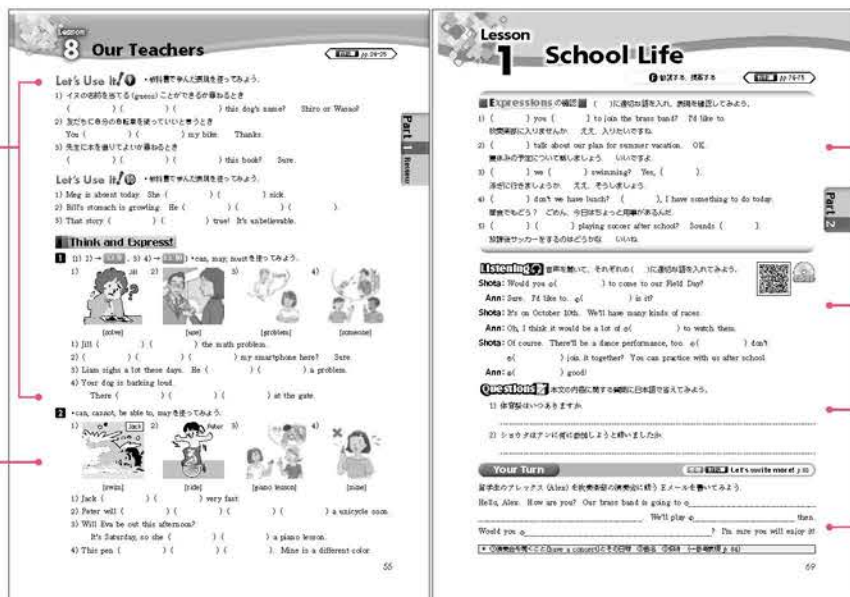


空所補充形式の例文と簡潔な解説で、文法事項の再確認

項目対応型の練習問題

空所補充→
語句整理→
部分英作で
段階的な演習が可能

自己表現問題



教科書演習の練習問題 (空所補充形式)

ワーク独自の補充問題

空所補充形式で重要表現の確認

ディクテーション

会話文に関する内容把握問題

自己表現問題 (ヒント付)

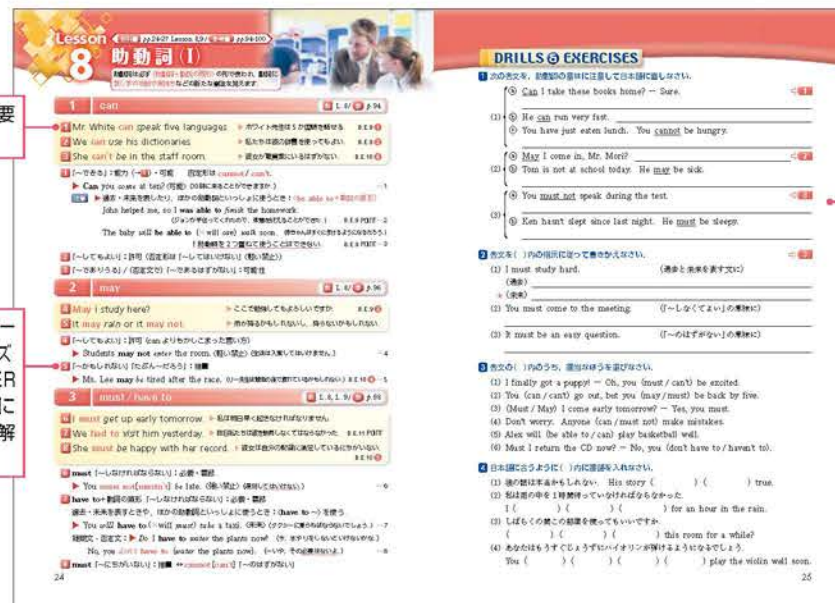


レッスンブック (文法授業用テキスト)

- I B5判 88頁/別冊解答(40頁) 別冊包/税込定価660円

*表記の全額はすべて税込価格です。

- 教科書PART 1を補強する教材として最適文法を網羅的・体系的に習得できます。
- 見開き2ページ構成 (左ページ: 解説, 右ページ: 問題演習) で、テンポよく理解が深まります。
- ※解説ページの英文の一部に、教科書の主要例文を使用しています。
- 巻頭「学習に必要な基礎知識」で、中学から高校へのスムーズな導入が可能です。
- 参考書「チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語」に完全準拠 (参照ページ付)。



教科書の主要例文を使用

参考書「チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語」に完全準拠の解説

項目対応型大問→総合問題で段階的な演習が可能

英作文オンライン添削

教科書掲載の英作文課題のオンライン添削に対応しています！ [有料]

オンライン添削の詳細はこちら！



Point 1 1題から添削申込可能！必要な回数だけ申し込めます。

Point 2 日本語 添削のみ/添削+解説付き 英語 添削のみ/添削+解説付き の4パターンから選択。

Point 3 生徒が提出した英文・提出状況・添削内容は、先生も確認可能です。



【対象の教科書と添削箇所】

- BIG DIPPER English Logic and Expression I...Lesson 4-21 Think and Expressの[Express Yourself] ⇒ 例:p.11
- BIG DIPPER English Logic and Expression II...Lesson 1-16 [Express Yourself] ⇒ 例:p.31
- ※EARTHRISE English Logic and Expression Advanced/Standardにも対応

✓アウトプット活動の活性化 ✓課題・パフォーマンステストとしての評価 にご活用いただけます！

※英作文オンライン添削のご利用には別途料金がかかります。



最新の情報・
体験版はこちら！

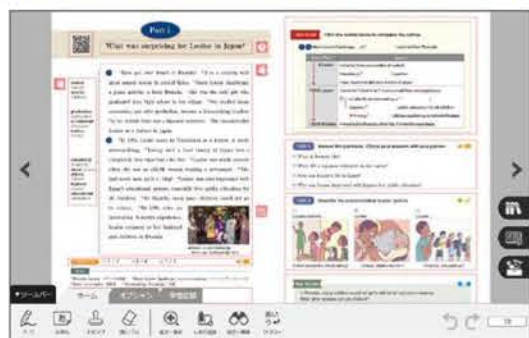
※英語コミュニケーションⅢについては、マール・ディッパーはSection 1・Ⅱにおいてのみ、コメントはSection 1においてのみ、
テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。
論理・表現Ⅲについては、本課のみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。

授業や自宅学習で役立つコンテンツを豊富に収録！

イスビュー は、Windows, iPad, Chromebook に対応しています。

▶動作環境については弊社ホームページをご覧ください。

教科書はもちろん、参考書やグラマーテキストも **イスビュー** で利用できます。



基本機能 指 学 学+ 副

操作性を考慮した、**一目でわかるアイコンデザイン**を採用しています。

ペン、ふせん、スタンプ、拡大・縮小などの基本機能は、**ツールバーから選択して利用**できます。

(指導者用と学習者用の基本機能は共通です。)

特別支援機能 指 学 学+ 副

音声読み上げ、総ルビ表示、配色設定、文字サイズ・書体変更などができます。

スライドビュー（紙面の各要素を拡大表示） 指 学 学+ 副

ワンクリックで問題や解説などの紙面の要素を拡大表示できます（別のタブで開きます）。

「指導者用デジタル教科書（教材）」では解答表示機能のほか、**リスニング問題のSCRIPT**などの追加要素も収録しています。
(拡大可能部分や追加要素は書籍および問題ごとに異なります)

商品ごとに収録コンテンツの種類は異なります。詳細はラインアップ表をご覧ください。

※「学習者用デジタル教科書」には、教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

テキストビュー 指 学 学+ 副

新出語や本文をワンクリックで拡大表示できます。文字サイズや行間の調整も可能です。「指導者用デジタル教科書（教材）」「学習者用デジタル副教材」では本文の日本語訳の表示機能もあり、英語と日本語訳を同時に見せることもできます。**カラオケ**、**フェードイン**、**フェードアウト**、**虫食い**、**フラッシュ**の5パターンでテキストを再生できます。また、英語コミュニケーションの本文では、テキストの**フレーズ表示**にも対応しています（音声再生時はフレーズ間に生徒が復唱するためのポーズが設けられます）。会話文（一部を除く）では、任意の話者を無音にする**ロールプレイ再生**ができます。



フラッシュカード（英語コミュニケーション） 指 学 学+ 副

新出語や本文（一部を除く）は、フラッシュカード形式で再生することができます。**英語カード**、**日本語カード**のほか、**発音記号カード**（新出語のみ）、**英日併記カード**などを組み合わせて使用できます。



〈日本語訳表示について〉※新出語は、English Communication 1のみ収録。

		指導者用デジタル教科書	学習者用デジタル教科書・教材	学習者用デジタル副教材
テキストビュー	新出語※	○	○	×
	本文	○	×	○
フラッシュカード	新出語※	○	○	×
	本文	○	×	×

スライドショー（英語コミュニケーション*） 指 学 学+ 副

各レッスンの題材に関連する内容をスライドショー形式で紹介します。**音声**、**字幕それぞれで英語**、**日本語**、**OFF**の切り替えができます。授業の導入やリスニング活動に最適なコンテンツです。



その他、以下の機能も搭載！

☆本文解説動画（英語コミュニケーション） 指 学 学+ 副

☆参考書表示（論理・表現* / グラマーテキスト） 指 学 学+ 副

教科書と関連する参考書の紙面を表示することができます。

☆速読トレーニング（英語コミュニケーション） 指 学 学+ 副

教科書本文について、**WPM (Words Per Minute)** の計測をしたり、**目標WPM**を設定して速読に挑戦したりできます。

☆通訳トレーニング（英語コミュニケーション*） 指 学 学+ 副

教科書の英文を使い、「英語から日本語」または「日本語から英語」に**即座に訳して話す練習**ができます。

* 1・Ⅱにのみ収録

生徒一人一人の学習を支援する機能を搭載！

スムーズな教材連携 指 学 学+ 副

デジタル教科書・教材（指導者用または学習者用）とデジタル副教材をお持ちの場合、教材間でスムーズに連携ができます。教科書からグラマーテキストや参考書の該当ページをすぐに表示できるなど、**すべての教材を最大限に活用**できます。



生徒一人一人の学習の記録 指 学 学+ 副

問題はワンクリックで拡大表示できます。生徒は、その問題を解いて得た気づきを、ノート*¹やコメントと合わせて、**学習の記録として残す**ことができます。



先生と生徒をつなぐ宿題管理※² 指 学 学+ 副

生徒の **イスビュー** へ宿題を配信することができます。配信できるデータは「教材の問題*³」「PDF」です。生徒が提出した宿題の結果を確認し、コメントを書き込んで返却することもできます。



柔軟な設定ができる表示制御※² 指 学 学+ 副

先生は、生徒が利用する学習者用デジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている、「答」「コンテンツ（解説動画）」などについて、要素ごとに「**見せる／見せない**」を切り替えることができます。

※1 紙のノートやスライドビューへ書き込んだ内容を、写真やスクリーンショットとして記録できます。

※2 先生向け機能「宿題管理」「表示制御」は、「イスビュー 先生用サイト」で行うことができます。

※3 生徒が所持しているデジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている問題です。

英語 デジタル教科書/デジタル副教材 ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】
ご購入いただいたエスビューア対象商品は、その商品が販売終了するまでの期間ご利用いただけます。
また、販売終了後も一定の利用期間を設けます。（利用期間終了後、配信を停止します）
各商品の利用期間（配信期限）の最新情報は、弊社 HP（<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry>）をご覧ください。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication I	「BLUE MARBLE English Communication I」 「BIG DIPPER English Communication I」 「COMET English Communication I」	54289	55,000 円	約 4GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication II	「BLUE MARBLE English Communication II」 「BIG DIPPER English Communication II」 「COMET English Communication II」	54293	55,000 円	約 4.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication III	「BLUE MARBLE English Communication III」 「BIG DIPPER English Communication III」 「COMET English Communication III」	54297	55,000 円	約 2.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression I	「EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression I Standard」 「BIG DIPPER English Logic and Expression I」	54301	55,000 円	約 3GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression II	「EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression II Standard」 「BIG DIPPER English Logic and Expression II」	54305	55,000 円	約 2GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression III	「EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression III Standard」	54308	55,000 円	約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM

学習者用デジタル教科書

生徒一人一人の端末で使用する、制度化された「学習者用デジタル教科書」です。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーション I	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication I	4384171D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication I	4384186D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication I	4384201D12		約 0.5GB
英語コミュニケーション II	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication II	4384176D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication II	4384191D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication II	4384206D12		約 0.5GB
英語コミュニケーション III	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication III	4384181D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication III	4384196D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication III	4384211D12		約 0.5GB
論理・表現 I	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced	4384216D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression I Standard	4384231D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Logic and Expression I	4384246D12		約 0.5GB
論理・表現 II	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	4384221D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	4384236D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Logic and Expression II	4384251D12		約 0.5GB
論理・表現 III	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced	4384226D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression III Standard	4384241D12		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒 1 人につき 1 ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書

学習者用デジタル教科書・教材

制度化された「学習者用デジタル教科書」と、各種「デジタルコンテンツ」がセットになった商品です。
「教材連携」「学習の記録」「宿題管理」「表示制御」機能に対応しています。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーション I	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication I	4384171D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication I	4384186D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication I	4384201D11		約 1.5GB
英語コミュニケーション II	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication II	4384176D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication II	4384191D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication II	4384206D11		約 1GB
英語コミュニケーション III	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication III	4384181D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication III	4384196D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication III	4384211D11		約 1GB
論理・表現 I	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced	4384216D11	各 935 円	約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Standard	4384231D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Logic and Expression I	4384246D11		約 0.5GB
論理・表現 II	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	4384221D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	4384236D11		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Logic and Expression II	4384251D11		約 0.5GB
論理・表現 III	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced	4384226D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression III Standard	4384241D11		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒 1 人につき 1 ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	ライセンス	価格(税込)		データサイズ
				書籍購入なし	書籍購入あり	
EARTHRISE	学習者用デジタル版 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語 — Practical English Grammar and Expressions	4311081D01	ユーザーライセンス	1,716 円	550 円	約 1.5GB
		4211081D01	提示用オプション	1,100 円		
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 33 Stages	4336131D01	ユーザーライセンス	748 円	330 円	約 0.5GB
		4236131D01	提示用オプション	1,100 円		
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages	4336136D01	ユーザーライセンス	704 円	330 円	約 0.5GB
		4236136D01	提示用オプション	1,100 円		
BIG DIPPER	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 22 Stages	4336141D01	ユーザーライセンス	649 円	330 円	約 0.5GB
		4236141D01	提示用オプション	1,100 円		
	学習者用デジタル版 チャート式シリーズ BIG DIPPER ビッグ・ディッパー高校英語	4311107D01	ユーザーライセンス	1,628 円	550 円	約 1GB
		4211107D01	提示用オプション	1,100 円		
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES 25 ディッパー英文法	4336227D01	ユーザーライセンス	671 円	330 円	約 0.5GB
		4236227D01	提示用オプション	1,100 円		
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES 21 ディッパー英文法	4336327D01	ユーザーライセンス	649 円	330 円	約 0.5GB
		4236327D01	提示用オプション	1,100 円		

■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒 1 人につき 1 ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書

	基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
指導者用デジタル教科書(教材)	○※1	○	○	○	○	—※2	—※2
学習者用デジタル教科書	○※1	—	—※3	—	—	—	—
学習者用デジタル教科書・教材	○※1	○※4	○※4	○	○	○※6	○※6
学習者用デジタル副教材	○※5	○	○	○	○	○※6	○※6

※1 English Communication I, English Logic and Expression I のみ特別支援機能が含まれます。
※2 「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。
※3 教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。 ※4 表示される内容が「指導者用デジタル教科書(教材)」とは異なります。
※5 特別支援機能は含まれません。 ※6 先生は「エスビューア 先生用サイト」より設定する必要があります。
(注) 学習者用デジタル副教材をご採用の場合でも、紙の書籍ご採用時と同様に採用専用データをチャートメトラボからダウンロードできます。

ご利用までの流れ、および動作環境等の詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。または営業員までお問い合わせ下さい。

指導用教材ラインナップ

* 指導者用デジタル教科書(教材)はp.86に掲載。

書籍NO	書名	税込価格	仕様・掲載内容など
I 45396 II 45398	BIG DIPPER English Logic and Expression I / II TEACHER'S MANUAL	I 22,000円 II 24,200円	① 本冊(教科書ページごとの詳細な解説) ② Teacher's Book ③ DVD-ROM1枚(教科書・TB紙面PDFデータ/授業用スライドデータ/本文・解答例等データ/準拠ワークデータ/各種テスト等を収録)
I 45596 II 45598	BIG DIPPER English Logic and Expression I / II Teacher's Book	I 3,300円 II 3,850円	解答例・スクリプトなどを掲載。
I 56055 II 58578	BIG DIPPER English Logic and Expression I / II TEACHER'S MANUAL PDFファイル版	I 5,500円 II 6,600円	DVD-ROM1枚 TEACHER'S MANUALの紙面PDFを収録。
I 58535 II 58547	BIG DIPPER English Logic and Expression I / II 指導用CD	I 16,500円 II 16,500円	I 指導用音声CD (4枚) II 指導用音声CD (4枚)

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

先生のための会員制サイト **チャート×ラボ**

「チャート×ラボ」で何ができるの？

- ご採用の教材に関連したデータをダウンロードしたり、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマホに配信したりできます。
- 新課程デジタル教科書・教材の体験版をお試いただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>



※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者(小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方)に限定しております。

数研出版コールセンター TEL:075-231-0162 FAX:075-256-2936



東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3

関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205

関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17

支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡



この「チャート×ラボ」は、
植物油インキを使用しています。
本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
返品に関する特約：商品に欠陥のある場合を除き、お客様の都合による商品の返品・交換は受けられません。

151502